はじめに

「いくつかの句法をお経のように唱えて覚えたケド、それしかわからない」という人、たくさんいると思います。
それどころか、現時点で漢文の知識なんてほぼゼロだ…という人もいることでしょう。
そんな人でも大丈夫！
この講座は基本事項から講義しますので、「今から初めて漢文を勉強する」という人、大歓迎！です。

漢文って確かに一見、漢字だらけで変な記号がくっついていて、意味不明に思うかもしれません。
ですが、漢文は入試科目の中で、おそらく**一番少ない知識で高得点が取れる科目**です！
ただし、古文文法の知識がないと少しやっかいなので（漢文は中国の古典で、その文献が伝わった昔、日本語に訳して読みやすくする訓読方法を確立したから）、まずは古文文法を仕上げてくださいネ。

本講座は**「ベーシックレベル」**ですが、「基本だけやる」という意味ではありません。
基本から説明をして、入試問題を解くために必要な力もつくように構成してあります。

『スタンダードレベル漢文講座』との大きな違いは、
●各チャプター時間が短時間（チャプターの途中で集中力が切れてしまわないように）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●**用例ごとの例文が豊富**〔なるべく有名な文章から取り上げました。学校の授業で見かける文もあるはず〕。
●**句法の学習の後には、教科書でも扱うような有名な文章にも取り組む**〔学校の予復習に最適〕。
●**大事なことは繰り返し説明**〔何度も同じことを聞くことにより、自然と復習していることになる〕。
●**丁寧にじっくり解説**〔わかる人には冗長に感じるかも。ですが、**「じっくり何度も確実に！」**の姿勢で〕。

「漢文なんてとりあえず句法やればいいんでしょ？」なんて思っている人もやっぱりいますよね？
でも、「句法だけひとまず勉強したけど、なかなか問題が解けない…」
そんな悩みを抱えている受験生もたくさんいるのが現実です。

――なぜでしょう？

実は**漢文で大事なことは、句法だけではありません**。
一番基本となる**「文構造」**や**「『置き字』の知っておくべき知識」**を理解できていないと、漢文は正しく読めません。
これらを理解しておくだけで、簡単に解けてしまう問題だってあるくらいです。
なのに「句法」ばかりが重要視され、これらをきちんと理解していないことが原因です。
本講座では、最初に基本知識をきっちり学んだ上で、入試に必要な「重要句法」に取り組みます。
漢詩を扱った後は、文章を読む練習をし、最後に実際の過去問を使用した実践演習にチャレンジ！
基本からしっかり理解して、実践演習で問題が解けるように、最後まで一緒に頑張りましょう！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

予復習・授業の受け方について

「実践演習」までは予習不要です。
ノートも不要です。
テキストと筆記用具さえあれば大丈夫です。
テキストへの書き込みで授業をすすめていきます。

テキスト中に**〈例題〉**や**「問題」**がありますが、講義中に問題を指定しますので、該当問題を適宜解いてください。
「はじめに」にも記載した通り、各チャプターは比較的短時間ですが、必然的に、講ごとのチャプター数は多いです。
よって、1日で1講を全て仕上げなくても、区切りのよいところで、日にちを分けて受講してもかまいません。
ただし、間が空きすぎると忘れてしまうので、なるべく空かないよう継続して仕上げて下さいネ。

「実践演習」は予習が必要です。
よって、**動画を見る前に先に問題を解いてください**。
予習が終わったら、なるべく時間をあけずに該当箇所の動画を見ましょう。
自分がその解答にした根拠を覚えている間に見ることをオススメします。

講義を見終えたら、復習を必ずしてください。
特に**太字**や**空欄**に**自分で書き込んだところ**に重点を置いて、覚えこむまで何度も復習してください。
復習が終われば、後ろにある**「復習問題」**を解きましょう。
復習問題は何度でもできるように、答えは直接書き込まないようにしてください。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

万一間違えた場合は、テキストの該当箇所に戻って復習をしてから、再度「復習問題」を解き直しましょう。記憶を定着させるツールとして、何回でも使用してくださいネ！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目次

第一講　基礎知識／書き下し文／返り点 …… p. 6
第二講　基本構造 …… p. 17
第三講　置き字／返読文字／「也」の読み方 …… p. 25
第四講　再読文字 …… p. 34
第五講　使役形 …… p. 43
第六講　否定形(1) …… p. 53
第七講　否定形(2) …… p. 62
第八講　否定形(3)／受身形 …… p. 70
第九講　疑問・反語(1) …… p. 79
第十講　疑問・反語(2) …… p. 86
第十一講　疑問・反語(3)／詠嘆形 …… p. 93

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　基礎知識／書き下し文／返り点

一　基礎知識

●**白文**…漢字だけの文

兵少食尽。

有献不死之薬於荊王者。

況賢於隗者、豈遠千里哉。

●**送り仮名**…漢字の右下にカタカナでつける（漢字の横の平仮名は振り仮名）。

＊日本の古典文法に従い**歴史的仮名遣い**で書く。

兵少ナク食尽ク。

有リ献ズル不死之（の）薬ヲ於荊（けい）王ニ者。

況（いは）ンヤ賢ナル於隗（かい）ヨリ者、豈（あ）ニ遠シトセン千里ヲ哉（や）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●返り点…漢字の左下につける「日本語の語順で読むため」の記号。

有[下]献[二]不死之薬於荊王[一]者[上]。

況賢[二]於隗[一]者、豈遠[二]千里[一]哉。

●訓点…**「送り仮名」**と**「返り点」**のこと。

＊正しくは「句読点」も入りますが、入試においては、まずは「訓点」＝「送り仮名」と「返り点」のことだとおさえておきましょう。

有リ[下]献ズル[二]不死之薬ヲ於荊王ニ[一]者[上]。

●書き下し文…漢字・仮名まじりの日本文に書き改めたもの。

兵少なく食尽く。

不死の薬を荊王に献ずる者有り。

注　荊…楚（国名）の異名。

況んや隗より賢なる者、豈に千里を遠しとせんや。

注　況んや…まして。
隗…人名。賢者。
豈に～や…どうして～か、いや、～ない。

二 書き下し文

＊平仮名は、日本の古典文法に従い歴史的仮名遣いで書く。

① 返り点（三参照）に従って順番に読む。

② **置き字**（第三講で実施）は**書かない**。

③ 漢字は漢字のままだが、**助詞・助動詞として読む漢字は平仮名**にする。

④ 漢字の右下の送り仮名を平仮名で書く。

⑤ **再読文字**（第四講で実施）は**最初の読みは漢字**で、**二度目の読みは平仮名**で書く。

（例）

有リ（下）献ズル（二）不死**之**（の）薬ヲ於荊（けい）王ニ（一）者（上）。

→ 不死**の**薬を荊王に献ずる者有り。

況（いはンヤ）賢ナル（二）於隗（かい）ヨリ（一）者、豈（あニ）遠シトセン（二）千里ヲ（一）**哉**（や）。

→ 況んや隗より賢なる者、豈に千里を遠しとせん**や**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三　返り点　（＊三の例文中も二の例文同様、**助詞・助動詞の漢字**は**太字**、置き字には影をつけています）

① レ点＝すぐ下の一字からすぐ上の一字に返る。

② レ ①

（例）

酤（う）ル レ酒（ヲ）。〔酒を酤る。〕

空山（くうざん）**不**（ず）レ見（ル）レ人（ヲ）。〔空山人を見**ず**。〕

注　空山…人気のないひっそりした山。

食（ラフ）レ之（これヲ）。〔　　　　　〕

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

② 一・二点＝二字以上返る。

③二①②一　／　④レ③二①②一　／　⑤三①④二②③一

（例）

絶(エテ)不(ず)二飲食(セシメ)一。〔絶えて飲食せしめず。〕

我与(ためニ)レ汝(なんぢノ)結二今身(こんしんノ)縁(バン)(ヲ)一。〔我汝の与に今身の縁を結ばん。〕

項王乃(すなはチ)欲三東(ひがしノカタ)渡(ラント)二烏江(うかうヲ)一。〔項王乃ち東のかた烏江を渡らんと欲す。〕

注　烏江…長江の渡し場。

移(シテ)レ舟(ヲ)泊(ス)二煙渚(えんしょニ)一。〔　　　　　　　　〕

注　煙渚…夕もやにつつまれた岸辺。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③

上・中・下点＝一・二点をはさんで上に返る。

⑤下③二①②一④上　／　⑥レ⑤下③二①②一④上　／　⑦下①⑥中④二②③一⑤上

（例）

有リ下献ズル二不死之(の)薬ヲ於荊王ニ一者上。〔不死の薬を荊王に献ずる者有り。〕

僕時ニ雖(いへども)下稍(やや)知リ二愛敬(あいけい)スルヲ一、不(ざ)中ルト従ヒテレ衆ニ非笑セ上、…

〔僕時に稍愛敬するを知り、衆に従ひて非笑せざると雖も、…〕

不(ず)レ聞カ下人ノ従(よ)リ二日辺(ひへん)一来タルヲ上、…

〔　　　　　　　　　　〕

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④ 甲・乙点＝上・中・下点をはさんで上に返る。（甲乙丙丁…）

⑦乙 ⑤下 ③二 ① ②一 ④上 ⑥甲　／　⑨丙 ① ⑧乙 ⑥下 ④二 ② ③一 ⑤上 ⑦甲

○レ ○乙 ○下 ○二 ○ ○一 ○上 ○甲。

＊上中下点を使うべき場合も、四ヶ所以上返り点をつけなければならないときは「甲乙丙丁」を使用する。

⑨丁 ① ⑧丙 ② ⑦乙 ⑤二 ③ ④一 ⑥甲

⑤ 組み合わせ点＝一レ、上レ、甲レのみ。

＊一・上・甲のすぐ上にレ点をつけることはできない。

① ⑤二 ② ④一レ ③　／　⑥下 ③二 ① ②一 ⑤上レ ④　／　⑧乙 ⑤下 ③二 ① ②一 ④上 ⑦甲レ ⑥

（例）

明二（ラカニスル）人之（の）欺一レ（クヲ）王（ヲ）也（なり）。［人の王を欺くを明らかにするなり。］

土佐（ハ）無二（シ）物（トシテ）不一レ（ざル）有（ラ）。［　　　　］

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑥　二字の熟語へ返る＝ー（ハイフン）でつなげる。

③二-④①②一　／　⑤三③二-④①②一

（例）

往二-来ス於市井（しせい）ノ間（かん）一ニ。〔市井の間に往来す。〕

師二-事ス之（これ）一ニ。〔　　　　　〕

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の○の中に、返り点にしたがって、読む順番を数字で書きなさい。

○二○○一○○レ○。

問二　次の数字の順番に読めるように返り点を付けなさい。

⑦⑥①②⑤③④。

問三　次の文は「単于(ぜんう)之(これ)を降(くだ)さんと欲(ほっ)す」と読む。この読み方に従って、返り点を付けなさい。

単 于 欲 降 之 。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第一講

①「書き下し文」にするときのルールとして正しくないものを、次の中から一つ選べ。

ア　平仮名は、日本の古典文法に従い、歴史的仮名遣いで書く。
イ　返り点に従って順番に読む。
ウ　置き字は書かない。
エ　送り仮名はカタカナで書く。
オ　助詞・助動詞として読む漢字は平仮名にする。

②「○下○○中○○二○○一○上○。」を読む順番として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　①下⑨②中⑧⑤二③④一⑥上⑦
イ　⑤下①④中②⑧二⑥⑦一③上⑨
ウ　⑧下①⑦中②⑤二③④一⑥上⑨
エ　⑥下①⑤中②⑨二⑦⑧一④上③
オ　⑥下⑦⑤中⑧③二①②一④上⑨

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　「臣聞邪不干正」を、「臣　邪は正を干（をか）さずと聞く」と読むには、どのように返り点をつけるのがよいか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　臣　聞㆓　邪　不㆒　干㆑　正

イ　臣　聞㆑　邪㆑　不㆑　干㆑　正

ウ　臣　聞㆔　邪　不㆓　干　正㆒

エ　臣　聞㆓　邪　不㆒㆑　干㆑　正

オ　臣　聞㆓　邪　不㆑　干　正㆒

④　「太常使国工視之」は、「太常　国工をして之を視（み）しむ」と読む。どのように返り点をつけるのがよいか。最も適当なものを、次の中から一つ選べ（なお、「使」は助動詞で「しむ」である）。

ア　太　常　使㆓　国　工㆒　視㆑　之

イ　太　常　使㆔　国　工㆓　視㆒㆑　之

ウ　太　常　使㆔　国　工㆓　視　之㆒

エ　太　常　使㆓　国　工　視㆒㆑　之

オ　太　常　使㆓　国　工　視㆑　之㆒

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　基本構造

〈例題〉「移㆓榻於戸外㆒而寝」を返り点に従って読み下すとどうなるか。最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

＊榻…長椅子兼用の細長い寝台。

① 戸外より榻を移して寝ねたり。
② 榻を戸外に移して寝ねたり。
③ 戸外に寝ねて榻を移したり。
④ 榻を移して戸外に於いて寝ねたり。
⑤ 榻は戸外にて移して寝ねたり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一　基本構造（＝「語順」）

① S（主語）＋V（述語）
（＊V部分は形容詞・形容動詞・名詞も置かれる）

② S＋V＋O〔目的語＝～**ヲ**〕

③ S＋V＋於・于・乎＋C〔補語＝～**ニ・ト・ヨリ（モ）**〕

④ S＋V＋O＋於・于・乎＋C
（＊名1　動4二　名2ヲ　於・于・乎　名3ニ一）

⑤ S＋V＋C＋O
（＊名1　動4二　名2ニ　名3ヲ一）

⑥ 修飾＋被修飾

＊①・⑥は日本語と語順が同じだが、②～⑤は異なる。そこで漢文を日本語の順番で読むために「返り点」をつける。

★①～⑤において、Sが省略される時もある。**→Vにあたる部分を探す。**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「語順」の大切さ

愛我。

我愛。

① S（主語）＋V（述語）　（＊V部分は形容詞・形容動詞・名詞も置かれる）

（例）

伍員（ごうん）亡（に）グ。　（伍員は亡命した。）

汝ノ狗（いぬ）猛（たけ）シ。　（お前の犬は気性が激しい。）

彼良医也（なり）。　（彼は腕の良い医者である。）

君怒。　（君主　　　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

② **S＋V＋O〔目的語＝～ヲ〕**

（例）昭王招カントス二賢者一。（昭王がすぐれた人物　招こうとした。）

病児服薬。（　　　　　　）

＊「～ヲ」の送り仮名を振って文意が通じなければ、OではなくC。

③ **S＋V＋於・于・乎＋C〔補語＝～ニ・ト・ヨリ（モ）〕**

（例）賢ナル二於隗かいヨリ一者、…（隗**より**すぐれた者が、…）

我請於帝。（　　　　　　）

＊V＝「言う」の意味になる時は、「S＋V＋C」となることが多い。

（例）公語リテレ人曰ク…（公が人　語って言うことには…）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

＊文意上「～ヲ」になる時は、ＣではなくＯ。強意の働き。

（例）伍員過（ごうんよぎル）二於荊一ヲ。　（伍員は荊の国を通り過ぎる。）

注　荊…楚（国名）の異名。

④　**S＋V＋O＋於・于・乎＋C**

（＊名1　動4二　名2ヲ　於・于・乎　名3ニ一）

（例）加二衣フ　於君之上一。　（衣装　君主の（体の）上　かけた。）

献不死之薬於荊王。　（　　　　　　　　）

⑤　**S＋V＋C＋O**

（＊名1　動4二　名2ニ　名3ヲ一）

（例）子路与人一簞（いったんノし）食。　（　　　　　　　　）

注　一簞食…竹で作った器に盛った飯。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　左記は先程の**〔例題〕**である（選択肢①・③・④はカット）。②・⑤のうち、正解はどちらか。

〔例題〕「移㆓榻於戸外㆒而寝」を返り点に従って読み下すとどうなるか。最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

＊榻…長椅子兼用の細長い寝台。

② 榻を戸外に移して寝ねたり。

⑤ 榻は戸外にて移して寝ねたり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★多くの要素を含んだ構造

S＋｛副詞／助動詞／再読文字／前置詞を含む句｝＋V＋O＋於・于・乎＋C＋語気詞

※前置詞を含む句

以(もつテ)二～一(ヲ)　／　与(と)二～一　／　為(ニ)二～一　／　自(より)二～一　など

※語気詞＝文末で強意・疑問・反語・詠嘆・断定などの気分を表す言葉

（例）　臣以二忠信一得二罪於上一者也(なり)。

注　上…上位の人。

書き下し文

〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕

訳

（私は忠信でありながら「　　　　　　　　」ものである。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二講

①　「移㆓榻於戸外㆒而寝」を返り点に従って読み下すとどうなるか。最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

＊榻…長椅子兼用の細長い寝台。

ア　戸外より榻を移して寝ねたり。
イ　戸外に寝ねて榻を移したり。
ウ　榻を移して戸外に於いて寝ねたり。
エ　榻を戸外に移して寝ねたり。
オ　榻は戸外にて移して寝ねたり。

②　次の中から、正しくないものを一つ選べ。

ア　漢文の語順と日本語の語順は、同じものもあれば異なるものもある。
イ　漢文では、普通「修飾語」は「被修飾語」の後ろに置く。
ウ　日本語は「ＳＯＶ」の語順だが、漢文は基本的には英語と同じで「ＳＶＯ」の語順である。
エ　置き字「於・于・乎」の後ろは、補語〔＝～ニ・ト・ヨリ（モ）の送り仮名を付ける〕になることが多い。

③　漢文の語順で「Ｓ」と「Ｖ」の間に入るものとして、正しくないものを一つ選べ。

ア　語気詞　　イ　副詞　　ウ　助動詞
エ　再読文字　　オ　前置詞を含む句

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　置き字／返読文字／「也」の読み方

一　**置き字**…意味はあるがそれ自体は読まない文字。書き下し文では書かない。

①　**於・于・乎**＝前置詞の働き。

「時・場所・比較・受身・目的・起点・対象」などを表し、動詞・形容詞の後に置く。

直後の送り仮名は「ニ・ト・ヨリ（モ）・ヲ」。

（例）　賢ナル**於**隗（かい）ヨリ者、…

②　**而**＝接続の働き。「順接・逆接」を表す。

文中…**読まない。直前に読む字に送り仮名**を送る。

「順接」＝**テ・シテ・ニシテ・デ**

（例）　召シテ二蘧伯玉（きよはくぎょく）ヲ一**而**貴ブレ之ヲ。

「逆接」＝**モ・ドモ・ニ**

（例）　蘧伯玉賢ナルモ**而**不レ用ヒラレ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

文頭…**読む**（＝置き字ではない）。

「順接」＝しかう**シテ**・しか**シテ**

（例）**而**シテ吾ト与レ子之所二ナリ共ニ適一スル。

「逆接」＝しか**ルニ**・しか**ルヲ**・しか**モ**・しか**レドモ**

（例）**而**ルニ聴二キテ細説一ヲ、…

③ **矣・焉**＝**強意**の働き。**文末**にある。語気詞。

（例）我失ヘリ**矣**。

④ **兮**＝**整調**の働き。（**詩の中**でしか使わない）

（例）今遂ニ逝ケリ**兮**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「語夫人其実焉」の返り点の付け方とその読み方として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　語$_{二}$夫人其実$_{一}$焉　　夫人と其の実を語る

イ　語$_{二}$夫人$_{一}$其実焉　　夫人に語ること其れ実ならんや

ウ　語$_{二}$夫人其実$_{一}$焉　　夫人に其の実を語る

エ　語$_{二}$夫人$_{一}$其実焉　　夫人に語りて其れ実ならしむ

オ　語$_{二}$夫人$_{一}$其実焉　　夫人に語れば其れ実なり

問二　次の白文に、返り点を付けよ。

吾 已 作 薬 酒 待 之 矣 。

注　薬酒…毒薬を入れた酒。
　　之（これ）…ここでは「夫」のこと。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二

返読文字…語順に関係なく**下から返ってくる**ことが決まっている文字。（左記A・Bなど）

A「助動詞」

…助動詞は文末に置く断定「也（なり）」を除いて、用言（主に動詞）の上に置かれ、その用言から返って読む。

① **不**・弗＝ず（**打消**）　② **使**・令・遣・教・俾＝**しむ**（**使役**）

③ 為＝たり（断定）　④ **可**＝**べシ**（可能・当然）

⑤ **見**・被・為・所＝**る・らル**（**受身**）　⑥ **如**・**若**＝**ごとシ**（比況）

＊「ム・タリ（完了）・リ」などは漢字がなく、送り仮名として示す。

B「それ以外」

① 有（あリ）　② 無（なシ）　③ 勿・毋・莫（なカレ）

④ 多（おほシ）　⑤ 少（すくなシ）　⑥ 易（やすシ）

⑦ 難（かたシ）　⑧ 毎（ごとニ）　⑨ 所（ところ）

⑩ 為（ノためニ）　⑪ 所以（ゆゑん）　⑫ 不レ能（あたハず）

⑬ 雖（トいへどモ）　⑭ 自・由・従（より）

⑮ 与（と）　⑯ 与（より（ハ））

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（例）

宋(そう)人(ひと)ニ有耕田者。

〔宋人に　　　　　　　〕

傍若無人（＝勝手気ままにふるまう様子。）

〔傍らに　　　　　　　〕

多岐亡羊（＝学問の道が多方面になりすぎると、真理を見失うこと。）

〔　　　　　　　　　　〕

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　次の文は「甸人（でんじん）をして麦を献ぜしむ」と読む。これに従って、返り点と送り仮名を書きなさい。

使　甸　人　献　麦　。

注　甸人…公田の耕作を司る役人。

問四　次の文に訓点（送り仮名と返り点）を施し、記せ。

雪　珠　如　豆　打　茅　茨　。

注　雪珠（せつじゅ）…あられ、みぞれ。
　　茅茨（ぼうし）…かやぶきの屋根。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三　「也」の読み方

文末＝上に**疑問・反語**を表す副詞があるかないかを確認。

①　**疑問・反語**～也。＝「**や**」「**か**」と読んで「**疑問・反語**」の意味を表す。

②　~~疑問・反語~~～也。＝「**なり**」と読んで「**断定**」の意味を表す。

文中＝「**や**」と読んで「提示・強調」の意味を表す。

③　～也、～　（読まないときもある）

④　～也～　（ほとんど読まない）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　次の傍線部ａ・ｂの読みを、それぞれ記せ。

蓋(けだシ)是(こ)ノ国ａ也、地険ニシテ而民多ク㆑知(ち)、其ノ主ハ俗主(ぞくしゅ)ｂ也。

ａ＝　　　　　　ｂ＝

問六　「始貨㆓爾魚㆒約㆓三十銭㆒也。」の読み方として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　始め爾(なんぢ)に魚を貨(う)るも三十銭に約せんや。
イ　始め爾の魚を貨るに三十銭を約せんや。
ウ　始め爾に魚を貨るに三十銭を約するなり。
エ　始め爾に魚を貨らしむるに三十銭を約するか。
オ　始め爾の魚を貨らしむるも三十銭に約するなり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第三講

①　「語夫人其実焉」の返り点の付け方とその読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　語㆓夫人其実㆒焉　　夫人と其の実を語る
イ　語㆓夫人㆒其実焉　　夫人に語ること其れ実ならんや
ウ　語㆓夫人㆒其実焉　　夫人に語れば其れ実なり
エ　語㆓夫人㆒其実焉　　夫人に語りて其れ実ならしむ
オ　語㆓夫人其実㆒焉　　夫人に其の実を語る

②　次の中から、返読文字ではないものを一つ選べ。

ア　有　　イ　無　　ウ　所　　エ　多　　オ　者

③　「且今之黍稷也、非㆑有㆘異㆓於向之黍稷㆒者㆖也。」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　且（か）つ今の黍稷や、向（さき）の黍稷に異なる者有るに非ざるなり。
イ　且つ今の黍稷や、向には之（これ）の黍稷に異とする者有るに非ずや。
ウ　且つ今の之（これ）黍稷なり、向の黍稷に異なる者有るに非ずや。
エ　且つ今は之が黍稷なり、向の之の黍稷に異なる者有るに非ざるなり。
オ　且つ今は之黍稷ならんや、向は之黍稷なるに異なる者有るに非ずや。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　再読文字

再読文字…最初は返り点を無視して副詞として読み、二度目は返り点に従って助動詞（動詞）として読む。

（例）未　来

①　**未＝未（いま）ダ～ず／（まだ～ない）**

（例）**未**レ還（かヘラ）。〔　　　　〕（まだ戻ってこない。）

前代**未**聞　〔前代に　　　　〕〈＝今までに一度も聞いたことがないこと。〉

②　**将・（且）＝将（まさ）・（且）（まさ）ニ～ントす／（～しようとする・～しそうだ）**

（例）**将**レ食（セント）。〔　　　　〕（今にも食べようとする。）

＊「将」が再読文字ではないとき＝「はタ」（あるいは）や「もっテ」などと読む。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

且レ飲レ之。（　　　　）（　　　　）

問一 再読文字「且」と同じ読みである再読文字として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア 将　イ 当　ウ 応　エ 宜　オ 須　カ 未

問二 「病ミテ且死、…」の傍線部の、A 読み方と B 解釈として最も適当なものを、次の中からそれぞれ選べ。

A
ア まさにしせんとし　イ まさにしすべくして
ウ よろしくしすべくして　エ すべからくしすべくして
オ なんぞしせんとし

B
ア 少しの間、死んだようになって　イ 死んだ方がましだと思って
ウ 今や死にそうになって　エ 必ず殺されると思って
オ それでも生きたいと望んで

問三 「甘茂（かんぼう）亡（に）ゲレ秦ヲ、且之斉ニ、…」の傍線部をひらがなのみの書き下し文にせよ。

注 甘茂…秦の宰相。
斉（せい）…地名。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③

当＝当（まさ）ニ～ベシ／（当然～すべきだ・しよう）

（例）

当レ帰（とつガシム）レ汝。〔　　　　　　　　　　〕（当然お前を嫁がせよう。）

不レ**当**レ発二悪願一。〔　　　　　　　　　　〕（当然悪い望みを持つべきではない。）

④

応＝応（まさ）ニ～ベシ／（きっと～だろう・しよう・に違いない）

（例）

応レ知レ之。〔　　　　　　　　　　〕（きっとこれを知っているに違いない。）

応レ**未**レ眠。〔　　　　　　　　　　〕（きっとまだ眠らずにいるだろう。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　「当如此也。ト」の書き下し文として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　当(まさ)に此(か)くの如(ごと)くなるべきなりと。
イ　当(あ)たるも如(も)しくは此(こ)れにあらんやと。
ウ　当(まさ)に此(こ)れに如(し)くものあらんやと。
エ　如(ゆ)くに当(あ)たりて此(か)くなるべきなりと。

問五　「当二為レ子沽レ酒。」を書き下し文にせよ。

注　沽…「沽(か)ふ」（＝買う）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤ **宜＝宜(よろ)シク～ベシ／（～するのがよい）**

（例）

宜ㇾ在二高位一ニ。〔　　　　　　　　　　　〕（高い位にいるのがよい。）

宜ㇾ従二汝(なんぢ)ノ所ㇾ適(ゆ)ク一ニ矣。〔宜しく汝の適く所に従ふべし。〕

（おまえが行きたいところへ行けばよい。）

＊「宜」が再読文字ではないとき＝**「むベナリ」**の読みが特に重要で**「もっともだ」**の意味。

⑥ **須＝須(すべか)ラク～ベシ／（必ず～する必要がある・しなければならない）**

（例）**須**ㇾ学。〔　　　　　　　　　　　〕（　　　　　　　　　　　）

問六　次の文を、返り点に従って書き下し文にせよ。

妾ハ宜シク下以テㇾ身ヲ薦(すす)メ二其ノ棺槨(くわんかく)ニ一、守リ中養フ其ノ幼孤(ようこ)ヲ上。

注　棺槨…ここでは、棺桶に納められた夫のことを指す。

幼孤…幼い遺児。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　「宜二速改一レ之。」（ヤカニ）を書き下し文にせよ（なお、送り仮名を省いている部分がある）。

問八　「須」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　～であろう

イ　～するだけだ

ウ　～することが必要だ

⑦　猶・（由）＝猶（な）・（由）（な）ホ～〔ガ・ノ〕ごとシ／（ちょうど～のようだ・と同じだ）

連体形＋ガ（…過ぎたるはなほ及ばざる**が**ごとし）

体言ノ（…春の夜の夢**の**ごとし）

（例）　今之楽、**猶**二古之楽一。〔今の楽、猶ほ古の楽　ごとし。〕

（今の音楽は、ちょうど昔の音楽のようだ。）

＊「猶」が再読文字ではないとき＝「なホ」と読み、「やはり・まだ・いっそう」と訳したり、「抑揚形」の文で使われたりする。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑧　**盍＝盍（なん）ゾ〜ざル**／（どうして〜しないのか・〜すればよいではないか）

（例）　盍㆓以㆑テ疾ヲ辞㆒セ。　〔盍ぞ疾を以て辞せざる。〕（どうして病気を理由にして辞退しないのか。）

問九　「盍試一思之。」のA　訓読とB　意味について、正しいものを次の中から一つ選べ。

A　**訓読**

ア　けだし試みに之を一に思ふ
イ　なんぞ試みに一たび之を思はざる
ウ　いはんや一たび之を思ふことを試みんや
エ　まさに一に之を思ふことを試みんとす
オ　あに一を試みて之を思はんや

B　**意味**

ア　ましてや一度はこのことを考えないことがあろうか
イ　いったい一つのことを試してこのことを考えようか
ウ　これからひたすらこのことを考えるのを試みてみよう
エ　どうしてこのことを一度試みに考えてみないのか
オ　おそらくもっぱらこのことを考えようと試みるであろう

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第四講

①「将」は再読文字の一つである。次の中から再読文字でないものを一つ選べ。

ア　応　　イ　遂　　ウ　宜　　エ　須

②「唯(た)だ春江の看(み)れども未(いま)だ厭(あ)かざる有り」と読むには、返り点はどのように付けるのがよいか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　唯　有㆓春　江　看㆑未レ厭

イ　唯　有㆓春　江　看　未㆑厭

ウ　唯　有㆔春　江㆓看　未㆑厭

エ　唯　有㆔春　江㆓看　未㆒厭

オ　唯　有㆔春　江　看㆓未　厭㆒

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　「当㆓相取㆒也。」は「どうしても（あなたを）つかまえなければならない。」という意味である。どのように読むのが正しいか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　あひ取るにあたれるなり。
イ　まさにあひ取るべきなり。
ウ　よろしくあひ取るべきなり。
エ　まさにあひ取らんとするなり。
オ　よろしくあひ取らんとするなり。

④　「猶㆑免㆓於剪伐㆒」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　きっと切り取られるのを避けるにちがいない
イ　切り取られることから逃れようとするだろう
ウ　まだ切り取られずにすんだわけではないのだ
エ　切り取られずにすんだのと同じようなことだ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　使役形

①　助動詞を使ったもの

i　「Vさせる」

使　令　遣　教　俾　レV　〈読〉Vし**ム**

※Vは未然形に活用させる。

（例）

使レ求。〔　　　　　　〕（求めさせる。）

遣レ還。〔　　　　　　〕（帰還させる。）

令二歩行一。〔　　　　　　〕（歩かせる。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ⅱ「NにVさせる」

俾 教 **遣 令 使** 二 N V 一　　〈読〉 **NヲシテVしム**

※N＝使役の対象。助動詞の**直下**の**名詞**（人が多い）。

（例）

遣二武還一。〔武　　還らしむ。〕（蘇武　　帰還させる。）

注　武…蘇武。人名。

使人愁。〔　　　　〕（　　　　）

注　愁…「愁ふ（うれ）」。わびしく思う。

★使役の助動詞があれば、**下**の部分から、まず「　　」を探す！

使役の助動詞の直下の名詞には「　　」の送り仮名を送る！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ⅲ 「NにOをVさせる」

使 令 遣 教 俾

使三 N V二 O一 〈読〉NヲシテO{ヲ/ニ}Vしム

※O＝動作の目的

（例）

使三我長二タラ百獣一ニ。〔我百獣に長たらしむ。〕

（私を〔＝に〕あらゆる獣の王にならせた。）

使三涓人（けんじん）求二千里ノ馬一。〔　　　　　〕

注　涓人…君主の側で雑用をする人。

（雑用係に千里を走ることができる馬を求めさせる〔＝買いに行かせる〕。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ⅳ「SはNにVさせる」

S　使／令／遣／教／俾　二N　V一

〈読〉SNヲシテVしム

※S＝主語

（例）

定伯令二鬼渡一。

注　定伯…人名。
鬼…死者の霊。幽霊。

〔　　　　　　　　〕

（定伯は　　　　　（川を）渡らせる。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ｖ「SはNにOをVさせる」

S 使・令・遣・教・俾［三］ N V［二］ O［一］

〈読〉SNヲシテO{ニ／ヲ}Vしむ

（例）

項王使都尉（とゐ）陳平（ちんぺい）召沛公。

注　項王…項羽のこと。人名。
都尉…軍の部隊長。
陳平…項羽に仕えていた人物（後に沛公に仕える）。
沛公…劉邦のこと。漢の初代皇帝となる。

〔　　　　　　　　　　　　〕

（　　　　　　　　　　　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

＊ここまでに見てきたように、ＳＮＶＯは全てがそろっているとは限らないので、まずＳＮＶＯのうちのどれがあるか確認すること（Ｖの部分は絶対に省略されない→**まずＶを探す**）。

〔例題〕次の「**使**」以外の各漢字の右横に、文の要素（Ｓ、Ｎ、Ｖ、Ｏ）の該当するものを書け。

(1) 王 **使** 臣 書 文。

(2) 王 **使** 臣 書。

(3) 王 **使** 書 文。

(4) **使** 書。

＊Ｖが二つ以上ある場合、使役がどこまでかかるか文脈判断する必要があるので注意！

(例) 王 使 臣 書 文 読 之。

王 使二 臣 書一レ 文 読レ 之。

王 使二 臣 書レ 文 読一レ 之。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

② 使役を暗示する動詞を使ったもの

命ジテ
令シテ
召シテ
勧メテ
教ヘテ
遣ハシテ
説キテ
} ～V(シム)

禁ジテ
戒メテ
} ～不レV(ラシム)

（例）遣ハシ二蘇武ヲ一使(つか)ヒセシム二匈奴(きょうど)ニ一。〔蘇武を遣はし、匈奴に使ひせしむ。〕
（蘇武を匈奴へ使者として遣わせた。）

注　匈奴…中国北方の騎馬民族。
使…動詞「使ひす」。「使者とする」という意味。

③ 本文中の他の箇所において、同一漢字の送り仮名に「シム」がついているときは注意。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「王大（イニ）怒（リ）、使人殺中射之士。」の傍線部を書き下せ。

（傍線部：使人殺中射之士）

注　中射之士（ちゅうしゃのし）…宮中宿衛に当たる武官の侍従。

問二　「使公以馬殺人」をすべてひらがなで書き下しなさい（現代仮名遣いでよい）。

注　公…斉の君主、景公（けいこう）。

問三　次の文を「相（しやう）をしてこれを聘（へい）せしむ」と読めるように、返り点をつけよ（送り仮名は不要）。

使　相　聘　焉　。

問四　「命（メヨ）三君（ノ）婦（ヲシテ）為（ニ）レ我（ガ）織（ラ）二縑（きぬ）百疋（ヲ）一。」を現代語訳せよ。

注　縑…絹の布。
疋（ひき）…織物を数える単位。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講

①「俾」の送り仮名を含めた読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　しめんことを
イ　られんことを
ウ　ざらんことを
エ　れんことを

②「使二相償一レ之」は「相にこれを弁償させようとした」という意味である。どのように読むのが正しいか。最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　相をしてこれを償ふ。
イ　相をしてこれを償はしむ。
ウ　相をしてこれを償ふべし。
エ　相をつかひてこれを償ふ。
オ　相をつかひてこれを償はしむ。
カ　相をつかひてこれを償ふべし。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　「王使二臣書レ文」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　王臣をして文を書かしむ。

イ　王臣に文を書かしむ。

ウ　王使ひとして臣に文を書かす。

エ　王臣を使ひ文を書かす。

オ　王臣に書をして文を使ひす。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　否定形(1)

★否定＝返読文字⬇「　　　　　　」

一　単純否定

① **不・弗＝ず／（～　ない）**

「　　」の否定。↓直下はV。（＊AやNを否定することもある）

（例）

不聴。（聴かず。）（聴かない。）

不死。（死せず。）（死なない。）

不知。（　　　　　　）（知らない。）

不取也。（　　　　　　）（取らないのである。）

＊**不**㆓期年㆒、…（期年ならずして、…）（まる一年経たないうちに…）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②

無・莫・毋・勿＝なシ／（〜　ない）

【存在・所有】の否定。↓直下はN。

Vの場合は連体形（＋モノ・コト）と読む。

＊「命令（禁止）文」のとき↓「**なカレ**」と読む。

（「**勿**」は**禁止**を表すことが多い。）

（例）

無情。〔情け無し。〕（思いやりがない。）

無クシテレ罪…〔罪無くして…〕（罪は無くて…）

無人処（ところニ）…〔　　　〕（人がいない所に…）

＊**勿**忘。〔忘るる勿かれ。〕（忘れるな。）

勿謂。〔謂ふこと勿かれ。〕（　　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③ **非・匪＝（〜ニ）あらズ／（〜　ない）**

【状態・内容】の否定。→直下はN。

Vの場合は連体形（＋モノ・コト）と読む。

（例）

子(し)ハ**非**魚。〔子は　　　　　　〕（あなたは　　　　　　）

人ハ**非**聖人。〔　　　　　　〕〔　　　　　　〕

問一　「弗」と同じ意味の語を次の中から選べ。

ア　豈　　イ　不　　ウ　使　　エ　将　　オ　可

問二　「自疑非夢。」の正しい訓読を次の中から選べ。

ア　自(みづか)ら夢を疑ひて非ずとす。

イ　自(みづか)ら夢に非ざるかと疑ふ。

ウ　自(みづか)ら夢を疑ふを非(そし)る。

エ　自(みづか)ら疑ふを非(そし)りて夢みる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二 **「不可能（＝〜できない）」の形**

① **不可**Ｖ＝Ｖ〔終止形〕**ベカラず**（許可）

（例）**不可**出。（　　　　　）（　　　　　）

② **不能**Ｖ＝Ｖ〔連体形〕（コト）**あたハず**（能力）

（例）**不能**隠。（　　　　　）（　　　　　）

③ **不得**Ｖ＝Ｖ〔連体形〕**ヲえず**（機会）

（例）**不得**撃。（　　　　　）（攻撃する　　　）

※「不得」の下が体言であれば、「体言が手に入らない」という、普通の動詞「得」＝「手に入る」の否定。

（例）不得薬。〔薬を得ず。〕（薬が手に入らない。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　「不得視」の解釈として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　たちまち消えてしまった。

イ　見ないわけにはいかなかった。

ウ　見ることができなかった。

問四　「不レ能ハレ得ル也。」を現代語訳せよ。

問五　「不能帰。」をすべて平仮名で書き下し文にせよ。現代仮名遣いを用いてもよい。

問六　「不レ能三与レ君陥二於難一。」を書き下し文にせよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三　「二重否定」

① **無不〜＝〜ざル（ハ）なシ**　／（〜し**ないものはない**＝必ず〜する／皆〜する）

② **非不〜＝〜ざルニあらズ**　／（〜し**ないのではない**＝非常に〜する）

③ **非無〜＝〜なキニあらズ**　／（〜が**ないのではない**＝〜がたくさんある／いる）

④ **無非〜＝〜ニあらザル（ハ）なシ**　／（〜では**ないものはない**＝皆〜だ）

（例）

莫不治（マラ）。〔　　　　〕（　　　　）

非不悪（にくマ）レ寒（かんヲ）也。〔寒を悪ま　　　　〕（寒さを嫌がらない　　　　）

非無其（ノ）謂（いわれ）。〔其の謂　　　　〕（その理由　　　　）

莫非王土。〔王土　　　　〕（王の土地　　　　）

⑤ **不可不〜＝〜ざルベカラず**　／（〜**しないわけにはいかない**）

（例）**不可不**察也。〔察せざるべからざるなり。〕
（察しないわけにはいかないのである。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　「莫㆓不㆑観者㆒。」を書き下し文にしなさい。

問八　「非㆓以㆑無㆑人而不㆒㆑芳。」とはどういう意味か。最も適当なものを次の中から選べ。

ア　見てくれる人がいてはじめて、芳しい花の存在が知られるわけではない。
イ　見てくれる人が現れるかどうかで、花がその香りを変えることはない。
ウ　見てくれる人がいないからといって、芳しい香りを漂わせないわけではない。
エ　人が見てくれることを求めて、芳しい香りを発するわけではない。

問九　「父母之（の）年、不㆑可㆑不㆑知也。」の傍線部を現代語訳せよ。

注　知…記憶する。覚えておく。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第六講

①「不レ能下守二此一都一、以二万人一為上レ慮（おもんぱかり）。」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

注　為…「為（な）す」。

ア　この一都の守備を整えられず、万民の苦しみを招いた

イ　この一都を守ることも満足にできず、万民の心配のたねとなった

ウ　この一都を守り、万民のことを思いやることができなかった

エ　この一都を守ることができなければ、万民の信用を失うと考えた

②「理無レ不レ死。」とはどういう意味か。最も適当なものを次の中から選べ。

ア　真理は滅びるものではない。

イ　真理も滅びないものではない。

ウ　道理として死ぬものはいない。

エ　道理として死なないものはない。

オ　道理なくして死ぬことはできない。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　「不ルヲレ可カラレ不ルレ与ヘ…」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　与えないこともないというように
イ　与えないわけにはいかないように
ウ　決して与えてはならないように
エ　全く与えるつもりはないように
オ　与えたくてしかたがないように

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講　否定形⑵

一　「全部否定」と**「部分否定」**（右が全部・**左が部分**）

①
常不～＝つねニ～ず／（いつも～ない）
不常～＝つねニ**ハ**～ず／（いつも～とは限らない）

（例）
常不㆓先ニ食ラハ㆒。〔　　　　　　　〕〔　　　　　　　〕

家貧ひんニシテ不㆓常得㆑油。〔家貧にして　　　　　〕
（家が貧しくて　　　　　　　　　）
注　油…灯火の油

②
倶不～＝ともニ～ず／（両方とも～ない）
不倶～＝ともニ**ハ**～ず／（両方ともは～ない）

（例）　不じ㆓倶生キ㆒。〔　　　　　　〕〔　　　　　　〕

③
盡〔＝尽〕不～＝ことごとク～ず／（すべて～ない）
不盡〔＝**尽**〕～＝ことごとク**ハ**～ず／（すべて～とは限らない）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④
甚不～＝はなはダシク～ず／（ひどく～ない）
不甚～＝はなはダシク**ハ**～ず／（それほど～とは限らない）

⑤
必不～＝かならズ～ず／（必ず～ない）
不必～＝かならズ**シモ**～ず／（必ず～とは限らない）

（例）
必不レ果タサ。〔　　　〕（　　　）
不二必貴カラ一。〔　　　〕（　　　）
未二必佳かナラ一。〔　　　〕（　　　）
注　佳…立派（な人物）。

⑥
復不～＝まタ～ず／（今回もまた～ない）
不復～＝まタ～ず／（二度とは～ない）…一度はするが二度としないの意味。

（例）
復不二与ともニ言一。〔　　　〕（　　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

不㆓復与言㆒。（　　　　）（　　　　）

不㆓復鼓㆑琴。（　　　　）（　　　　）

注　鼓（こ）…サ変動詞「鼓す」。「（楽器を）演奏する」という意味。

問一　「若(も)シ使ムルモ呪(まじな)ハ㆑臣ヲ、必ズ不㆑ト能ハ㆑行フコト」の解釈として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　もし胡僧が私に呪術をかけても、かかるとは限らないでしょう。

イ　もし陛下が私に呪術をかけても、かかるとは限らないでしょう。

ウ　もし胡僧が私に呪術をかけても、かからないとは限らないでしょう。

エ　もし胡僧が私に呪術をかけても、絶対にかからないでしょう。

問二　「未尽了。」を、すべて平仮名で書き下せ。現代仮名遣いでよい。

注　了…サ変動詞「了（りょう）す」。

問三　「不㆓復聴㆑之」を口語訳せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　「特殊な否定」①

① **未嘗～＝いまダかつテ～ず／（今まで一度も～ない）**

（例）未二嘗夜読一。〔未だ嘗て夜に読まず。〕

（　　　夜中に（書物を）読んだことが　　　。）

② **未嘗不～＝いまダかつテ～ずンバアラず**

（今まで一度も～しなかったことはない＝いつも必ず～する）

（例）未三嘗不二束帯一セ。〔　　　　　　〕

（　　　　　　）

問四　「未二嘗暫（しばら）クモ去一」を書き下し文にせよ（送り仮名の一部を省いている）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　「未ダ二嘗テ不一レ悲シマ二石荊州（せきけいしゅう）之為（な）リヲ一レ人ト也。」を現代語訳せよ。

注　石荊州…人名。
為人…人柄。
悲…あわれむ。

③　**不敢〜＝あへテ〜ず／（決して〜ない）**

（例）不二敢知一。〔　　　　〕（　　　　）

★似ているので要注意！
＊敢不〜（乎）＝あへテ〜ざランや
（どうして〜ないことがあろうか、いや〜する）

（例）敢不レ知乎。〔敢へて知らざらんや。〕
（どうして知らないことがあろうか、いや、知っている。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④

不敢不～＝あヘテ～ずンバアラず
（どうしても～しないわけにはいかない＝必ず～する）

（例）不敢不尽。〔　　　　　　　　〕

注　尽…「尽（つく）す」。（　　　　　　　　）

問六　「無（カレ）二敢（ヘテ）食（ラフコト）レ我（ヲ）也。」を現代語訳せよ。

問七　「不敢不慎」を書き下し文にして、現代語訳せよ。

注　慎…「慎（つつし）む」。

〈書き下し文〉

〈現代語訳〉

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第七講

①　「不㆓復能㆑察㆓天下之言㆒」は、どう読むか。最も適当なものを次の中から選べ。

ア　ふたたびよくてんかのげんをさっせずして
イ　またてんかのげんをさっするあたはずして
ウ　てんかのげんをさっすることまたよくせずして
エ　またよくせずしててんかのげんをさっし
オ　ふたたびあたはずしててんかのげんをさっし

②　「不敢不告也」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　どうして告げないのか、いや、告げるのである。
イ　おもいきって告げないことにするのである。
ウ　どうしても告げないわけにはいかないのである。
エ　どうして告げないのかわからないのか。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　「其ノ<u>為レ人</u>、栄（はえ）アリテ二於色一ニ而敏ナリ二於行（おこなひ）ニ一。」の傍線部の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ひとのため
イ　ひとをなすに
ウ　ひととなるに
エ　ひとをつくる
オ　ひととなり

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講　否定形(3)／受身形

一　「特殊な否定」②

① **A不可勝B** ＝ ｛Aあゲテbべカラず／ABニたフべカラず｝ ／（AはBきれないほど多い）

（例）

星**不**㆑**可**㆓**勝**数㆒。（　　　　）（星は数えきれないほど多い。）

星**不**㆑**可**㆑**勝**㆑数。（　　　　）（星は数えきれないほど多い。）

問一　「穀不㆑可㆑勝㆑食」を書き下し文にして、現代語訳せよ。

注　穀…穀物。

〈書き下し文〉

〈現代語訳〉

② **無Ａ無Ｂ**

⬇　ＡとＢの関係に注目！

【対義語】＝無レＡ無レＢ／ＡトなクＢトなク／（ＡとＢの区別なく）

【~~対義語~~】＝無二Ａ無一レＢ／ＡトシテＢなキハなシ／（ＡにはすべてＢがある）

（例）

無貴(き)**無賤**(せん)、…（　　　　）（　　　　）

無人無情。（　　　　）（　　　　）

③ **無Ｎ不Ｖ＝ＮトシテＶざルハなシ／（ＶしないＮはない＝Ｎなら必ずＶする）**

（例）**無人不学。**（　　　　）（　　　　）

問二　「父子君臣夫婦ハ、無国無之。」の傍線部を書き下し文にせよ。

問三　「無山無川、皆…」の傍線部を現代語訳せよ。

問四　「土佐ハ無二物不一レ有。」を現代語訳せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈補足〉

★上が仮定条件の場合

無クンバ二〜一
不ンバ二〜一
非ズンバ二〜一ニ
→ 不二〜一。

もし
〜がなければ
〜しなければ
〜でなければ
→ 〜しない。

（例）**不**ンバレ酔ハ**不**レ楽シマ。

〔酔はずんば楽しまず。〕

（もし酔わなければ（心が）楽しくならない。）

無クンバ二〜一
不ンバ二〜一
非ズンバ二〜一ニ
→ 無二〜一。

もし
〜がなければ
〜しなければ
〜でなければ
→ 〜がない。

（例）**非**ズンバレ礼ニ**無**キレ行フコト也。

〔礼に非ずんば行ふこと無きなり。〕

（もし礼でなければ行うことはないのである。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　受身形

①　助動詞を使ったもの

所　為　被　見　レV

〈読〉＝
- V（四段・未然形）＋る
- V（四段以外・未然形）＋らル

〈訳〉＝Vされる

〈例〉

見レ用ヰ。（　　　　　　　　）

見レ疑ハ。（　　　　　　　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　「弥子瑕（びしか）見愛於衛君。」の傍線部の読みを、送り仮名まで含めてすべて平仮名（現代仮名遣い）で答えよ。

注　弥子瑕…人名。
　　衛君…衛国の君主。

問六　「吾嘗テ三タビ仕ヘテ、三タビ見レ逐（お）ハ二於君一。」の傍線部を現代語訳せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

② 助動詞を使わないもの

(1) **為二N所レV**

〈読〉＝**NノVスルところトなル**

〈訳〉＝**Nに Vされる**

(例)

為唐廷(とうていノ)文士(ぶんし)**所**推奨。
〔唐廷の文士　推奨　〕
(唐廷の文士　推奨　)

且レ**為**二沛公**所**レ虜(とりことスル)。
〔　〕
(　)

注　虜…捕虜。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(2)

V[ニ] 於[ル・ラル]・于・乎 N

※N＝Vの動作主

〈読〉＝NニV{ル/ラル}

〈訳〉＝NにVされる

(例) 先（さきンジテ）発（スレバ）制（シ）人（ヲ）、後（レテ）発（スレバ）**制[ニ]於人**。

〔先んじて発すれば人を制し、後れて発すれば　　　　〕

（先に行えば人を支配することができるが、遅れて行えば　　　　）

③　本文中の他の箇所において、同一漢字の送り仮名に「ル・ラル」がついているときは注意。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　「為人所制。」を書き下し文にして、現代語訳せよ。

〈書き下し文〉

〈現代語訳〉

問八　次の傍線部「於」の用法の中で、一つだけ働きが異なるものを選べ。

ア　治二於人一。

イ　孔子用二於楚一、…

ウ　霜葉紅二於二月花一。

エ　獲二於上一有レ道。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第八講

① 「見レ召。」の「見」の説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア 「使」と同じで、「〜させる」という意味である。
イ 「被」と同じで、「〜される」という意味である。
ウ 「示」と同じで、「しめす」という意味である。
エ 「現」と同じで、「あらわれる」という意味である。
オ 「謁見」の「見」と同じで、「まみえる」という意味である。

② 「弱キ者ハ被ニ俘略(ふりゃく)セ一、…」の傍線部の送り仮名を含めた読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

注　俘略…捕え略奪すること。

ア るは　イ しめ　ウ ずして　エ られ

③ 「為人所資」の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア 人の為に所として資する
イ 人に資する所と為る
ウ 人の為に所の資するなり
エ 人の資する所と為る

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講　疑問・反語(1)

疑問と反語は同じ漢字を用いて表現する。
見分け方は、**送り仮名が「〜ン（や）」**の場合は、**反語**である。
よって、白文では「見た目」の判断ができず、文脈判断が必要である。

【文頭形】

① **何・奚・胡・曷**＝
- 疑　**なんゾ**〜連体形。／（どうして〜か）
- 反　**なんゾ〜ン（や）**。／（どうして〜か、いや、〜ない）

（例）

何ゾ謂フヤレ無シトレ知ルモノ。〔何ぞ知るもの無しと謂ふや。〕
（どうして知る者がいないと言うのか。）

何ゾ患(うれ)ヘン三乎無キヲ二兄弟(けいてい)一也(や)。〔何ぞ兄弟無きを患へんや。〕
（どうして兄弟がいないことを悩むだろうか、いや、悩む必要はない。）

我**何**ゾ渡ルヲ為(な)サン。〔我何ぞ渡るを為さん。〕（　　　　）

注　為…ここでは「為(な)す」。「する」という意味。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

＊左記の二字熟語としてよくでる。

「何不二〜一」＝
- 疑　**なんゾ〜ざル　／（どうして〜しないのか）**
- 反　なんゾ〜ざラン（や）　／（どうして〜しないのか、いや、する）

（例）

何不ル謂。（　　　　）（　　　　）

何なん**遽**ゾ不レ為ラン福ラ乎ト。〔何遽ぞ福と為らざらんや。〕
（どうして幸福とならないだろうか、　　　）

※ここからは「疑問」の訳のみ掲載。
「反語」ならば、送り仮名が「**〜ン（や）**」で、
訳はひっくり返す。

② **何**＝
- **なにヲカ〜／（何を〜か）**
- いづレノ〜／（どの〜か）
- いづクニ（カ）〜／（どこに〜か）
- いづレ〜／（どちらの〜）

（例）

何ヲカ祈リシ。〔何をか祈りし。〕（　　　　）

★**目的語が疑問詞**の場合、**語順が倒置**する。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

敵人(てきじん)**何**在(ルや)乎。〔敵人　　在るや。〕（敵は　　いるのか。）

何懼(おそレン)ヲカ。〔何をか懼れん。〕（　　　　）

＊何日＝いづレノひニカ／（いつ）

＊何処＝いづレノところニカ／（どこ）

③　**何為＝なんすレゾ〜／（どうして〜か）**

＊何(ヲ)為(なス)二〜(ト)一。＝なにヲ〜トなス／（何を〜と判断するのか）

（例）

何為不(ラン)レ受(ケ)。〔何為れぞ受けざらん。〕（どうして　　　　）

何為去(ルヤ)レ我。〔　　　　〕（どうして私を追い出すのか。）

奚為(なんすレゾ)不(ル)二自(みづかラ)織(ラ)一。〔奚為れぞ自ら織らざる。〕（どうして　　　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

＊何為ル者ゾ＝なんすルものゾ／（何者か）

（例）客(かく)**何為者**。〔客何為る者ぞ。〕（お前は何者だ。）

④

誰＝
- **たれカ〜／（誰が〜か）**
- **たれヲ（カ）〜／（誰を〜か）**

（例）陛下**誰**憚リテ、而久シク不レ為レ此ヲ。〔陛下誰　憚りて、久しく此を為さざる。〕

（陛下は誰　憚って、長い間これを実行しないのか。）

誰喜レ聞(バン)クヲ。〔誰　聞くを喜ばん。〕

（誰　聞くことを喜ぶ　）

＊誰カ〜者ゾ＝たれカ〜ものゾ／（誰が〜か）

（例）**誰カ**加レ衣(ヘシい)ヲ**者ゾ**。〔誰か衣を加へし者ぞ。〕（　）

注　加…ここでは「かける」の意味。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤

孰＝
- 「多数」…**たれカ～**／（**誰が～か・どれが～か**）
- 「二者択一」…**いづレカ～**／（**どちらが～か**）　※二者が示される

（例）

孰与ヘシレ之ヲ。〔　　之を与へし。〕（　　これを与えたのか。）

師与(と)トレ商也**孰**賢(まさ)レル。〔師と商と　　賢れる。〕（師と商とは　　勝っているか。）

注　師…子張（人名）のこと。
　　商…子貢（人名）のこと。

⑥

何以＝**なにヲもつテ（カ）～**／
- （【**理由**】**どうして～か**）
- （【**手段**】**何によって～か**）

（例）

何ヲ**以**テ遂(つひ)ニ得タル二天下ヲ一。〔何を以て遂に天下を得たる。〕（どうやって最終的に　　）

何ヲ**以**テ異ナラン哉(や)。〔何を以て異ならんや。〕（どうして　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第九講

① 「孰能使㆓之然㆒」の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　孰(たれ)ぞ能(よ)く之を然らしめん。
イ　孰(たれ)の能(のう)か之(ゆ)きて然らしめん。
ウ　孰(たれ)か能(よ)く之をして然らしめん。
エ　孰(いづく)んぞ能(よ)く之を然りとせしめん。
オ　孰(いづ)れの能(のう)か之をして然らしめん。

② 「何為痛ムコト之至レルカ㆓於此ニ㆒也。」の傍線部の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　なんぞ
イ　いづれぞ
ウ　いかんぞ
エ　なんすれぞ
オ　いづくんぞ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　傍線部が「反語」の意味になるものとして、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　我何ゾ渡ルヲ為サン。

イ　何ヲカ祈リシ。

ウ　誰カ加レヘシ衣ヲ者ゾ。

エ　孰カ与レヘシ之ヲ。

オ　何ヲ以テ遂ニ得二タル天下ヲ一。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十講　疑問・反語(2)

一 「文頭形」

⑦ **安・悪・焉**＝｛いづクニカ～／（どこに～か）
いづクンゾ～／（どうして～か）

（例）**安**所(アラン)レ得(ル)レ酒(ヲ)乎(や)。〔酒を得る所あらんや。〕

（どこに酒を手に入れるところがあるだろうか、いや、ない。）

燕雀(えんじやく)**安**知(ラン)二鴻鵠(こうこく)之志(ヲ)一哉(や)。〔燕雀　鴻鵠の志を知らんや。〕

（燕や雀などの小鳥が　鴻鵠〔＝白鳥のような大きな鳥〕の志がわかるだろうか、いや、わからない。）

⇐

【小人物には大人物の心はわからない】

⑧ **如何・奈何・若何～＝いかんゾ～／（どうして～か）**

＊文末にあれば「いかんセン」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（例）　**如何**不ニ涙垂一レ。〔如何ぞ涙垂れざらん。〕
（どうして涙が落ちないだろうか、いや、落ちる。）

二　「文末形」

① **如何・奈何・若何。＝いかん（セン）。**／疑（～はどうするか）【方法】
反（～はどうするか、いや、どうしようもない）

（例）　為レスコト之ヲ、**奈何**セン。〔之を為すこと、奈何せん。〕（これをするには、どうしようか。）

＊ **如[O]何。＝[O]ヲいかんセン。**／疑（[O]をどうすればよいか）
反（[O]をどうすればよいか、いや、どうしようもない）

（例）　**如**ニ吾ガ民一**何**セン。〔吾が民　如何せん。〕（民衆　どうすればよいか。）

虞ヤ兮虞ヤ兮**奈**レ若なんぢ**何**。
注　虞…女性の名前。
〔虞や虞や　　〕
（虞よ、虞よ、お前をどうすればよいだろうか、いや、どうにもできない。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

② **何如・何奈・何若。＝いかん。／（〜はどのようであるか）【状態・結果】**

★疑問のみの用法！

（例）以レ五十歩笑二百歩一、則**何如**。〔五十歩を以て百歩を笑はば、則ち何如。〕
（自分は五十歩しか逃げていないと言って百歩逃げた人を笑ったとしたら、どうだろうか。）

③ **〜何也。＝〜ハなんゾや／（〜はどうしてなのか）**

★疑問のみの用法！

（例）云レ登レ第、**何也**。〔第に登ると云ふは、何ぞや。〕
（試験に合格すると言うのは、　　　　）

④ **〜乎・哉・耶・邪・也・与・歟。＝や・か／**
疑（〜か）
反（〜か、いや、〜ない）

（例）何故異二昨日之言一**邪**。〔何の故に昨日の言に異なるや。〕
（どうして昨日の言葉と異なるの　　。）

欺レ天**乎**。〔天を欺かんや。〕（天を欺くだろうか、いや、欺かない。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤

幾何。＝いくばく（ゾ・カ・ナラン）／
- 疑（どれくらいだろうか）
- 反（どれくらいだろうか、いや、どれほどでもない）

＊文中の場合も有り。

（例）

（酒を飲んでは大いに歌うべきだ。）

人生ハ**幾何**ゾ。　〔人生は幾何ぞ。〕
（人生はどれだけ続くものだろうか、いや、どれほどもない。）

幾何カ離レン。　〔幾何か離れん。〕
（どれくらい離れるだろうか、いや、しばらくに過ぎない。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「奈何」の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　なんぞ　　イ　いづれぞ　　ウ　いかんぞ

エ　なんすれぞ　　オ　いづくんぞ

問二　「今日之事、何如。」の傍線部の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いかんせん　　イ　なんのごとし　　ウ　いかん

エ　いかんぞ　　オ　なんぞ

問三　「何以知レ之」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　それがわかるはずがあるだろうか

イ　そのことがいつわかったのか

ウ　何としてもそれを知りたいのか

エ　どうしてそれがわかるのか

オ　誰（だれ）がそれを教えてくれたのか

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　「割(さ)クニレ鶏(にわとり)ヲ焉クンゾ用(もち)ヰン二牛刀ヲ一」を現代語訳せよ。

注　牛刀…塊の肉を切る大きな包丁のことだが、ここでは「牛に使う大きな包丁」という意。なお、訳では「牛刀」のままでよい。

問五　「城中安得レ有二此獣一」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　まちに虎がいて安全といえるのだろうか
イ　まちに虎がいるはずがないではないか
ウ　まちに鼠がいるのは当然ではないか

問六　「此所レ用翠(すい)羽(う)幾何」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　これを作るのに必要な翠羽はとても多い。
イ　これを作るのに必要な翠羽はいくらでもある。
ウ　これを作るにはある程度の翠羽を必要とする。
エ　これに使われた翠羽はたかが知れている。
オ　これに使われた翠羽はどれくらいか分からない。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十講

①　「為スコトㇾ之ヲ、奈何。」の傍線部の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いかんぞ　　イ　いかん　　ウ　いかんせん
エ　なんぞ　　オ　なんすれぞ

②　「〜何也。」に関して正しいものを、次の中から選べ。

ア　文末に用いて、「〜だからである」と訳す。
イ　「疑問」か「反語」は文脈判断をするしかない。
ウ　必ず「反語」になる。
エ　「〜なんぞや」と読む。

③　「しばらく離れるに過ぎない」という解釈になるものを、次の中から選べ。

ア　幾何カ離レン。
イ　幾何カ離ルル。
ウ　離レン乎。
エ　離ルル乎。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十一講　疑問・反語(3)／詠嘆形

一　「反語」特有の句法

① **豈**～（**哉・乎**）＝**あニ～ン（や）**／（**どうして～だろうか、いや、～ない**）

（例）**豈**ニ古之糸竹（しちく）ナラン乎。　〔豈に古の糸竹ならんや。〕
（どうして昔の楽器であろうか、いや、違う。）

是（こ）レ**豈**ニ水之性ナラン哉（や）。　〔是れ豈に水の性ならんや。〕
（これが　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

注　性…性質

② **安・悪・焉・寧**～（**哉・乎**）＝**いづクンゾ～ン（や）**／（**どうして～だろうか、いや、～ない**）

（例）王侯将相、**寧**有レ種乎。　〔王侯将相、　　　　　　　〕
（天子、諸侯、将軍、宰相は、どうして定まった血統があろうか、いや、ない。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③
豈能〜＝あニよク〜ン／（どうして〜できるだろうか、いや、できない）
安能〜＝いづクンゾよク〜ン／（どうして〜できるだろうか、いや、できない）
誰能〜＝たれカよク〜ン／（誰が〜できるだろうか、いや、誰もできない）

（例）

豈能佩二六国相印一乎。

注　相印…宰相の印綬（いんじゅ）。「相印を佩びる」は「宰相の印綬を身につける」➡「宰相になる」こと。

〔豈に能く六国の相印を佩びんや。〕

（どうして六国の　　　　　）

安能避レ罪。

〔安くんぞ能く罪を避けんや。〕

（　　　　　）

孰能無レ惑。

〔孰か能く惑ひ無からん。〕

（　　　　　）

④
敢不〜乎＝あヘテ〜ざランや／（どうして〜しないことがあろうか、いや、〜する）

（例）　敢不知乎。〔　　　　　〕

（　　　　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤ **何N之有＝なんノNカこレあラン／（何のNがあろうか、いや、何のNもない）**

（例）　**何難**キコトカ**之有。**〔　　　　　　　　　〕（　　　　　　　　　）

何罪之有。〔　　　　　　　　　〕（　　　　　　　　　）

⑥ **可〜乎＝〜ベケンや／（〜できるだろうか、いや、できない）**

（例）　何ゾ**可**ケンヤレ緩ゆるクス。〔何ぞ緩くすべけんや。〕（どうして緩めることができようか、いや、できない。）

※ 疑問詞〜ン
〜ンや
疑問詞〜ンや
＝反語

＊〜ン＝推量

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「<u>豈</u>古之鶯花（おうか）ナラン乎。」の傍線部の読みを、送り仮名も含めて平仮名で示せ。また全文を口語訳せよ。

読み＝

口語訳＝

問二　「晏子（あんし）焉知礼」を反語の意味になるように、すべて平仮名で書き下し文にせよ（現代仮名遣いでもよい）。

問三　「汝為レ人、何黄之有」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　汝の人と為り、何れの黄の有るや
イ　汝は人の為に、何ぞ黄の之れ有らん
ウ　汝は人為り、何の黄か之れ有らん
エ　汝は人を為りて、何をか黄の有るや
オ　汝の人を為むるや、何れに黄の之く有るか

問四　「天下之乱<u>寧有レ窮（きはマリ）乎（や）</u>。」の傍線部を現代語訳せよ。

注　窮…終わり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　詠嘆形

① **不亦(また)Ａ乎。**　＝**またＡずや／（なんとまあＡではないか）**

＊乎＝哉

（例）**不亦楽乎。**（　　　　　　）（　　　　　　）

② **豈(あ)ニ不Ａ乎。**　＝**あニＡずや／（なんとまあＡではないか）**

＊乎＝哉

★　豈不～乎＝「**豈に～ざらんや**」と読めば「　　　　」の意味になり、（　　　　　　）と訳す。

（例）**豈不学乎。**（　　　　　　）（　　　　　　）

豈不遠乎。（　　　　　　）（　　　　　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③ **何**ゾ（**其**レ）A（＝連体形）（**也**）。＝**なんゾ（そレ）A（や）／（なんとAではないか）**

（例）

何其浅**也**。（　　　　　　　　　）（なんと浅薄であろうか。）

何楚人（そひと）之多**也**。（　　　　　　　　　）（　　　　　　　　　）

④ **A**（＝連体形）**哉**（かな）、**N也**（や）。＝**Aかな、Nや／（Aだなあ、Nは）**

（例）美**哉**、花**也**。（　　　　　　　　　）（　　　　　　　　　）

⑤ **～乎・哉・矣・夫・与**。＝**～かな／（～だな）**

（例）嗚呼（ああ）美**哉**。〔嗚呼美しきかな。〕（ああ、美しいなあ。）

⑥ **宜**（むベナル）**乎**。＝**むベナルかな／（もっともだな）**

＊乎＝哉

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑦ **已（や）ンヌル矣乎（かな）。＝ヤンヌルかな／（もうだめだ・どうしようもない）**

問五　「不㆓亦宜㆒乎。」の読み方として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　またよろしからず。
イ　またむべならずや。
ウ　またもむべならざらん。
エ　またよろしくせざるなし。
オ　またもよろしくすべからざるなり。

問六　「何其壮也」を書き下し文にし、また口語訳もせよ。

注　壮…形容動詞「壮なり」。いさましく元気な様子。

〈書き下し文〉

〈口語訳〉

復習問題　第十一講

① 「不二敢西向一」について、（Ⅰ）その読み方と、（Ⅱ）これを「敢不二西向一」と変えた場合の読み方として適当なものを、それぞれ次のa～f中から一つずつ選び、その組み合わせを後のア～カの中から一つ選べ。

a　西に向かふことをあへてせず、
b　あへて西せずして向かはず、
c　あへて西に向かはず、
d　あへて西に向かはざらんや、
e　あへて西せずして向かはざらんや、
f　西に向かふことをあへてせざらんや、

（Ⅰ）―（Ⅱ）
ア　a ― e
イ　a ― f
ウ　b ― d
エ　b ― f
オ　c ― d
カ　c ― e

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

② 「可ケンレ不ルレ慎マ歟や」にはどのような句形が用いられているか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　使役　　イ　反語　　ウ　限定
エ　比較　　オ　禁止

③ 「豈同二他妓一哉。」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　どうしても他の妓女たちと同じにしたいのです。
イ　どうやら他の妓女たちと同じらしいのです。
ウ　どうして他の妓女などと同じでありましょうか。
エ　もちろん他の妓女たちと同じはずです。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

模範解答

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第一講】

三

①〔之を食らふ。〕

②〔舟を移して煙渚に泊す。〕

③〔人の日辺より来たるを聞かず、…〕

④⑧レ⑦乙⑤下③二①②一④上⑥甲。

⑤〔土佐は物として有らざる無し。〕

⑥〔之に師事す。〕

〔模範解答〕

問一　②二-③①一④⑥レ⑤。

問二　⑦レ⑥三①②⑤二③④一。

問三　単于欲レ降レ之。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第二講】

①（君主**が怒る**。）

②（昭王がすぐれた人物**を**招こうとした。）
（病気の子が薬を飲む。）

③（私は帝にお願いする。）
（公が人**に**語って言うことには…）

④（衣装**を**君主の（体の）上**に**かけた。）
（不死の薬を荊王に献上する。）

⑤（子路が人に一箪の食を与える。）

★〔臣忠信を以て罪を上に得る者なり。〕
（私は忠信でありながら**罪を上位の人に得る**（＝罪を上位の人からうける）ものである。）

〔模範解答〕
問一　②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第三講】

二　〔宋人に**田を耕す者有り**。〕
〔傍らに**人無きがごとし**。〕
〔岐多くして羊を亡ふ。〕

〔模範解答〕

問一　ウ

問二　吾已作㆓薬酒㆒待㆑之矣。

問三　使ム㆓甸人ヲシテ献ゼ㆑麦ヲ。

問四　雪珠如ク㆑豆ノ打ツ㆓茅茨ヲ㆒。

問五　a　や　b　なり

問六　ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第四講】

①〔未だ還らず。〕〔前代に**未だ聞かず**。〕

②〔将に食せんとす。〕〔且に之を飲まんとす。〕（今にもこれを飲もうとする。）

③〔当に汝を帰がしむべし。〕〔当に悪願を発すべからず。〕

④〔応に之を知るべし。〕〔応に未だ眠らざるべし。〕

⑤〔宜しく高位に在るべし。〕

⑥〔須らく学ぶべし。〕（学ばなければならない。）

⑦〔今の楽、猶ほ古の楽**の**ごとし。〕

〔模範解答〕

問一　ア

問二　Ａ　ア　　Ｂ　ウ

問三　まさにせいにゆかんとし、

問四　ア

問五　当に子の為に酒を沽ふべし。

問六　妾は宜しく身を以て其の棺槨に薦め、其の幼孤を守り養ふべし。

問七　宜しく速やかに之を改むべし。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　ウ

問九　A　イ　　B　エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第五講】

①
i 〔求めしむ。〕
〔還らしむ。〕
〔歩行せしむ。〕
ii 〔武**をして**還らしむ。〕（蘇武**に**帰還させる。）
〔人をして愁へしむ。〕（人に愁えさせる。）
iii 〔我**をして**百獣に長たらしむ。〕
〔涓人をして千里の馬を求めしむ。〕
iv 〔定伯鬼をして渡らしむ。〕（定伯は**幽霊に**（川を）渡らせる。）
v 〔項王都尉陳平をして沛公を召さしむ。〕（項王は軍の部隊長の陳平に沛公を呼ばせる。）

〔模範解答〕

〔例題〕

(1) 王（S）使臣（N）書（V）文（O）。

(2) 王（S）使臣（N）書（V）。

(3) 王（S）使書（V）文（O）。

(4) 使書（V）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　人をして中射の士を殺さしむ。

問二　こうをしてうまをもってひとをころさしむ

問三　使二相聘一レ焉。

問四　あなたの妻に私のために絹の布を百疋織らせなさい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第六講】

一

①〔知らず。〕

②〔取らざるなり。〕

〔人無き処に…〕

（言ってはならない〔＝言うな〕。）

③〔子は**魚に非ず**。〕（あなたは**魚ではない**。）

〔人は聖人に非ず。〕（人は聖人ではない。）

二

①〔出づべからず。〕（出ることができない。）

②〔隠す（こと）能はず。〕（隠すことができない。）

※〔隠るる（こと）能はず。〕（隠れることができない。）でも可。

③〔撃つを得ず。〕（攻撃する**ことができない**。）

三

①〜④〔治まらざる（は）莫し。〕（治まらないものはない。）

〔寒を悪ま**ざるに非ざるなり**。〕（寒さを嫌がらない**のではない**（のである）。）

〔其の謂**無きに非ず**。〕（その理由**がないのではない**。）

〔王土**に非ざる（は）莫し**。〕（王の土地**ではないものはない**。）

〔模範解答〕

問一　イ

問二　イ

問三　ウ

問四　得ることができないのである。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　かえ〔へ〕る（こと）あたわ〔は〕ず。

問六　君と難に陥る（こと）能はず。

問七　観ざる者莫し。

問八　ウ

問九　知らない〔＝記憶しない・覚えておかない〕わけにはいかないのである。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第七講】

一

①〔常に先に食らはず。〕（いつも先に食べない。）

〔家貧にして**常には油を得ず**。〕（家が貧しくて**いつも灯火の油があるとは限らない**。）

②〔倶には生きじ。〕（両方ともは生きてはいないだろう。）

⑤〔必ず果たさず。〕（必ず果たさない。）

②〔必ずしも貴からず。〕（必ず（しも）貴いとは限らない。）

〔未だ必ずしも佳ならず。〕（まだ必ず（しも）立派な人物とは限らない。）

⑥〔復た与に言はず。〕（今回もまた一緒に話さない。）

〔復た与に言はず。〕（二度とは一緒に話さない。）

〔復た琴を鼓せず。〕（二度とは琴を演奏しない。）

二

①（**今まで一度も**夜中に（書物を）読んだことが**ない**。）

②〔未だ嘗て束帯せずんばあらず。〕（今まで一度も正装しなかったことはない。）

③〔敢へて知らず。〕（決して知らない。）

④〔敢へて尽さずんばあらず。〕（どうしても尽くさないわけにはいかない。）

〔模範解答〕

問一　エ

問二　いまだことごとくはりょうせず。

問三　二度とはこれを聴かない

問四　未だ嘗て暫くも去らず

問五　今まで一度も石荊州の人柄をあわれまなかったことはないのである。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　決して私を食べてはいけない。

問七　**〈書き下し文〉**　敢へて慎まずんばあらず

〈現代語訳〉　どうしても慎まないわけにはいかない

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第八講】

一

①〔星勝げて数ふべからず。〕

〔星数ふに勝ふべからず。〕

②〔貴と無く賤と無く、…〕（身分の高い者と低い者の区別なく、…）

〔人として情け無きは無し。〕（人はみんな思いやりがある。）

③〔人として学ばざるは無し。〕（学ばない人はいない。）

二

①〔用ゐらる。〕

〔疑はる。〕

②(1)〔唐廷の文士**の**推奨**する所と為る**。〕（唐廷の文士**に**推奨**される**。）

〔且に沛公の虜とする所と為らんとす。〕（そのうち沛公に捕虜にされてしまうだろう。）

(2)〔先んじて発すれば人を制し、後れて発すれば**人に制せらる**。〕

（先に行えば人を支配することができるが、遅れて行えば**人に支配される**。）

〈模範解答〉

問一　**〈書き下し文〉**　穀食ふに勝ふべからず

〈現代語訳〉　穀物は食べきれないほど多い

問二　国として之無きは無し。

問三　山と川の区別なく

問四　土佐には（どんなものでも）無い物はない。〔＝土佐にはなんでもある。〕

問五　あいせらる

問六　君主に追放された。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　〈書き下し文〉　人の制する所と為る。
〈現代語訳〉　人に支配される。

問八　ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第九講】

① （私はどうして渡ることをしようか、いや、渡らない。）
〔何ぞ謂はざる。〕（どうして言わないのか。）
（どうして幸福とならないだろうか、**いや、なる。**）

② （何を祈ったのか。）
〔敵人**何くに**在るや。〕（敵は**どこに**いるのか。）
（何を恐れるだろうか、いや、恐れない。）

③ （どうして**受けないだろうか、いや、受ける。**）
〔何為れぞ我を去るや。〕
（どうして**自分で織らないのか。**）

④ 〔陛下誰**を**憚りて、久しく此を為さざる。〕（陛下は誰**を**憚って、長い間これを実行しないのか。）
〔誰**か**聞くを喜ばん。〕（誰**が**聞くことを喜ぶ**だろうか、いや、喜ばない。**）
（誰が衣をかけたのか。）

⑤ 〔**孰か**之を与へし。〕（**誰が**これを与えたのか。）
〔師と商と**孰れか**賢れる。〕（師と商とは**どちらが**勝っているか。）

⑥ （どうやって最終的に**天下を得たのか。**）
（どうして**異なるだろうか、いや、異ならない。**）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第十講】

一

⑦〔**安くにか**酒を得る所あらんや。〕

〔燕雀**安くんぞ**鴻鵠の志を知らんや。〕（燕や雀などの小鳥が**どうして**鴻鵠の志がわかるだろうか、〜）

二

①〔吾が民**を**如何せん。〕（民衆**を**どうすればよいか。）

〔虞や虞や**若を奈何せん。**〕

③（試験に合格すると言うのは、**どうしてなのか**。）

④（どうして昨日の言葉と異なるの**か**。）

〔模範解答〕

問一　ウ

問二　ウ

問三　エ

問四　鶏を割くのにどうして牛刀を用いるだろうか、いや、用いない。

問五　イ

問六　エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第十一講】

一

①（これが**どうして水の性質だろうか、いや、違う。**）

②〔王侯将相、**寧くんぞ種有らんや。**〕

③（どうして六国の**宰相になることができるだろうか、いや、できない。**）

（どうして罪を避けることができるだろうか、いや、できない。）

（誰が迷うことがないようにできるだろうか、いや、誰もできない。）

④〔敢へて知らざらんや。〕（どうして知らないことがあろうか、いや、知っている。）

⑤〔何の難きことか之れ有らん。〕（何の難しいことがあろうか、いや、何も難しくない。）

〔何の罪か之れ有らん。〕（何の罪があろうか、いや、何の罪もない。）

二

①〔亦楽しからずや。〕（なんと楽しいではないか。）

②★「反語」（どうして～しないだろうか、いや、する）

〔豈に学ばざらんや。〕（どうして学ばないだろうか、いや、学ぶ。）

〔豈に遠からずや。〕（なんと遠いではないか。）

③〔何ぞ其れ浅きや。〕

〔何ぞ楚人の多きや。〕（なんと楚の人〔＝兵〕が多いことよ。）

④〔美しきかな、花や。〕（美しいなあ、花は。）

〈模範解答〉

問一　**〈読み〉**　あに

〈口語訳〉　どうして昔の鶯や花であろうか、いや、違う。

問二　あんしいず〔づ〕くんぞれいをしらん

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　ウ

問四　どうして終わりがあろうか、いや、ない。

問五　イ

問六　**〈書き下し文〉**　何ぞ其れ壮なるや

〈口語訳〉　なんといさましく元気ではないか

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答解説

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第一講　解答解説

〔解説〕

① 書き下し文にする際、漢字の右下にカタカナで書かれている送り仮名は、平仮名で書く。よって、エが正解。

② 上から見ていき、返り点がついていない文字から順番に読む。従って、最初の○には「下」点がついているため保留。少なくとも、先に一・二点を読んでからでなければ読めない。二番目の○には返り点がついていないので、これを1番に読むことから、選択肢ア・オは削る。三番目は「中」点であるから、こちらも保留。四番目は返り点がついていないので、これを2番に読む。五番目の○に「二」点がついている。よって、「一」点がついている文字からここに戻る。その下の○には返り点がついていないので、これが3番。この時点で、正解はウだとわかる。一応、確認していくと、その次に「一」点がついており、ここから「二」点に戻る読み方になっている。その次の○に「上」点がついているので、そこから「中」→「下」と読み、最後の○が9番となる。やはり、ウが正解。

③ 「邪不干正」の部分を「邪は正を干(をか)さず」と読むには、「邪」には返り点は不要。「不干正」の部分は、それぞれ一字ずつ返っているので「不レ干レ正」となる。「～ずと聞く」の部分は、「不」の文字から「聞」に二字以上返っているので、「不」は一レ点、「聞」には二点がつく。よって、エが正解。

④ 「太常使国工視之」を「太常国工をして之を視(み)しむ」と読むには、「太常」の文字には返り点は不要。「使」は助動詞で「しむ」と最後に読んでいるため、「使」の文字には返り点がつくが、選択肢すべてに返り点がついているため保留。次に「国工をして之を」と読むので、「国工」の文字には返り点は不要。したがって、エかオに絞る。次に「之を視」と一字返って読むので、「視レ之」となる。最後の「視しむ」の部分は、「視」の文字から「使」に二字以上返っているので、「視」は一レ点、「使」には二点がつく。よって、エが正解。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔解答〕

① エ

② ウ

③ エ

④ エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二講　解答解説

〔解説〕

① 動画講義中に出題した問題。返り点に従って読むと、選択肢エかオに絞れる。「移」を「移す」と訳しており動詞であることから、その下の「榻於戸外」は「榻」が目的語（〜ヲ）、「戸外」が補語（〜ニ・ト・ヨリ・ヨリモ）になる。よって、それぞれの送り仮名がきちんと対応しているエが正解。

② 「修飾」・「被修飾」の語順は、漢文でも日本語と同様に「修飾語」は「被修飾語」の前に置かれる。よって、イが正解。

③ 「語気詞」は文末に置く。よって、アが正解。

〔解答〕

①　エ　　②　イ　　③　ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第三講　解答解説

〔解説〕

① 動画講義中に出題した問題。「語」が動詞なので、その下の「夫人其実」は「夫人」が補語、「其実」が目的語。よって、正解はオ。

② 「有」「無」「所」「多」は返読文字である。「者」は返読文字ではない。よって、オが正解。

③ 「也」の読み方の問題。文中の「也」は「や」と読むので、ウとエは不適。文末の「也」は、上に疑問・反語の文字がないので、この場合は「なり」である。よって、正解はア。

〔解答〕

① オ　② オ　③ ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第四講　解答解説

〈解説〉

① アは「まさニ〜ベシ」、ウは「よろシク〜ベシ」、エは「すべかラク〜ベシ」と読む再読文字。よって、正解はイ。

② 再読文字の「未」に気をつけること。「未だ厭かざる」と読むことから、「未」の一字下の「厭」から再度戻っているので「未」の下に「レ点」をつける。さらにそこから「有」に戻るには、二字以上返るため、「未」は「レ点」となり、「有」には「二点」をつける。よって、イが正解。

③ 「どうしても〜（し）なければならない」（＝当然〜すべきだ）という意味から、「当」は再読文字として「まさに〜べし」と読むことがわかる。よって、正解はイ。

④ 再読文字「猶」は、「ちょうど〜と同じだ」の意味。よって、正解はエ。

〈解答〉

① イ　② イ　③ イ　④ エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講　解答解説

〔解説〕

① 「俾」は使役の助動詞「しム」。よって、正解はア。

② 「～させようとした」という意味から、「使」は使役の助動詞「しむ」と読むことがわかる。その下を見て、動詞を探すと「償」が動詞。よって、「使」と「償」の間にある「相」が使役の対象で、送り仮名は「をして」をおくる。よって、正解はイ。

③ 返り点に従って読めているものはアかイ。よって、「使」は使役の助動詞「しム」。使役の語順を踏まえて、下を見て動詞を探すと「書」がある。「使」と「書」の間にある「臣」が使役の対象、動詞の下の「文」が目的語、「使」の上が主語となる。使役の対象の「臣」には「をして」という送り仮名が必要。よって、正解はア。

〔解答〕

①　ア　②　イ　③　ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第六講　解答解説

〔解説〕

① 「不能」の下に、「守」と「慮」と動詞が二つある。返り点通りに読むと二つ目の動詞「慮」を読んでから「不能」に返るため、二つの動詞がともに「できない」ということ。よって、正解はウ。

② 「無不～」は「～しないものはない」という意味。よって、正解はエ。ちなみに「理」は重要単語で「道理」の意味。

③ 「不可不～」は「～しないわけにはいかない」という意味。よって、正解はイ。

〔解答〕

①ウ　②エ　③イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第七講　解答解説

〔解説〕

① 「復」は「また」と読み、「ふたたび」の意味。イかエに絞る。返り点通りに読むと、次に読むのは「天下～」となる。よって、正解はイ。

② 「不敢不～」は「どうしても～しないわけにはいかない」。よって、正解はウ。

③ 「為人」は重要単語。「ひととなり」と読み、「人柄」の意味。傍線部の後ろが「容貌は魅力的で行動も行き届いている。」と続くので、「性質・人柄」の意味で間違いない。よって、正解はオ。

〔解答〕

①　イ　　②　ウ　　③　オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第八講　解答解説

〔解説〕

① 見レVの「見」は受身の助動詞。よって、「～される」という意味のイが正解。

② 「被」は受身の助動詞「る・らル」。直前が「せ」でａ段ではないので「らる」。選択肢は活用しているが、「らる」と読んでいるものはエ「られ」のみ。よって、正解はエ。

③ 「為Ｎ所Ｖ」は「ＮのＶする所と為る」と読み、「ＮにＶされる」という受身の句法。「為人所資」の読みは、「人の資する所と為る」となる。よって、正解はエ。

〔解答〕

① イ　② エ　③ エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第九講　解答解説

〔解説〕

①「孰」は「たれカ」か「いづレカ」と読む。よって、正解はウ。ちなみに、「能」の「よく」という読み方も大事。使役の助動詞「使」の直下の名詞「之」には「ヲシテ」という送り仮名をおくる。

②「何為」で「為」に返り点がついていない場合は、「なんすれぞ」と読む。よって、正解はエ。

③疑問と反語は同じ漢字を用いて表現するが、送り仮名がついている場合は「～ン（や）」があれば反語である。よって、「～為サン」と「ン」の送り仮名があるアが正解。

〔解答〕

①ウ　②エ　③ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十講　解答解説

〔解説〕

① 「奈何」が文末で用いられている場合、基本は【方法】の疑問で「～いかんせん」と読む。ここでも、直前が「之を為す(な)こと」（＝之をすること）とあり、続けて「どうするか」と【方法】の疑問でおかしくない。よって、正解はウ。

② 「～何也。」は、文末で用いて「～（ハ）なんぞや」と読み、疑問のみの用法である。よって、正解はエ。

③ 「幾何」は「いくばく」と読み、「どれくらいだろうか」という「量」に関する疑問、または「どれくらいだろうか、いや、どれほどでもない」という「量」に関する反語である。選択肢アは、「離れ**ん**」と「ん」の送り仮名があるので反語と考えられる。「どれくらい離れるだろうか、いや、どれほどでもない」＝「しばらく離れるに過ぎない」ということなので、アが正解。ちなみに、イは「離るる」と連体形なので「どれくらい離れるだろうか」という疑問。ウは「離れんや」の「～んや」で反語であるから、「離れるだろうか、いや、離れない」となる。エは、「離れるか」という疑問。

〔解答〕

①　ウ　②　エ　③　ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十一講　解答解説

〔解説〕

① 「不敢〜」は「あへて〜ず」で、「決して〜ない」の意味。「敢不〜」は「あへて〜ざらんや」で、「どうして〜しないだろうか、いや、する」の意味。返り点通りに読むと、ⅠもⅡも最初が「敢」なので、a・f以外。その次に「ず」や「ざら」など、打消の読みが重複しているbとeも不適。そうすると、Ⅰが「あへて〜ず」のcで、Ⅱが「あへて〜ざらんや」のd。よって、正解はオ。

② 「〜可(べ)けんや」は反語の句形。よって、正解はイ。

③ 「豈〜哉」は反語の句形。よって、正解はウ。

〔解答〕

① オ　② イ　③ ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

はじめに

「いくつかの句法をお経のように唱えて覚えたケド、それしかわからない」という人、たくさんいると思います。
それどころか、現時点で漢文の知識なんてほぼゼロだ…という人もいることでしょう。
そんな人でも大丈夫！
この講座は基本事項から講義しますので、「今から初めて漢文を勉強する」という人、大歓迎！です。

漢文って確かに一見、漢字だらけで変な記号がくっついていて、意味不明に思うかもしれません。
ですが、漢文は入試科目の中で、おそらく**一番少ない知識で高得点が取れる科目**です！
ただし、古文文法の知識がないと少しやっかいなので（漢文は中国の古典で、その文献が伝わった昔、日本語に訳して読みやすくする訓読方法を確立したから）、まずは古文文法を仕上げてくださいネ。

本講座は**「ベーシックレベル」**ですが、「基本だけ学ぶ」という意味ではありません。
基本から説明をして、入試問題を解くために必要な力もつくように構成してあります。

『スタンダードレベル漢文講座』との大きな違いは、
●各チャプター時間が短時間（チャプターの途中で集中力が切れてしまわないように。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●用例ごとの例文が豊富〔なるべく有名な文章から取り上げました。学校の授業で見かける文もあるはず。〕

●句法の学習の後には、教科書でも扱うような有名な文章にも取り組む〔学校の予復習に最適。〕

●大事なことは繰り返し説明〔何度も同じことを聞くことにより、自然と復習していることになる。〕

●丁寧にじっくり解説〔わかる人には冗長に感じるかも。ですが、**「じっくり何度も確実に！」**の姿勢で。〕

「漢文なんてとりあえず句法やればいいんでしょ？」なんて思っている人もやっぱりいますよね？
でも、「句法だけひとまず勉強したけど、なかなか問題が解けない…」
そんな悩みを抱えている受験生もたくさんいるのが現実です。

――なぜでしょう？

実は**漢文で大事なことは、句法だけではありません**。
一番基本となる**「文構造」**や**「『置き字』の知っておくべき知識」**を理解できていないと、漢文は正しく読めません。
これらを理解しておくだけで、簡単に解けてしまう問題だってあるくらいです。
なのに「句法」ばかりが重要視され、これらをきちんと理解していないことが原因です。
本講座では、最初に基本知識をきっちり学んだ上で、入試に必要な「重要句法」に取り組みます。
漢詩を扱った後は、文章を読む練習をし、最後に実際の過去問を使用した実践演習にチャレンジ！
基本からしっかり理解して、実践演習で問題が解けるように、最後まで一緒に頑張りましょう！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

予復習・授業の受け方について

「実践演習」までは予習不要です。
ノートも不要です。
テキストと筆記用具さえあれば大丈夫です。
テキストへの書き込みで授業をすすめていきます。

テキスト中に**〈例題〉**や**「問題」**がありますが、講義中に問題を指定しますので、該当問題を適宜解いてください。
「はじめに」にも記載した通り、各チャプターは比較的短時間ですが、必然的に、講ごとのチャプター数は多いです。
よって、１日で１講を全て仕上げなくても、区切りのよいところで、日にちを分けて受講してもかまいません。
ただし、間が空きすぎると忘れてしまうので、なるべく空かないよう継続して仕上げて下さいネ。

「実践演習」は予習が必要です。
よって、**動画を見る前に先に問題を解いてください**。
予習が終わったら、なるべく時間をあけずに該当箇所の動画を見ましょう。
自分がその解答にした根拠を覚えている間に見ることをオススメします。

講義を見終えたら、復習を必ずしてください。
特に**太字**や**空欄**に**自分で書き込んだところ**に重点を置いて、覚えこむまで何度も復習してください。
復習が終われば、後ろにある**「復習問題」**を解きましょう。
復習問題は何度でもできるように、答えは直接書き込まないようにしてください。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

万一間違えた場合は、テキストの該当箇所に戻って復習をしてから、再度「復習問題」を解き直しましょう。
記憶を定着させるツールとして、何回でも使用してくださいネ！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目次

第十二講　仮定形／比較形　……　p. 6
第十三講　限定形／累加形／願望形／抑揚形　……　p. 14
第十四講　その他の句法／複数の句法に使用される漢字　……　p. 25
第十五講　漢字の読み・意味／漢詩の基礎知識　……　p. 37
第十六講　漢詩／「漱石枕流」　……　p. 49
第十七講　「先従隗始」／「蘇武持節」　……　p. 60
第十八講　「鴻門之会」　……　p. 66
第十九講　「四面楚歌」／漢文読解法／実践演習⑴　……　p. 73
第二十講　実践演習⑵　……　p. 84
第二十一講　実践演習⑶　……　p. 93
第二十二講　実践演習⑷　……　p. 104
第二十三講　実践演習⑸　……　p. 114

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講　仮定形／比較形

一　仮定形

①　若〜 / 如〜 ＝**もシ〜バ**／（もし〜ならば）

※下から返らない

（例）**若**然（しか）ラバ、…〔　然らば、…　〕（　　　　）

> ＊下から返る場合は、助動詞「若（ごと）シ・如（ごと）シ」などの用法。
> （例）若レ水。〔　　　〕（　　　　）

②　**苟〜＝いやしクモ〜バ／（もし〜ならば・かりにも〜）**

＊①より強い仮定

（例）**苟**遭ハバ二其ノ時ニ一、…〔　其の時に遭はば、…　〕
（　しかるべき時世にめぐり会うなら、…　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③

縦〜
仮令〜 ｝＝**たとヒ〜トモ**／（たとえ〜としても）

（例）

仮令我保ツコト㆑寿ヲ百年ナリトモ、…〔　　我寿を保つこと百年なり　　〕
（　　私が寿命を百年保つことができた　　）

縦江東ノ父兄憐レミテ而王トストモ㆑我ヲ、…〔　　江東の父兄憐れみて我を王とす　　〕
（　　江東の父兄〔＝農村の指導者層〕が同情して、私を王とした　　）

④

雖〜＝〜トいへどモ／（**たとえ〜としても・〜だけれども**）

（例）**雖**モ㆑賢ナリト…〔賢なりと雖も…〕（たとえ賢者であっても…／賢者であるけれど…）

其レ或(ある)イハ継グ㆑周ヲ者、**雖**㆓百世(ひゃくせい)㆒可キ㆑知也。

注　其レ或イハ…もし仮に。
百世…現在（＝周の時代）より後の百の王朝のこと。

〔其れ或いは周を継ぐ者、百世　　　知るべきなり。〕
（もし仮に周を継ぐ王朝があるとしたら、　　　知ることができるのである。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

苟私意蔽固(へいこ)ナレバ、則チ**雖**レ有リト過チ、而(しかモ)不レ能レ知ルコト之ヲ。

〔　　　、私意蔽固なれば、則ち過ち有りと　　　、而も之を知ること　　　〕

（　　　自分勝手な心で道理に暗く頑固であるならば、過ちを犯した　　　これを知ることが　　　）

鶴ノ脛(はぎ)ハ**雖**レ長シト、断タバレ之ヲ則チ悲シマン。

〔鶴の脛は　　　、之を断たば則ち悲しまん。〕

（鶴のすねは　　　、これを（短くしてあげようと）切ったならかえって悲しむだろう。）

⑤

使メバ二**NV**一、…＝**N　Vしメバ、…／（もしNがVするならば、…）**

（例）使メバ二公ヲシテ有ラレ知ル一、…　〔公をして知る有らしめば、…〕

（　　　）

⑥

微(な)カリセバ二〜一、…＝**〜なカリセバ、…／（〜がなかったならば、…）**

（例）**微**二斯ノ人一、…　〔斯の人　　　〕（　　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の文の傍線部ａの読みを送り仮名も含めて平仮名で示せ。また傍線部ｂをすべて平仮名で書き下し文にせよ（現代仮名遣いでよい）。

「若必禁、其不変、則雖造物有所不能。」

ａ＝

ｂ＝

二　比較形

①　A 乎・于・於 N ＝Nヨリ（モ）A／（Nより（も）A）

（例）

霜葉紅於二月花。〔霜葉は二月の花　紅なり。〕

注　二月花…ここでは桃の花のこと。

（霜にあたって紅葉した葉は二月の花　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

青ハ取リテ二之ヲ於藍ヨリ一、而青ク二於藍一、…

注　藍…草の名前。

（青は之を藍より取りて、　　　　　）

（青色（の染料）は藍の草から取るが、（できあがる青色はもとの）　　　　　）

⇦

【弟子が師匠よりも優れた者になること＝『出藍（しゅつらん）の誉（ほま）れ』】

②

不レ如カ
弗レ若カ
～ニ＝**～ニしカず／（～の方がよい・～に及ばない）**

（例）百聞ハ**不如**一見。（　　　　）（　　　　）

不レ如レ釈（ゆるス）ニ臣ヲ。（臣を釈すに　　　　）（　　　　）

注　釈…許す。

③

莫レ如クハ
無レ若クハ
～ニ＝**～ニしクハなシ／（～にこしたことはない・～が一番よい）**

（例）**莫如**良医。（　　　　）（　　　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　莫{レ}／無{レ}　Aハ{二}於N{一}ヨリ（モ）　＝Nヨリ（モ）Aハなシ／（NよりもAなものはない）

（例）　存スル{二}於人{一}ニ者ハ、莫{レ}シ良キハ{二}於眸子{一}ヨリ。
注　眸子…瞳。　良…素直。

〔人に存する者は、眸子より良きは莫し。〕
（人が身にもっているもので、　　　　　）

⑤　莫{レ}A（＝連体形）ハ{レ}焉これヨリ　＝これヨリAハなシ／（これよりAなものはない・これが一番Aだ）

（例）　天下莫強焉。　〔天下　　　　　〕（天下で　　　　　）

問二　「侵{レ}スヲ官之害ハ甚{二}於寒{一}（かん）」の傍線部を書き下し文にせよ。
注　甚…「甚（はなは）だし」。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　「云ハバレ無シトレ効、則<u>不如貧医</u>。」の傍線部を平仮名で書き下しなさい。

問四　「夫鬱莫下甚二於病一者上。」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　夫(そ)れ鬱は病より甚しき者(もの)莫し。

イ　夫れ鬱は病より甚しき者(こと)莫きか。

ウ　夫れ鬱は病を甚しくする者(こと)莫し。

エ　夫れ鬱より病を甚しくする者(もの)莫し。

オ　夫れ鬱として病を甚しくする者(こと)莫かれ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十二講

①　「苟能ク弭メレ兵ヲ…」の傍線部の、送り仮名を含めた読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いづくんぞ
イ　いやしくも
ウ　しかも
エ　けだし

②　「雖二貧賤ノ廝養(しやう)一、…」の傍線部の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　であれば
イ　であっても
ウ　だけではなく
エ　よりはむしろ

③　「不若己者」の書き下し文として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　己より若(わか)からざる者
イ　己の若(ごと)くせざる者
ウ　若(も)しくは己ならざる者
エ　己に若(し)かざる者

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十三講　限定形／累加形／願望形／抑揚形

一　限定形

①　徒　特　直　但　只　惟　唯

〜ダ　ノミ　＝ただ〜ノミ／（ただ〜だけだ）

（例）惟士為スレ能クスルヲ。

注　士…学問を修め、道理を得た人。
　　為レ能…ここでは「できることである」という意味。

［　　　能くするを為す。］

（　学問を修め、道理を得た人　　　ができることである。）

唯不ルノミレ喜バ二人ノ唾つばきヲ一。

［　　　人の唾を喜ばざるのみ。］

（ただ人間の唾を好まないだけだ。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②

独リ～ノミ＝**ひとり～ノミ／（ただ～だけだ）**

（例）

今**独**臣有リレ船。　〔今　　　　船有り。〕（　　　　）

妾**独**以テレ衛ヲ為スレ有リト二蘧伯玉一**爾**。

注　以レ衛…ここでは「衛の賢明な人物は」の意味。

蘧伯玉…人名。

〔妾　　衛を以て蘧伯玉有りと為すのみ。〕

（私は衛の賢明な人物は　　蘧伯玉　　と思っていた。）

③

～已。

～而已。

～而已矣。

～耳。

～爾。

＝**～のみ／（～だけだ）**

（例）　若ハ不ル二忠信ナラ一**耳**。〔若は忠信ならざる　　　。〕（お前が忠信でない　　　。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「徒宋ノミ…」の傍線部の読みを送り仮名も含めて平仮名で示せ。

問二　「不ランレ能ハレ安ンズル耳。」をすべて平仮名で書き下し文にせよ。

問三　「惟有ル二蛤蜊（かふり）一艘（いつさう）一耳。」を現代語訳せよ。

注　蛤蜊…ハマグリとアサリ。

一艘…船一そう分。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　累加形

①　**不唯 A、（而） 亦 B**（不ず唯ダニ[A]ノミナラ、（而しかうシテ）亦また[B]）＝ただダニAノミナラず、（しかうシテ）またB

（ただ単にAだけでなく、またBでもある）

＊唯＝独ひとり

（例）叔不惟薦仲、又能左右之如此。（叔しゅく不三惟ダニ薦ムルノミナラ二仲ちゅうヲ一、又能ク左二右スルコト之ヲ一如レシ此クノ。）

注　叔…斉の国の鮑叔ほうしゅくのこと。
仲…斉の国の管仲かんちゅうのこと。

〔叔　仲を薦むるのみならず、又能く之を左右すること此くのごとし。〕

（鮑叔は管仲を　推薦した　、（管仲を）このようにうまく補佐していた。）

※鮑叔は管仲のことを信頼しており、斉の宰相の桓公かんこうに管仲を推薦し、自分は管仲の下につき、うまく補佐をした。
また、管仲も鮑叔の名誉を守り、お互いの立場が変わろうが、深い友情は変わらなかった。

⇓

『管鮑かんぽうの交わり』＝お互いに信頼しあうきわめて親密な関係のこと。

②　**非唯 A、亦 B**（非あらズ二唯ダニ[A]ノミニ一、亦また[B]）＝ただダニAノミニあらズ、またB

（ただ単にAだけでなく、またBでもある）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（例）**非**二**徒**無レ益、**而**シテ**又**害レス之ヲ。

〔　　　　　　、而して又之を害す。〕

（　　　　　　、またかえって害がある。）

③

豈ニ**唯**ダニ **A** ノミナランや**哉**＝**あニたダニAノミナランや**

（どうしてAだけであろうか、いや、Aだけではない）

（例）**豈独**我ガ義也**哉**。〔豈に独り我が義のみならんや。〕

（どうして私のためだけの道義であろうか、いや、私だけではない。）

問四　「何ゾ独丘リきうノミナランや哉。」はどういうことを言っているのか。最も適当なものを次の中から選べ。

注　丘…孔子の名。ここでは自称。

ア　世に認められないのは、私だけではない。

イ　世に認められるかどうかは、私のことだけで考えない。

ウ　世に認められないなかに、私のような者はいない。

エ　世に認められなくても、私は私以外の何者でもない。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　「豈独我ガ父哉。」を書き下し文にせよ。

三　願望形

① **願＝ねがハクハ～**
- **～ン／どうか～させてください＝【　　　の願望】**
- **命令／どうか～してください＝【　　　の願望】**

（例）

願ハクハ聞カン二其ノ説ヲ一。　〔願はくは其の説を聞かん。〕
（どうかその説明を　　　　　　。）

願ハクハ察セヨレ之ヲ。　〔願はくは之を察せよ。〕
（どうかこれを　　　　　　。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

② **請＝こフ～** ｛ ～ン／どうか～させてください＝**【自分の願望】**
命令／どうか～してください＝**【相手への願望】**

（例）請フ講ゼヨ㆑之ヲ。〔請ふ之を講ぜよ。〕（　　　　　　　　　　　　）

③ **庶＝こひねがハクハ～** ｛ ～ン／どうか～させてください＝**【自分の願望】**
命令／どうか～してください＝**【相手への願望】**

＊庶＝幾／庶幾

（例）**庶幾**改メヨ㆑之ヲ。〔庶幾はくは之を改めよ。〕（　　　　　　　　　　　　）

問六　「臣請フ、道（い）ハン㆓三言（さんげん）ヲ㆒而已。」を現代語訳せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

四　抑揚形

①　**A 且(スラかツ) B。況(いはンヤ) C 乎(ヲや)。**　＝**Aスラかツ B。いはンヤCヲや。**

（AでさえB。ましてCはなおさらだ。）

＊且＝**猶**(なホ)・**尚**(なホ)

（例）　死馬**且**買(フ)レ之(ヲ)、**況**生(ケル)者**乎**。

〔　　　　　　　　　　　　　〕

（　　　　　　　　　　　　　）

臣死(スラ)**且**(ツ)不レ避(ケ)。〔臣死すら且つ避けず。〕

（私は　　　　　　　　　）

②　**況(いはンヤ)～乎(ヲや)。**　＝**いはンヤ～ヲや。**／**（まして～にあってはなおさらだ。）**

（例）　**況**衆人**乎**。〔　　　　　　〕（　　　　　　）

注　衆人…多くの人。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　**而況於～乎。**（しかルヲいはンヤ～ニおイテヲや）＝しかルヲいはンヤ～ニおイテヲや。／（まして～にあってはなおさらだ。）

（例）　**而況於人乎。**〔　　　〕（　　　）

問七　「不レ適ニ於用一、人猶貴レ之。況其<u>適ニ於用一者乎</u>。」の傍線部をすべて平仮名で書き下し文にせよ（現代仮名遣いでよい）。

注　傍線部中の「適」…サ変動詞「適す」。

問八　「児衣在レ側、尚齧、況鞍懸レ柱乎。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　太祖の衣が子供の傍らにあってさえかじられるのだから、柱に懸けてある鞍がかじられるのは当然だ。
イ　身近にあった子供の衣でさえかじられるのだから、柱に懸けてある鞍がかじられるのは当然だ。
ウ　身近にあった子供の衣でさえかじられるのだから、いっそ鞍を柱に懸けておいたらどうだろうか。
エ　太祖の衣が子供の傍らにあってさえかじられるのだから、いっそ鞍を柱に懸けておいたらどうだろうか。
オ　身近にあった子供の衣でさえかじられるのだから、鞍を柱に懸けておくべきではなかった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十三講

①　「唯」と同じ意味・用法を持つ語として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　凡　　イ　夫　　ウ　只
エ　抑　　オ　蓋

②　「此レ亡秦之続（ぞく）耳。」の傍線部と同じ意味・用法を持つ語として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　若　　イ　惟　　ウ　哉
エ　也　　オ　爾

③　「天スラ尚ホ如シ㆑此（かく）ノ、況ンヤ於テヲ㆑君ニ乎（や）」にはどのような句形が用いられているか。最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　受身　　イ　疑問　　ウ　反語
エ　抑揚　　オ　限定

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④「矧」は「いはんや」と読む。（１）同じ読み方をする文字を、（２）「矧」を用いた表現法には、どのような表現意図があるといえるか、それぞれ最も適当なものを次の中から選べ。

（１）ア　謂　　イ　況　　ウ　豈　　エ　安

（２）ア　まず最初に困難な状況を述べ、次に「いはんや」に続けてそれ以上に困難な状況を述べることで、後者の状況の困難さがきわめて深刻であることを示す意図がある

イ　まず最初に既知の事実を述べ、次に「いはんや」に続けて未知の事実を述べることで、前者の既知であったはずの事実さえも未知であるかのように見せる意図がある

ウ　まず最初にある状況への判断を述べ、次に「いはんや」に続けて一層進んだ状況への判断を述べることで、後者の判断が自明のものであることを強調する意図がある

エ　まず最初に当たり前の事実を述べ、次に「いはんや」に続けてあり得ない事実を述べることで、前者の当たり前の事実が当然とまでは言い切れないことを示す意図がある

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十四講　その他の句法／複数の句法に使用される漢字

一　その他の句法

①　以～＝～ヲもつテ【　や　　を示す】

(1)　以テス二～一ヲ。＝～ヲもつテス。／（～でする。）

（例）道（みちびク）レ之ヲ以テスレ政（まつりごと）ヲ。〔之を道くに政を以てす。〕（政治によって人民を導く。）

注　之…ここでは「人民」のこと。

(2)　以テ二～一ヲ也。＝～ヲもつテなり。／（～からである。）

（例）**以**テレ知ルレ時ヲ**也**。〔時を知るを以てなり。〕（時勢を見抜く　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

② **以為**

(1) **以為**（おもヘラク）――ト　＝**おもヘラク――ト**／（――と思う）

(2) **以**（もつテ）**為**（なス）レ A ト　＝**もつテAトなス**／（Aと思う・Aとする）

（例）**以為**神（しん）。〔　　　　〕（不思議な力を持っている者）

注　神…不思議な力を持っている者。

(3) **以**（もつテ）レ A ヲ **為**（なス）レ B ト　＝**AヲもつテBトなス**／

AをB｛にする／と思う／と考える｝

（例）趙（てう）王**以**二藺相如（りんしやうじよ）一**為**二上卿（じやうけい）一。

注　藺相如…人名。

上卿…天子・諸侯の臣下の最高位の者。最高の家来。

〔趙王藺相如　　　　〕

〔趙王　　藺相如　　　　〕

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③「すなはチ」の訳し方　＊(1)～(5)の読みは全て「すなはチ」

(1) **則＝（もし～たら）**

＊～バ(ハ)則チ―…「則」＝訳さない

（例）**則**チ践ミ二鋒刃(ほうじん)ヲ一、入レバ二湯火(とうか)ニ一、…　〔則ち鋒刃を践み、湯火に入れば、…〕

（鋭い刃を踏み、熱湯や火中に入ったならば、…）

(2) **即＝（すぐに）**

（例）樹(じゅ)**即**チ応ヘテレ声ニ、…　〔樹即ち声に応へて、…〕（木は　声に反応して、…）

(3) **便＝（すぐに・たやすく・簡単に）**

（例）**便**チ合セテ二財産ヲ一、…　〔便ち財産を合せて、…〕（すぐに財産を一緒にして、…）

(4) **乃＝（そこで・やっと・なんと）**

（例）**乃**チ告グレ之ニ。　〔乃ち之に告ぐ。〕（やっとこの人に告げた。）

注　之…ここでは「この人」の意味。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(5) **輒**＝（**そのたびごとに・いつも・すぐに**）

（例）至リテハ二於百姓ひゃくせいノ租税一ニ、動ややモスレバ**輒**チ蠲免けんめんス。

注　蠲免…租税を免除する。

〔百姓の租税に至りては、動もすれば輒ち蠲免す。〕

（　　　の租税に至っては、とかく　　　免除する。）

問一　「病児服レシテ薬ヲ、云レハバ無レシト効、則不如貧医。」の傍線部をすべて平仮名で書き下しなさい（現代仮名遣いでよい）。

④ **欲**

(1) **欲**N＝N**ヲ**ほっス

(2) **欲**V＝V**ント**ほっス

／（**〜したいと思う・〜しようとする**）

（例）欲渡。〔　　　　　　〕（渡ろうとする。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　「必欲使之在尊貴之所」について、（a）返り点の付け方と書き下し文、（b）その解釈として最も適当なものを、次の中からそれぞれ一つずつ選べ。

（a）

ア　必欲レ使レ之在二尊貴之一所　　必ず之を使はんと欲するは尊貴の在る所なり

イ　必欲レ使三之在二尊貴之所一　　必ず之をして尊貴の所に在らしめんと欲す

ウ　必欲三使之在二尊貴之所一　　必ず使ひの尊貴の所に在らんことを欲す

エ　必欲三使レ之在二尊貴一之所　　必ず之を使ひて尊貴に在らんと欲するの所なり

オ　必欲使三之在二尊貴一之所　　必ず欲して之をして尊貴に在らしむるの所ならん

（b）

ア　必ず教え子を高い地位につかせてやりたいと思う。

イ　必ず教え子を高官のもとに派遣したいと思う。

ウ　必ず教え子を皇帝の役に立つ人物にしたいと思う。

エ　教え子をなんとかして出世させたいと思った結果である。

オ　教え子に正しい教育を施してやりたいと思う理由である。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤　**倒置がおこる場合**

（1）　**否定文**中の**目的語**か**補語**が**代名詞**の場合

（例）　**未之**聞。　〔未だ之を聞かず。〕（まだこれを聞いていない。）
不汝与。　〔汝に与へず。〕（お前に与えない。）

（2）「詠嘆」の「**A哉、N也。**」の句法

（例）　美**哉**、花**也**。　〔美しきかな、花や。〕

（3）　**目的語**が**疑問詞**の場合

（例）　**何**ヲカ書ク。　〔何をか書く。〕（何を書くのか。）

（4）「**以**」を用いる場合

（例）　**以**テ銭ヲ与フ。　〔銭を以つて与ふ。〕（お金を与える。）

（5）「**之**」を用いる場合

（例）　此レヲ**之**レ謂フ。　〔此れを之れ謂ふ。〕（これを言う。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　複数の句法に使用される漢字

①　於・于・乎（文中）

(1)　置き字

(2)　「　　　」V二於N一　　＊N＝Vの動作主　（　　　　　）

(3)　「　　　」A二於N一　（　　　　　）

②　敢

(1)　敢ヘテ（あヘテ）＝（すすんで・わざわざ・おもいきって）

(2)　安（いづクンゾ）敢ヘテ（あヘテ）～ン（ヤ）＝（　　　　　）

(3)　不敢～＝［　　　］／（　　　　　）

(4)　敢不～乎。＝［　　　］（　　　　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③ 若・如

(1) **文頭**にあって**下から返らない**とき「　　」／（　　）

(2) **下から返る**とき「**比況**の**助動詞**」**ごとシ**／（**〜のようだ・〜と同じだ**）

(3) 「**比較**」

不レ如
弗レ若 ｝〜ニ ＝（〜　　）／（　　）

莫レ如
無レ若 ｝〜ニ ＝（〜　　）／（　　）

(4) 「**疑問**」

〈文頭〉**如何・若何〜** ＝（　　）／（　　）

〈文末〉**如何・若何。** ＝（　　）／（〜は　　）【　　】

〈文末〉**何如・何若。** ＝（　　）／（〜は　　）【　　】

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(5)「反語」

如何・若何

〈文頭〉（　　　）／（　　　）

〈文末〉（　　　）／（　　　）

④ **能**

(1) **能**＝（　　　）／（　　　）

＊**善**ク（よク）＝〜することが上手だ

（例）銭明経（せんめいけい）**善**レ詩。〔銭明経詩を善くす。〕〔銭明経は詩を作ることが上手だ。〕

(2) **不**レ**能**＝（　　　）／（　　　）

(3) **安**クンゾ（いづクンゾ）**能**ク〜ン（ヤ）・**豈**ニ（あニ）**能**ク〜ン（ヤ）／（　　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤ **而**

(1) 文中で読まないとき＝置き字

(2) 文頭＝読む（置き字ではない）

(3) すなはチ

(4) なんぢ〈＝汝・女・爾・若〉／（あなた・あなたたち）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十四講

①　「以無用為用」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　無用の用を為す
イ　無用の用たる
ウ　以て無用の用を為す
エ　無用を以て用を為す
オ　無用を以て用と為す

②　「不ルレ欲セ者ハ便チ去レ」の傍線部の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いつも
イ　そこで
ウ　すぐに
エ　やっと
オ　なんと

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③「必欲使之在尊貴之所」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　必ず之を使はんと欲するは尊貴の在る所なり
イ　必ず使ひの尊貴の所に在らんことを欲す
ウ　必ず欲して之をして尊貴に在らしむるの所ならん
エ　必ず之をして尊貴の所に在らしめんと欲す
オ　必ず之を使ひて尊貴に在らんと欲するの所なり

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十五講　漢字の読み・意味／漢詩の基礎知識

一　漢字の読み・意味

【人物・人格・位・立場など】

1　我・吾（われ）・己（おのれ）・余・予・某（ぼう）・某（それがし）（私・私たち）

2　臣（しん）（君主に対して「私」）

3　妾（しょう）（女性の「私」）

4　朕（ちん）（天子の自称）

5　寡人（かじん）・孤（こ）（諸侯〈＝天子から領地を分与された君主〉・王の自称）

6　不肖（ふしょう）（〈立派な親に似ず愚かな人の意味〉➡①私　②愚か者）

7　汝（なんぢ）・女（なんぢ）・若（なんぢ）・爾（なんぢ）・而（なんぢ）・子（し）・卿（けい）・吾子（ごし）（あなた・あなたたち）

8　君（くん）（①あなた・あなたたち　②お殿様　③君主）

9　足下（そっか）（〈手紙文で〉あなた）

10　上（しょう）（天子）

11　相（しょう）（宰相）

12　左右（さゆう）（近臣）

13　公卿（こうけい）（高位高官）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

14 **大夫**（たいふ）（中級の官）
15 **吏**（り）（下級役人）
16 **庶人**（しょにん）（庶民）
17 **百姓**（ひゃくせい）（民衆）
18 **故人**（こじん）（旧友）
19 **知己**（ちき）・**知音**（ちいん）（理解者・親友）
20 **君子**（くんし）（立派な人）⇔**小人**（しょうにん）（つまらない人・身分の低い人）
21 **賢**（けん）（すぐれている人）⇔**不肖**
22 **字**（あざな）（別名）

【その他】

1 **城**＝じょう（町）
2 **為人**＝ひとトなり（人柄）
3 **者**＝しゃ・もの・は・昔者（むかし）・今者（いま）
4 **人間**＝じんかん（世の中・俗世間）
5 **理**＝り（道理）
6 **所以**＝ゆゑん（原因・理由・手段・方法）
7 **謂曰**＝いヒテいはク
8 **道**＝いフ（言う）
9 **対曰**＝こたヘテいはク
10 **白**＝まうス（申す・告げる）
11 **中**＝あたル
12 **竟**＝おはル
13 **困**＝くるシム
14 **卒**＝しゅつス（亡くなる）
15 **烹**＝にラル
16 **愛**＝をしム（惜しむ）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

17　**事**＝つかフ（お仕えする）・ことトス（実践する）

18　**作**＝なス・つくル

19　**就**＝つク（おもむく・とりかかる）・なル（できあがる）・なス（しあげる）

20　**之**＝の・これ・ゆク

21　**已**＝すでニ・やム・のみ

22　**過**＝〜ニよギル（〜を訪問する）・すグ・あやまツ（間違える）・あやまチ

23　**悪**＝にくム・そしル・いづくンゾ・いづクニカ

24　**且**＝
- まさニ〜ントす（今にも〜しようとする）
- かツ（さらに・そのうえ・そもそも）
- しばらク（ひとまず・少しの間）

25　**為**＝
- 〜ノためニ
- 〜トなル
- 〜ヲなス（〜を行う）
- 〜トなス（〜とする）
- 〜ヲつくル
- 〜ヲをさム（〜を治める）
- たリ（断定）
- る・らる（受身）

＊下から返らないときは「ためニ」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

26 **与**＝
と　↑「読み」の問題として一番頻出。下から返る。
あたフ
くみス（味方する・賛成する）
あづかル（関係する）
ともニス
ともニ（一緒に）
よリハ
か・かな　↑～与。（＝文末）

27 **寡**＝すくなシ

28 **衆**＝おほシ

29 **少**＝わかシ（若い・年少）

30 **蓋**＝けだシ（たぶん・思うに）

31 **凡**＝およソ（そもそも）

32 **夫**＝そレ（そもそも）

33 **抑々**＝そもそも

34 **数々**＝しばしば（たびたび）

35 **偶々**＝たまたま

36 **適々**＝たまたま

37 **終・卒・遂・竟**＝つひニ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

38 **固**＝もとヨリ（もともと・言うまでもなく）
39 **素**＝もとヨリ（日ごろから）
40 **動**＝ややモスレバ（とかく←そうする傾向が強いこと）
41 **毎**＝～ごとニ・つねニ
42 **方**＝まさニ（ちょうど・これから・そこで）
43 **所謂**＝いはゆる（世間一般に言われる）
44 **私・陰・窃**＝ひそかニ
45 **俄・卒・暴・遽**＝にはかニ（急に）
46 **早**＝つとニ
47 **嘗**＝かつテ
48 **忽**＝たちまチ（急に）
49 **徒**＝ただ～ノミ・いたづらニ
50 **因**＝ちなみニ・よりテ（そこで）
51 **如是・如此**＝かクノごとシ（このようだ）
52 **是以**＝ここヲもつテ（だから・こういうわけで）
53 **以是**＝これヲもつテ（これで）
54 **於是**＝ここニおいテ（そこで）
55 **未幾**＝いまダいくばくナラず（まもなく）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

56 **須臾**＝しゅゆニシテ（まもなく）
57 **無幾（何）**＝いくばくモなク（まもなく）
58 **無幾**〜＝いくばくノ〜モなシ（ほんの少しのさま）

【身分がわかる動詞】

1 **対**＝こたフ（**目下から目上の人に**お答えする）
2 **諫む**＝いさム（**目下から目上の人に**注意する）
3 **崩ず**＝ほうズ（**天子**が亡くなる）
4 **薨ず**＝こうズ（**諸侯**が亡くなる）
5 **弑す**＝しいス（**子・臣が親・君を**殺す）

【時間】

1 **光陰**＝こういん（時間）
2 **期年**＝きねん（丸一年）
3 **四時**＝しいじ・しじ（春夏秋冬）
4 **一旦**＝いったん（ある朝）
5 **一夕**＝いっせき（ある夜・ひと晩）
6 **夙夜**＝しゅくや（早朝から晩まで）
7 **他日**＝たじつ（以前のある日・将来のある日）
8 **百代**＝はくたい（長い時間）
9 **千載**＝せんざい（千年・長い年月）
10 **暮年**＝ぼねん（晩年）
11 **天年**＝てんねん（寿命・天寿）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　漢詩の基礎知識

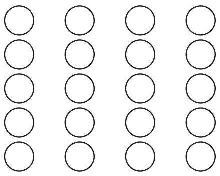
A「形式」

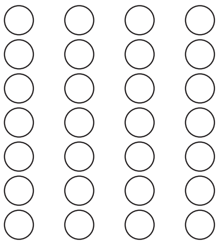
① **五言**（ごごん）詩（一行五文字）／**七言**（しちごん）詩（一行七文字）

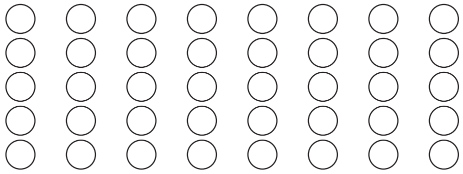
② **絶句**（ぜっく）**（四行）**／**律詩**（りっし）**（八行）**／古詩（それ以外）

＊「一行の字数」と「行数」から①と②を組み合わせる。

（例）五言絶句・七言律詩…など。







© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

B

「**押韻**（おういん）」
音読みしたときに母音が同じであること。
（例）天（ten）・円（en）・煙（en）など

① **五言詩**＝**偶数句**の**末字**

○○○○○　○○○○●
○○○○○　○○○○●

＊●＝押韻している文字

② **七言詩**＝（**初句と**）**偶数句**の**末字**

○○○○○○●　○○○○○○●
○○○○○○○　○○○○○○●

★漢詩の空欄補充問題
空欄の場所＝「偶数句末」が多い⬇「押韻」の問題

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

C　「**対句**（ついく）の見分け方」

奇数句・偶数句の順で**返り点の打ち方が同じ**場合は、ほぼ対句（＊例外も多いので注意）。
品詞・文構造・意味内容ともに対称である点がポイント。

（例）
浮カビテレ天ニ滄海（さうかい）遠ク
去リテレ世ヲ法舟（はうしゆう）軽（かろ）シ

＊律詩（八行）の場合、「**三句と四句**」と「**五句と六句**」が原則として**対句**。たとえば、李白の「送友人」は「一句と二句」「五句と六句」が対句で、このように例外もあります。両方でも、どちらかでも、また、それ以外の「一句と二句」や「七句と八句」も対句になっている場合も、対句は見ればわかるはずですので、「対句の見分け方」をしっかりおさえて確認してください。

D　「**段落分け**」

① 四行＝一行ずつ（**起承転結**）
② 六〜十行＝二行ずつ
③ 十二行以上＝四行ずつ

＊律詩➡**首聯**（しゅれん）・**頷聯**（がんれん）・**頸聯**（けいれん）・**尾聯**（びれん）

★主題は最終段落

E「意味のまとまり」

①　五言詩＝２・３

（例）十 月 鷹 出 籠

②　七言詩＝２・２・３

（例）炎涼昏暁（えんりやうこんげう）苦（はなはダ）　推遷（すいせん）シ

注　炎涼昏暁…暑さと寒さ、夜と朝。
　　推遷…移り変わる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十五講

①「きみからの手紙」という語として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　拙所　　イ　行書

ウ　頓首書　　エ　足下書

②「その結果」という意味の語として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　蓋　　イ　遂　　ウ　便　　エ　率

③「素」の送り仮名を含めた読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　まさに　　イ　また

ウ　もとより　　エ　つねに

④「未レ幾」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　突然に　　イ　思いがけず　　ウ　おもむろに

エ　たえず　　オ　まもなく

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤　「一行七文字」で「四行」ある漢詩の形式名として正しいものを、次の中から選べ。

ア　七字絶句　　イ　七字律詩　　ウ　七言絶句　　エ　七言律詩

⑥　次の空欄に入る語として最も適当なものを、後の中から選べ。

銅(どう)省台(じゃくだい)ノ址(あと)頽(くづ)レテ無(シ)レ遺(のこス)　何(ゾ)乃(チ)剰瓦(じょうが)ノ多(キコト)如(クナラン)レ斯(クノ)

文士例(おほむね)有(リ)二好(ムノ)レ奇(ヲ)癖一　心知(ルモ)二其(ノ)妄(ナルヲ)一姑(しばら)(ク)自(ラ)□

ア　愉　　イ　娯　　ウ　詐

エ　欺　　オ　虚

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十六講　漢詩／「漱石枕流」

一　次の詩を読んで、後の問に答えよ。

『宿建徳江（けんとくかう）』　孟浩然（まうかうねん）

（第１句）移舟泊煙渚（えんしょ）

（第２句）日暮（にちぼ）客愁（かくしう）新

（第３句）野曠（ひろ）天低樹（き）

（第４句）江（かう）清月近人

注　建徳江…今の建徳市付近を流れる川。
煙渚…もやにつつまれた岸辺。
客…旅。

問一　この詩の形式を答えよ。

問二　韻字をすべて抜き出せ。

問三　対句の有無を答えよ。また、ある場合は、何句と何句が対句か答えよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「盛唐の詩人」

【李白（りはく）】
・「　　　　」と称される。
・玄宗皇帝に仕えるが、後に追放される。
・自由奔放な作風。
・酒・自然・友人の歌が多い。

【杜甫（とほ）】
・「　　　　」と称される。
・玄宗皇帝に認められるものの、左遷され、その後は不遇。
・不遇な人生から、憤りや悲しい内容の詩が多い。
・政治・社会を描いたものも多い。

【その他】…**孟浩然（もうこうねん）**・**王維（おうい）**（↑「詩仏（しぶつ）」と言われる）など

★「中唐の詩人」

【白居易（はくきょい）】
・字＝楽天。
・平安時代の日本に与えた影響大。『枕草子』や『源氏物語』にも引用される。
・『長恨歌』（↑玄宗皇帝と楊貴妃の悲恋が題材）・『白氏文集』が代表作品。

【その他】…**韓愈（かんゆ）**・**柳宗元（りゅうそうげん）**など

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　次の詩を読んで、後の**問**に答えよ。

『早(つとニ)発(ス)二白帝城(はくていじやうヲ)一』

朝(あしたニ)辞(ス)白帝彩雲(ノ)間

千里(ノ)江陵一日(いちじつニシテ)還(かへル)

両岸(ノ)猿声(えんせい)啼(な)(イテ)不(レ)住(ルニやマ)

軽舟已(すでニ)過(グ)万重(ばんちようノ)山

注　辞…別れを告げる。　江陵…今の湖北(こほく)省荊州(けいしゅう)市。白帝城から江陵(こうりょう)まで舟で約一日かかる。

問一　この詩の形式を答えよ。

問二　韻字をすべて抜き出せ。

問三　この詩の作者は別名「詩仙」と言われている。それは誰か。次の中から選べ。

ア　白居易　　イ　杜甫　　ウ　李白　　エ　王維

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三　次の詩を読んで、後の**問**に答えよ。

我来（きた）リテ二揚子江頭（とう）ニ一望メバ

一片（いっぺん）ノ白雲数点ノ□

安ンゾ得テ丁置キ二身ヲ天柱ノ頂（いただき）ニ一

倒（さかしま）ニ看（み）ル丙日月（じつげつ）ノ走ルヲ乙人間ヲ甲

注　揚子江…長江の別名。「揚子江頭」は「長江のほとり」の意味。
　　天柱…神話の中に出てくる、天を支えているという柱。

問一　傍線部「一片白雲数点□」について、（ａ）空欄に入る語と、（ｂ）この句全体の解釈との組合せとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　（ａ）淡——（ｂ）白い雲の切れ間から数本の淡い光が差し込んでいる。
イ　（ａ）楼——（ｂ）空の片隅に浮く白い雲と幾つかの建物が見えている。
ウ　（ａ）雨——（ｂ）白い雲が空一面に広がり雨がぽつぽつと降り始める。
エ　（ａ）山——（ｂ）ひとひらの白い雲と幾つかの山があるばかりである。
オ　（ａ）鳥——（ｂ）空には一つの白い雲が漂い数羽の鳥が飛んでいる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

四　次の詩を読んで、後の**問**に答えよ（なお設問の都合で、送り仮名を省いたところがある）。

江(注)楼夕望招(ク)(レ)客(ヲ)

第1句　海天東望夕茫(注)(ばう)茫(ばう)
第2句　山勢川形闊復長
第3句　灯火万家城(ノ)四畔
第4句　星河一道水(ノ)中央
第5句　風(ハ)吹(ク)(二)古木(ヲ)(一)晴天(ノ)雨
第6句　月(ハ)照(ラス)(二)平沙(ヲ)(一)夏(ノ)夜(ノ)霜
第7句　能(注)(よ)(ク)就(注)(つ)(キテ)(二)江楼(ニ)(一)銷(け)(スヤ)(レ)暑(ヲ)否(いな)(ヤ)
第8句　比(注)(スレバ)(二)君(ガ)茅(注)(ばう)舎(しや)(ニ)(一)校(やや)清涼(ナラン)

（白居易『白氏文集』）

注　江楼…江（かわ）のほとりのたかどの。
茫茫…ひろびろとしている。
能～否…～することができますか？
就…（場所）で。
比A校B…AにくらべてＢ少しはB。
茅舎…茅葺（かやぶ）きの家。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　この詩の形式を答えよ。

問二　韻字をすべて抜き出せ。

問三　第２句の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　山の勢い川の形の闊（ひろ）く長きを復（ふく）す。
イ　山勢川形、闊（ひろ）くして復（また）長し。
ウ　山は川の形の闊（ひろ）くして、復（また）長く勢いよし。
エ　山の勢いも川の形も、闊（ひろ）くして復（ふたたび）長し。

問四　この詩には二組の対句がある。その組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　第１句と第２句　第３句と第４句
イ　第２句と第４句　第５句と第６句
ウ　第３句と第４句　第５句と第６句
エ　第４句と第５句　第６句と第７句

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

五 次の文章を読んで、後の**問**に答えなさい（なお設問の都合で、送り仮名を省いたところがある）。

孫子荊（注）（そんしけい）、年 a少時、欲レ隠（注）、語二王武子（注）（わうぶし）一、当二枕レ石漱（くちすす）レ流一、誤曰、「漱レ石枕レ流。」王曰、「流 b可レ枕、石可レ漱乎。」孫曰、「c所二以枕一レ流、欲レ洗二其耳一。所二以漱一レ石、欲レ礪二其歯一。」

（『世説（せせつ）新語』）

注　孫子荊…人名。
隠…隠遁する。
王武士…人名。

問一　傍線部a～cの読みをそれぞれ送り仮名も含めてすべて平仮名で答えよ（現代仮名遣いでよい）。

a＝

b＝

c＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　二重傍線部の再読文字「当」と同じ読みである再読文字を、次の中から選べ。

ア　須　　イ　応　　ウ　将　　エ　宜　　オ　盍

★「漱石枕流（そうせきちんりゅう）」＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十六講

① 次の詩を読んで、後の問に答えよ（なお設問の都合で、返り点と送り仮名を省いたところがある）。

春江　（唐）白(はく)居(きょ)易(い)

第1句　炎(えん)[注]涼(りやう)昏(こん)暁(げう)苦(はなはダ)推[注]遷シ

第2句　不レ覚エ忠[注]州ニ已(すでニ)二年

第3句　閉(ザシテ)[注]レ閣ヲ只(ただ)ダ聴ク朝[注]暮ノ鼓(つづみ)

第4句　上楼空望往来船

第5句　鶯(あう)声(せい)ニ誘(いう)引(いん)セラレテ来タリ二花下ニ一

第6句　草色ニ勾(こう)留(りう)セラレテ坐ス二水辺ニ一

第7句　唯ダ有リ二春江ノ看レドモ未ダルレ厭カ

第8句　縈(めぐ)リレ砂ヲ遶(めぐ)リテレ石ヲ緑潺(せん)[注]湲(ゑん)タリ

（『白氏文集』巻十八）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

注　炎涼昏暁…暑さと寒さ、夜と朝。
推遷…移り変わる。
忠州…今の四川省忠県。作者はここに左遷され、二年間の役人生活を送った。
閉レ閣…建物にとじこもること。
朝暮鼓…朝夕の時刻を知らせる太鼓の音。
潺湲…水のさらさら流れるさま。

（１）この詩は七言律詩である。押韻しているのはどの字か。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　遷　年　船　湲
イ　年　船　辺　湲
ウ　遷　年　船　厭　湲
エ　遷　年　船　辺　湲
オ　年　船　辺　厭　湲

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（２）　第３句、第４句が対句になっていることに留意しつつ、第４句の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　楼に上りて空しく望む往来の船
イ　楼に上りて空望するや往来の船
ウ　楼を上りて空より望めば往来の船
エ　楼を上りて空しく望めば船往来す
オ　楼に上りて空より望めば船往来す

②　「所二以ノ養一レフ母ヲ者ハ」の傍線部の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いはゆる　　イ　ところをもつて
ウ　ゆゑん　　エ　ここをもつて

③　「当極怒嘔血」は、「当に怒りを極めて血を嘔かしむべし」と読む。どのように返り点をつけるのがよいか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　当二極　怒一レ　嘔レ　血
イ　当　極レ　怒レ　嘔　血
ウ　当二　極レ　怒　嘔　血一
エ　当レ　極二　怒　嘔一　血
オ　当二　極レ　怒　嘔一レ　血

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十七講　「先従隗始」／「蘇武持節」

一　次の文章を読んで、後の問に答えなさい（なお設問の都合で、送り仮名を省いたところがある）。

昭王(注)招(カントス)二賢者(ヲ)一。隗(注)曰(いハク)、「古(いにしへ)之君(ニ)、①有(リ)下以(ツテ)二千金(ヲ)一使(ムル)三涓人(けんじん)(注)(ヲシテ)求(メ)(注)二千里(ノ)馬(ヲ)一者(上)。買(ヒテ)二死馬(ノ)骨(ヲ)五百金(ニ)一而返(ル)。君怒(いかル)。涓人曰(ハク)、『死馬(スラ)且(ツ)買(フ)レ之(ヲ)、［X］生(ケル)者(ヲ)乎。馬今(ニ)至(ラン)矣(ト)。』不(ずシテ)(注)二期年(ナラ)一、千里(ノ)馬至(ルもの)者三。今王必(ズ)欲(セバ)(注)レ致(サント)レ士(ヲ)、先(まヅ)従(リ)a隗始(メヨ)。②況(ンヤ)賢(ナル)二於隗(ヨリ)一者(ヲ)、豈遠(シトセン)二千里(ヲ)一哉(ト)。」

b於(ニ)レ是昭王為(ニ)レ隗(ノ)改(メテ)築(キテ)レ宮(きゅう)(注)(ヲ)、師(ニ)二事(ス)之(ニ)一。於レ是士争(ヒテ)趨(おもむク)レ燕(えんニ)。

（『十八史略』）

注　昭王…戦国時代の国、燕の君主。　隗…燕の賢者、郭(かく)隗。　涓人…君主の側で雑用をする人。
千里馬…一日に千里の距離を走ることができる名馬。　期年…まる一年。　致士…賢者を招く。
宮…邸宅。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部ａ・ｂの読みをそれぞれ送り仮名も含めてすべて平仮名で答えよ（現代仮名遣いでよい）。

ａ＝

ｂ＝

問二　空欄 X に入る漢字として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　而　　イ　如　　ウ　況　　エ　惟

問三　傍線部①・②をそれぞれ現代語訳せよ。

①＝

②＝

★**「隗より始めよ」**＝

⬇

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　次の文章を読んで、後の問に答えなさい（なお設問の都合で、送り仮名を省いたところがある）。

武帝天漢元年、遣中郎将蘇武、使匈奴。単于欲降之。幽武置大窖中、絶不飲食。武齧雪a与旃毛、并咽之。数日不死。①匈奴以為神、徙武北海上無人処、使牧羝曰、「羝乳乃得帰。」

昭帝始元六年、蘇武還b自匈奴。武初徙北海上、掘野鼠去草実而食之。臥起持漢節、節旄c尽落。李陵謂武曰、「人生d如朝露。②何自苦如此。」陵与衛律降匈奴、皆富貴。律亦屢勧武降。e終不肯。漢使者至匈奴。匈奴詭言、「武已死。」漢使知之言、「天子射上林中得雁。足有帛書云、武在大沢中。」匈奴f不能隠。乃③遣武還。武留匈奴十九年。始以強壮出、及還鬚髪尽白。拝為典属国。

（『十八史略』）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

注
武帝…前漢第七代の天子。　天漢…年号。　中郎将…天子の護衛にあたる司令官。使者にもなる。
蘇武…前漢の人。　匈奴…中国北方の騎馬民族。秦・漢と争う。　単于…匈奴の王。
幽…閉じ込める。　大窖…大きな地中の穴。　旃毛…毛織物の毛。　神…不思議な力を持っている者。
北海…今のシベリアのバイカル湖。　羝…雄の羊。　乳…ここでは「子羊を産んで乳を出すようになったら」の意味。
昭帝…前漢第八代の天子。　始元…年号。　去…取り込む。　漢節…漢の天子より授けられた使者としての印。
節旄…漢節の旗印として付けていた旄牛（ぼうぎゅう）の尾の毛。　李陵…前漢の武将。匈奴と戦って降伏する。　衛律…前漢の武将。
上林…漢の都の長安にある天子の庭園。　帛書…絹に書いた手紙。　大沢…大きな湿地。ここでは「北海のほとり」のこと。
強壮…男盛り。　鬚髪…顎ひげと髪の毛。　拝…任命する。　典属国…少数民族対策にあたる官名。

問一　傍線部ａ～ｆの読みをそれぞれ送り仮名も含めてすべて平仮名で答えよ（現代仮名遣いでよい）。

ａ＝　　　　ｂ＝
ｃ＝　　　　ｄ＝
ｅ＝　　　　ｆ＝

問二　二重傍線部「使」は、動詞「使ひす」である。この一文での読み方を送り仮名に気をつけて、送り仮名も含めてすべて平仮名で答えよ（現代仮名遣いでよい）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　傍線部①・②をそれぞれ現代語訳せよ。

①＝

②＝

問四　傍線部③を書き下し文にせよ。

★「雁書（がんしょ）」「雁信（がんしん）」「雁帛（がんぱく）」＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十七講

①「隋ノ田・楊与二鄭法士一倶ニ以レ能クスルヲレ画ヲ名アリ。」の傍線部の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

注　田・楊・鄭法士…隋代の画家。

ア　あづかりて　イ　より　ウ　くみして
エ　と　オ　あたへて

②「如此」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　もしこれだとしても　イ　このようだ
ウ　どうだろう　エ　どうすればよいか
オ　これには及ばない

③「雁書」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　手紙　イ　説明書　ウ　契約書
エ　達筆　オ　悪筆

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十八講「鴻門之会」

一　次の文章を読んで、後の**問**に答えなさい（なお設問の都合で、送り仮名を省いたところがある）。

【「鴻門之会」ここまでのあらすじ】

秦の始皇帝が死ぬと、各地で反乱が起きる。秦軍を破り、函谷関（かんこくかん）に着いた項王（＝項羽（こうう）。家は、代々楚の国の将軍を務める。秦軍と戦う反乱軍の最高司令官）が、沛公（＝劉邦（りゅうほう）。後に項羽を破り、漢の初代皇帝となる）に先を越されたことを知る。さらに、項王は、沛公の部下である曹無傷（そうむしょう）から「沛公は関中（かんちゅう）の王になろうとしている」と告げられ、激怒して、沛公の軍を攻撃しようとする。それを知った沛公が、数人の家来とともに項王のもとを訪れ、言い訳をしたところ、項王は怒りを鎮めた。

その日、項王は沛公を引き留め、酒宴を行う。范増（はんぞう）（＝項王の部下）は、今、この機会に沛公を殺すように項王に目配せをするが、項王は応じなかった。そこで、范増は項荘（こうそう）（＝項王のいとこ）を呼び、剣の舞にかこつけて沛公を殺すように命じ、項荘は剣舞を実行する。しかし、項伯（こうはく）（＝項王の叔父。かつて、沛公の部下の張良に助けられたことがあり、恩がある）が、項荘が沛公の命を狙っていることを察し、項伯も剣を抜いて舞い、自分の体で沛公をかばって守ったので、項荘は沛公を攻撃する機会をみつけられない。そんな中、酒宴に同席している張良（ちょうりょう）（＝沛公の部下）が酒宴を抜け出した。

<u>於</u>(a)レ是張良至リ(注)二軍門ニ一、見ル二樊噲(はんくわい)(注)ヲ一。樊噲曰ハク、「今日之事、<u>何如</u>(①)ト。」良曰ハク、「甚ダ(注)急ナリ。今者項荘抜キテレ剣ヲ舞フ。其ノ意常ニ在ル二沛公ニ一也ト。」噲曰ハク、「此レ迫レリ(注)矣。<u>臣請フ、入リテ与レ之同ジクセント命(めい)ヲ</u>(②)。」噲

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

即帯剣擁盾入軍門。交戟之衛士、欲止不内。樊噲側其盾以撞。衛士仆地。噲b遂入、披帷西嚮立、瞋目視項王。頭髪上指、目眥尽裂。項王按剣而跽曰、「客③何為者。」張良曰、「沛公之参乗樊噲者也。」項王曰、「壮士。④賜之〔A〕卮酒〔B〕。」則与斗卮酒。噲拝謝起、立而飲之。項王曰、「賜之彘肩。」則与一生彘肩。樊噲⑤覆其盾〔A〕於地〔B〕、加彘肩上、抜剣切而啗之。項王曰、「壮士。能復飲乎。」樊噲曰、「⑥臣死且不避。卮酒安足辞。⑦夫秦王有虎狼之心。殺人如不能挙、刑人如恐不勝。天下皆叛之。懐王与諸将約曰、『先破秦入咸陽者、王之。』今沛公、先破秦入咸陽、毫毛⑧不敢有所近。封閉宮室、還軍覇上、以待大王来。故遣将守関X者、備他盗出c入与非常也。労苦而功高如此、⑨未有封侯之賞。而聴細説、欲誅有功之人。此亡秦之続d耳。e窃為大王不取也。」項王

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

未ダレ有ラ二以テ応フル一。曰ハク、「坐セヨト。」樊噲従ヒテレ良ニ坐ス。坐スルコト⑩須臾ニシテ、沛公起チテ如(ゆ)クレ厠(かはや)ニ。因リテ招キテ二樊噲ヲ一出ヅ。

沛公已ニ出ヅ。⑪項王使三都尉(とゐ)陳平(ちんぺい)召二沛公一。沛公曰ハク、「今者出ヅルニ、⑫未レ辞也。為スコトレ之ヲ奈何(いかん)ト。」樊噲曰ハク、「大行(たいかう)ハ不レ顧二細謹(さいきん)ヲ一、大礼(たいれい)ハ不レ辞セ二小譲ヲ一。如今(いま)人ハ方(まさ)ニ為二刀俎(たうそ)一、我ハ為リ二魚肉一。⑬何ゾ辞スルヲ為サント。」於レ是遂去ル。

（『史記』）

注
軍門…陣営の門。　樊噲…人名。沛公の部下。　急…切迫している。　迫…危ない。　擁…だき抱える。
交戟之衛士…戟〔＝ほこの一種〕を交差して守る番兵。　側…傾ける。　仆…倒れる。　披…手でかき分ける。
帷…張り巡らした幕。　嚮…向く。　上指…逆立つ。　目眥…めじり。　按…手でおさえる。
跽…立膝をついて身構える。　客…ここでは「お前」の意味。　参乗…護衛のために同乗する者。　壮士…勇壮な男。
卮酒…大杯についだ酒。　斗卮酒…一斗（約二リットル）入りの大杯についだ酒。　彘肩…豚の肩の肉。
啗…むさぼり食う。　懐王…項王らによって仮に立てられた天子。　咸陽…秦の都。　毫毛…少しも。
近…自分のものにする。　覇上…地名。沛公が陣を敷いた場所。　故…わざわざ。　関…函谷関。
封侯之賞…諸侯に取り立てる恩賞。　細説…つまらない者の言うこと。　続…二の舞。　不取…賛成しない。
都尉…軍の部隊長。　陳平…人名。　辞…別れの挨拶をする。　顧…気にとめる。　細謹…小さな謹み。
小譲…小さな譲り合い。　刀俎…包丁とまな板。　魚肉…魚と肉。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部ａ～ｆの読みをそれぞれ送り仮名も含めてすべて平仮名で答えよ（現代仮名遣いでよい）。

ａ＝　　　　ｂ＝

ｃ＝　　　　ｄ＝

ｅ＝　　　　ｆ＝

問二　傍線部①・③・⑦・⑩の読みを、それぞれ引用の「ト」以外の送り仮名も含めてすべて平仮名で答え、現代語訳もせよ。

①＝〈読み〉

〈訳〉

③＝〈読み〉

〈訳〉

⑦＝〈読み〉

〈訳〉

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑩＝〈読み〉

〈訳〉

問三　傍線部④・⑤中の〔Ａ〕・〔Ｂ〕の箇所に最も適切な送り仮名をそれぞれ入れて、書き下し文にせよ。

④＝

⑤＝

問四　傍線部⑪・⑫を書き下し文にせよ。

⑪＝

⑫＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　空欄［X］の部分に入る最も適切な送り仮名を片仮名で書け。なお、［X］の直後「シ」は、過去の助動詞「き」の連体形である。

問六　傍線部②・⑥・⑧・⑨・⑬をそれぞれ現代語訳せよ。

②＝

⑥＝

⑧＝

⑨＝

⑬＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十八講

① 次の中から「ここにおいて」と読むものを選べ。

ア　是以　　イ　以是　　ウ　於是　　エ　是於

② 副詞「窃」と同じ読みの漢字を、次の中から選べ。

ア　盗　　イ　私　　ウ　遂　　エ　已　　オ　卒

③ 「幸無使王烈聞之」は、「幸(ねが)はくは王烈をして之を聞かしむること無かれ」と読む。どのように返り点をつけるのがよいか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　幸　無㆓使　王　烈　聞㆒㆑之

イ　幸　無㆘使㆓王　烈㆒聞㆖之

ウ　幸　無㆑使㆓王　烈　聞㆒之

エ　幸　無㆑使㆓王　烈㆒聞㆑之

オ　幸　無㆑使㆓王　烈　聞㆒㆑之

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十九講　「四面楚歌」／漢文読解法／実践演習(1)

一　次の文章を読んで、後の問に答えなさい（なお設問の都合で、送り仮名を省いたところがある）。

> 第十八講の『鴻門之会』から四年後、項王と沛公の立場は逆転しており、項王は沛公の軍に追い詰められていた。

項王軍壁垓下。兵少食尽。漢軍及諸侯兵、囲之数重。夜聞漢軍四面皆楚歌、項王乃大驚曰、「漢皆已得楚乎。①是何楚人之多也。」項王則夜起飲帳中。有美人、名虞。常幸従。駿馬、名騅。常騎之。於是項王乃悲歌忼慨、自為詩曰、

力抜山兮気蓋世　時不利兮騅不逝

騅不逝兮可奈何　虞兮虞兮②奈若何

歌数闋、美人和之。項王泣数行下。a左右皆泣、莫能仰視。

（『史記』）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

注
壁…砦を作って立てこもる。　垓下…地名。　漢軍…沛公の率いる軍。　楚…項王の出身地。
帳中…ここでは「本陣」の意味。　美人…女官の位の一つ。　幸…寵愛する。　駿馬…名馬。
忼慨…激しく心をたかぶらせる。　時…時勢。　逝…進む。　数闋…数回。　和…合わせて歌う。

問一　傍線部ａの意味を答えよ。

問二　傍線部①を現代語訳せよ。

問三　傍線部②をすべて歴史的仮名遣いで書き下し、現代語訳せよ。

★**「四面楚歌」**＝

★**「抜山蓋世（ばつざんがいせい）」**＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　漢文読解法

【手順】

①　設問チェック
　＊句法・語法で解けるもの＝即解答
　＊絞れる選択肢は絞っておく
　＊その他は何をきかれているかを確認
②　注マーク確認（センター試験は不要）
③　前書きの有無確認→あれば必ずきちんと読むこと
（④　出典確認）

【設問別解法】

〈単語の意味〉
・仲間外れの選択肢が一つだけ＝それが解答

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈例題一〉 次の中から「過」の意味が異なるものを選べ。

ア　過度　　イ　過酷　　ウ　過失　　エ　過剰　　オ　超過

・二字熟語にして意味を類推する

〈例題二〉 次の傍線部のここでの意味と同様の意味を表す熟語として、最も適当なものを選べ。

好ミテ二行幸ヲ一不レ<u>息</u>ルハ、人ノ所ナリレ不レ堪たへル。

ア　棲息　　イ　利息　　ウ　嘆息　　エ　終息

〈書き下し文〉

・基本構造＝語順確認→送り仮名確認
・重要句法確認
・傍線部の前後に**対句**・**対文**がないか確認
・訳してみて意味不明な場合＝誤り
・選んだ訳を本文中にあてはめ、文脈確認

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈理由〉

・傍線部自体を正確に訳す

➡傍線部を本文で確認＝設問箇所では白文でも、本文中には返り点や送り仮名がついていることもある（左記の**〈解釈・部分説明〉**も同様）。

・傍線部の前後に注目

〈解釈・部分説明〉

・傍線部を含む一文全体を読む

・指示語があれば指示内容を明確にする

・傍線部前後の文脈を確認

〈主張・主題〉

・**結末部**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三　次の詩は、宋代の詩人蘇軾（そしょく）が、ある年の忘年会で「別歳（べつさい）（年と別れる）」と題して作った五言古詩である。これを読んで、後の問い（**問１〜６**）に答えよ。詩は十六句から成るが、最後の四句は口語訳してある。設問の都合で、⑪句は送り仮名を、⑫句は返り点と送り仮名を省いてある。

①　故（注1）人適（ゆ）ク二千里ニ一

②　臨（のぞ）ンデレ別レニ尚ホ遅（ち）（注2）遅（ち）タリ

③　人ノ行クハ猶ホ可シレ復（かへ）ル

④　歳ノ行クハ那（なん）ゾ可ケンレ追フ

⑤　問フレ歳ニ安（いづ）クニ所ゾトレ之（ゆ）ク

⑥　遠ク在リ二天（注3）ノ一涯ニ一

⑦　已（すで）ニ逐（お）ヒ二東流ノ水ヲ一

⑧　赴（おもむ）キテレ海ニ帰ルニ無シレ時

⑨　東隣ニ酒初メテ熟シ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑩ 西舎(注4)ニ彘（ぶた）モ亦タ肥ユ

⑪ 且為二一日歓一

⑫ 慰此窮(注5)年悲

⑬ 旧（ふる）い年との別れなど、そう嘆くにはあたるまい、

⑭ やがては新しい年とも別れることになるのだから。

⑮ 旧い年よ、振り返らずにどんどんお行き、

⑯ 私の老いと衰えを、お前にお返ししよう。

（注）

1　故人――古くからの友人、知人。

2　遅遅――ぐずぐずするさま。

3　天一涯――天の果て。

4　舎――小屋。

5　窮年――年末。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問１　この詩には、③句と④句のほか、⑫句までにもう一組の対句がある。それはどの句とどの句か。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　①句と②句。
②　⑤句と⑥句。
③　⑥句と⑦句。
④　⑨句と⑩句。
⑤　⑦句と⑪句。

問２　④句「歳(ノ)行(クハ)那(なんゾ)可(レ)(ケン)追(フ)」とはどういう意味か。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　年が去ってゆくのを、誰(だれ)かに追いかけさせるべきだ。
②　年が去ってしまっても、なんとか追いかけるべきだ。
③　年が去ってしまうのを、どうして追いかけてよいものか。
④　年が去ってゆくのを、どうして追いかけることができよう。
⑤　年が去ってしまったら、なんとかして追いかけなければならない。

問３　⑤句「問(レ)(フ)歳(ニ)安(いづクニ)所(レ)(ゾト)之(ゆク)」は、作者が「歳」に対して「どこへ向かうのか」と問うている。その答えとなる内容が含まれているのはどの句までか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　⑥句。
②　⑥⑦句。
③　⑥⑦⑧句。
④　⑥⑦⑧⑨句。
⑤　⑥⑦⑧⑨⑩句。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問４　⑪句「且為二一日歓一」を、返り点に従って読み下すとどうなるか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　且（しばら）く一日の歓を為（な）し、

②　一日の歓を且（しばら）く為し、

③　且（まさ）に一日の歓を為すべく、

④　且（か）つは為さん、一日の歓を、

⑤　且（まさ）に一日の歓を為さんとし、

問５　⑫句「慰此窮年悲」は、「此の窮年の悲しみを慰めん（この暮れゆく年の悲しみをいやそう）。」と読む。どのように返り点をつけるのがよいか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　慰レ此窮年レ悲

②　慰二此窮年一レ悲

③　慰下此二窮年一悲上

④　慰レ此二窮年悲一

⑤　慰二此窮年悲一

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問６　この詩の内容を述べた文として最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。

① 忘年会の席でつくられたこの詩には、出席している長寿者への祝福と来年の豊作への祈りが込められている。
② 作者は、人間の旅立ちと対比しつつ「歳」を擬人化して送り出し、新しい年をおおらかに迎えようとしている。
③ 作者は、大晦日（おおみそか）に集まった友人や親類としみじみこの一年を懐かしみ、擬人化した「歳」を引き留めようとしている。
④ 作者は、忘年会の席で酔いにまかせてこの詩を作り、擬人化した「歳」に感謝しつつも早目に追い出そうとしている。
⑤ 年末に長旅から帰った友人の無事を祝って作られたこの詩は、「歳」をも友人として扱い、明るい気分に満ちている。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十九講

① 「自分の周りがすべて敵」という意味の故事成語を、次の中から選べ。

ア　井の中の蛙大海を知らず
イ　疑心暗鬼
ウ　呉越同舟
エ　抜山蓋世
オ　四面楚歌

② 「可ケンレ謂いフレ仁ト乎や。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　なんとかして仁と言うべきだ。
イ　なんとかして仁と言わなければいけない。
ウ　どうして仁と言うのがよいのか。
エ　どうして仁と言うことができようか。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十講　実践演習⑵

一　次の文章を読んで、後の問（**問１〜６**）に答えよ。（問題文は、前半が口語訳になっており、後半は設問の都合で返り点、送り仮名を省いたところがある。）

昔、周式という男が船で旅に出たが、途中、一人の吏（役人、実は冥界（めいかい）の使者）に出会った。吏は一巻の書（実は死者の名を書き記してある帳簿）を持っており、一緒に乗せてほしいと請うた。十数里ほども進んだところ、吏は「ちょっと寄って行きたいところがある。帳簿を預けていくが、決して見てはいけない」と言い置いて出かけていった。式がこっそり開いてみると、そこには死者の名が書き連ねてあり、終わりの方には自分の名前も書いてあった。吏は帰ってきて、「『見るな』と言ったのに、どうして見たのか」と怒った。式は平謝りに謝った。

吏曰ハク、「A感ズルモ二卿きみノ遠ク相載スルニ一、此ノ書ヨリ不レ可カラ三除ク二卿ノ名ヲ一。今日已すでニ去ツテ還レ家ニ。三年勿なクンバレ出いヅルレ門ヲ、可キ(注1)レ得レ度わたルヲ也。勿カレレ道いフレ見タルヲ二吾ガ書ヲ一。」式還リテ不レ出デ、已ニ二年余ナリ。家皆怪シムB之ヲ。隣人卒亡ス(注2)。父怒リ、使ム二往ゆキテ弔とむらハレ之ヲ一。式不レ得レ已やムヲ、適たまたま出ヅルニレ門ヲ、便すなはチ見ル二此ノ吏ヲ一。吏曰ハク、「C吾令汝三年勿出。而しかルニ今出ヅレバレ門ヲ、D知ランヤ二復まタ奈何いかニスルヲ一。吾求メテ(注3)不レ見レバ、連累(注4)れんるいシテ為ル二鞭杖べんぢやうセラ一。今已ニ見レバレ汝ヲ、無シレ可キ二奈何ントモス一。後三日、日中(注5)E当ニ二相取ル一也。」式還リテ涕泣(注6)ていきふシ、F具つぶさニ道いフコト如シレ此かくノ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

父ハもとヨリ故不レ信ゼ。母ハ昼夜与ともニ相守ル。至リ二三日日中ノ時一ニ、果はたシテまことニ見来タリ取リ、便チ死ス。

（干宝かんぽう『捜神記そうじんき』による）

（注）
1　可レ得レ度――生きつづけることができる。
2　卒亡――急死する。
3　求不レ見――探し出すことができなければ。
4　連累為二鞭杖一――まきぞえを食って（冥界の王に）鞭むちや棒で打たれる罰を受ける。
5　日中――正午。
6　涕泣――涙を流しさめざめと泣くこと。

問１　傍線部Ａ「感」の意味を二字の熟語で言い表すとすれば、どれが最も適当か。次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　感化　②　実感　③　感謝　④　共感　⑤　反感

問２　傍線部Ｂ「之」は何を指すか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　式が吏に平謝りに謝ったこと。
②　隣人が死亡した原因に不審な点があったこと。
③　吏が二年あまりも式の前に現れなかったこと。
④　式が二年あまりも家にこもりきりであること。
⑤　吏が「吾が書を見たことを口外するな」と言ったこと。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３　傍線部Ｃ「吾令汝三年勿出。」は「吾（われ）汝をして三年出づること勿からしむ。」と読む。この場合、返り点はどのように付けるのが正しいか。最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。

① 吾令㆔汝三年㆓勿出㆒。
② 吾令㆓汝三年㆒勿㆑出。
③ 吾令㆑汝㆓三年㆒勿㆑出。
④ 吾令㆑汝㆓三年勿㆜出。
⑤ 吾令㆓汝三年勿㆜出。

問４　傍線部Ｄ「知㆓復奈何㆒。」はどういう意味か。最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。

① もうこれ以上守り通すことはできない。
② また何とか隠しだてしなければならないと思う。
③ ふたたび家に帰るべき事態になったのだと知れ。
④ これからどこに出かけていけばいいのか知っているのか。
⑤ どんなにしても父上の怒りをしずめることなどできないであろう。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問５　傍線部Ｅ「当二相取一也。」は「どうしても（あなたを）つかまえなければならない。」という意味である。どのように読むのが正しいか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　あひ取るにあたれるなり。
②　まさにあひ取るべきなり。
③　よろしくあひ取るべきなり。
④　まさにあひ取らんとするなり。
⑤　よろしくあひ取らんとするなり。

問６　傍線部Ｆ「具道如レ此。」とはどういうことか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　三年前に帳簿を盗み見て以来の冥界の様子をことこまかに話した、ということ。
②　隣人が死亡して、その弔いに出かけて以来遭遇した不運を逐一訴えた、ということ。
③　二年あまり前の旅の途中、一人の吏に出会って以来の一部始終を打ち明けた、ということ。
④　魂を抜き取られて以来、地獄の責め苦にあっている状況を細部にわたって説明した、ということ。
⑤　旅から帰って以来、びくびくして過ごした日々を思うと自らがいたわしく、泣きながら救いを求めた、ということ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　次の文章を読んで、後の問い（**問１〜６**）に答えよ。（問題文は、設問の都合で送り仮名を省いたところがある。）

田叔（でんしゅく）は漢の景帝（けいてい）によって賢才と認められ、魯（ろ）（現在の山東省西南部に位置する、漢の王族の領地）の相（しょう）（領主である王を補佐して政務を執り行う大臣）に任命された。彼が任地に到着すると、魯王に財物を奪い取られたと田叔に訴え出た人々が百人余りいた。

田叔取（とら）ヘ二其ノ渠率（きょすゐ）（注1）二十人一ヲ、各（おのおの）笞（むちう）ツコト（注2）五十、余ハ各搏（う）ツコト（注3）二十、怒リテ之ヲ曰ハク、「A王ハ非ズ二若（なんぢ）ガ主一ニ邪（や）。何自（なにより）（注4）リテ敢ヘテ言フ二若ガ主一ヲ。」B魯王聞キテ之ヲ大イニ慙（は）ヂ、発シテ二中府（注5）ノ銭一ヲ、C使ム二相ヲシテ償ハ一レ之ヲ。相曰ハク、「王自ラ（ア）奪ヒテ之ヲ、使ム二相ヲシテ償ハ一レ之ヲ、是レ王為シテ悪ヲ、而相為ス善ヲ也。D相毋（な）カラントレ（イ）与（あづ）カルレ償フニレ之ヲ。」於（お）イテレ是ニ王乃チ尽（ことごと）ク償フレ之ヲ。

（司馬遷『史記』による）

（注）
1　渠率——人々の指導者。
2　笞——笞（むち）で打つ。当時の刑罰の一つ。
3　搏——手で打つ。
4　何自——どうして。
5　中府——王の財物を保管する蔵。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問１　波線部(ア)「自」・(イ)「与」のそれぞれの本文中の意味を二字の熟語で言い表すとすれば、どれが最も適当か。次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

(ア)　自

①　自然　②　自由　③　自身
④　自在　⑤　自明

(イ)　与

①　贈与　②　関与　③　貸与
④　授与　⑤　給与

問２　傍線部A「王ハ非ズ二若（なんぢ）ガ主一ニ邪（や）」はどういう意味か。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　王は君たちの主人ではないか。
②　王は君たちの主人とは限らない。
③　王は決して君たちの主人ではない。
④　王にとっては君たちが主人ではない。
⑤　王は君たちの主人であろうか。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３　傍線部Ｂ「魯王聞(キテ)㆑之(ヲ)大(イニ)慙(ハヂ)」とあるが、魯王はなぜ恥じたのか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 魯王は、人々からの予期しない訴えによって、着任したばかりの田叔に過ちを知られてしまったから。
② 魯王は、田叔が人々を罰したことによって、はじめて不心得な人民が多くいることに気づかされたから。
③ 魯王は、田叔が勇気ある人々の指導者たちを罰したのを、王として事前に止めることができなかったから。
④ 魯王は、田叔が人々をとがめた言葉によって、領主としての立場に対する自覚が足りなかったと悟ったから。
⑤ 魯王は、田叔が自分の過ちをあっさりと許してくれたことで、その度量の大きさにかなわないと思ったから。

問４　傍線部Ｃ「使㆓相償㆒㆑之」は「相（田叔）の手で銭を弁償させようとした」という意味である。どのように読むのが正しいか。最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

① 相をしてこれを償ふ。
② 相をしてこれを償はしむ。
③ 相をしてこれを償ふべし。
④ 相をつかひてこれを償ふ。
⑤ 相をつかひてこれを償はしむ。
⑥ 相をつかひてこれを償ふべし。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問５　傍線部Ｄ「相 母レ（な）カラント 与レ（あづ）カル 償レフニ 之ヲ」とあるが、田叔はなぜこのように述べたのか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 人々の訴えそのものが誤りであるのに自分が銭を返すことは、それを正当と認めることになると考えたから。
② 人々を罰したのは過ちだったと気づいたが、今になって自分が銭を返すのでは、行為に一貫性を欠くと考えたから。
③ 魯王の所有物である蔵の銭に、断りなく自分が手をつけると、人々によって厳しく非難されると考えたから。
④ 人々から収奪した財物であるとはいえ、魯王に返す意思がないのに勝手に賠償することはできないと考えたから。
⑤ 自分が銭を返すと人々に償おうとする魯王の意思が伝わらず、王に対する人々の信頼を回復できないと考えたから。

問６　本文において、田叔はどのような人物として描かれているか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 人々にも魯王にも厳しく対処し、常に世間から一定の距離を置く、孤高の人物。
② 人々の直訴を真摯（しんし）に受け止め、魯王に代わって銭を弁償する、慈悲深い人物。
③ 人々の怒りを内心では理解しつつ、魯王の立場にも気を配る、思慮深い人物。
④ 人々に対して弾圧の笞をふるい、身をなげうって魯王の財産を守る、忠義な人物。
⑤ 人々の訴えを巧妙に利用して、魯王から政治の実権を奪い取る、野心的な人物。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十講

①　「令二子犯一レ罪、なほ妄に在り」の傍線部の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　子に罪を犯さしめる
イ　子に罪を犯さしめんとす
ウ　子をして罪を犯さしむる
エ　子に令して罪を犯さんとす

②　再読文字「当」と同じ読みをする再読文字を、次の中から選べ。

ア　将　　イ　応　　ウ　須　　エ　且　　オ　宜

③　「豈ニ非ズレ天ニや哉」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　決して天運ではない。
イ　なんと天運ではないか。
ウ　どうして天運なのか。
エ　天運とは限らない。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十一講　実践演習(3)

一　次の文章を読んで、後の問い（**問1〜6**）に答えよ。問題文の前半は口語訳になっている。設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。

子張（春秋時代、魯(ろ)の国の賢人）が魯の哀公に会見を求めた。七日待ったが哀公は面会しようとしない。そこで子張は取り次ぎの者に、次のような伝言を託して立ち去った。

「私は殿様が賢士を好むと聞きましたので、千里の道を遠しとせず、霜露にもめげず、塵垢(じんこう)（つちぼこり）をものともせず、長い道のりのため足にまめを作っても休みもしないで、殿様に会見しようとやって参りました。ところが殿様は七日経(た)っても私を士としてもてなしてくださいません。殿様が賢士を好むという話は、どうやらあの葉公子高(しょうこうしこう)（楚(そ)の葉県の長官）が竜を好んだという話に似ております。

葉公子高好ミ㆑竜ヲ、鉤(おびどめ)ニハ以テ写シ㆑竜ヲ、鑿(ほりもの)ニハ以テ写シ㆑竜ヲ、屋室雕文(かざりつけ)ニハ以テ写ス㆑竜ヲ。於イテ㆑是(ここ)ニ夫(か)ノ竜聞キテ而下リ㆑之ニ、A窺頭於牖(まど)、施尾於堂。葉公見ルヤ㆑之ヲ、B棄(す)テテ而還走シ、失ヒ㆓其ノ魂魄(こんぱく)ヲ㆒、五色無シ㆑主(注)。是レ葉公非(あら)ザル㆑好ムニ㆑竜ヲ也、C好ム㆓夫ノ似ル㆑竜而非ザル㆑竜者ヲ㆒也。今、臣聞ク㆓君ノ好ムヲ㆑士ヲ。故ニ不㆑遠シトセ㆓千里之外ヲ㆒、以テ見(まみ)エントスルモ㆑君ニ、七日D不㆑礼セ。君ハ非ザル㆑好ムニ㆑士ヲ也、好ム㆓夫ノ似テ㆑士ニ而非ザル㆑士者ヲ㆒也。」

（劉向(りゅうきょう)『新序』による）

（注）五色無㆑主——顔色を失うさま。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問1　傍線部Ａは「頭を牖（まど）に窺（のぞ）かせ、尾を堂に施（ひ）く。」と読む。どのように返り点をつけるのがよいか。最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。

① 窺〔レ〕頭〔二〕於牖〔一〕、施〔レ〕尾〔二〕於堂〔一〕。
② 窺〔二〕頭於〔一〕牖、施〔二〕尾於〔一〕堂。
③ 窺〔レ〕頭〔レ〕於〔レ〕牖、施〔レ〕尾〔レ〕於〔レ〕堂。
④ 窺〔二〕頭於牖〔一〕、施〔二〕尾於堂〔一〕。
⑤ 窺〔二〕頭〔レ〕於牖〔一〕、施〔二〕尾〔レ〕於堂〔一〕。

（牖にはいずれも「まど」のルビ）

問2　傍線部Ｂ「棄（す）テテ而還走（シ）、」とはどういう様子を述べたものか。最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。

① 席を立って、小走りに竜を出迎える様子。
② 竜に背を向け、慌てて堂から逃げ出す様子。
③ 手にしたものを投げ捨て、竜に走り寄る様子。
④ 武器を捨て、素手で竜を追いかけ回している様子。
⑤ 竜に対して腹を立て、足早に堂から退出する様子。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３　傍線部Ｃ「好ニ夫似レ竜而非レ竜者一也。」を返り点に従って読み下すとどうなるか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 夫(か)の竜に似て竜に非(あら)ざる者を好むなり。
② 夫の竜は竜に非ざる者を好むに似たり。
③ 夫の竜に似たる者を好むは竜に非ざるなり。
④ 夫の竜に非ざる者を好むは竜に似たればなり。
⑤ 夫の竜に似たるは而(なんぢ)の竜に非ざる者を好むなり。

問４　傍線部Ｄ「不レ礼セ。」とは、どういうことか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 哀公が竜を礼遇しないこと。
② 哀公が子張を礼遇しないこと。
③ 葉公子高が竜を礼遇しないこと。
④ 葉公子高が子張を礼遇しないこと。
⑤ 取り次ぎの者が子張を礼遇しないこと。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問５　本文の内容に合うものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。

① 葉公子高が竜を扱う態度は、哀公が士を扱う態度を手本としたものである。
② 哀公は賢士を排斥したが、それは葉公子高が竜を撃退したのと同様である。
③ 子張は、哀公が口先だけで士を好むさまを、葉公子高が竜を好む話に喩(たと)えて非難した。
④ 取り次ぎの者は子張を歓待したが、それは葉公子高が竜を歓待したのとよく似ている。
⑤ 子張は、葉公子高をほめたたえることによって、哀公が自分を門前払いしたことを批判した。

問６　この葉公子高の話から「葉公好(ム)レ竜(ヲ)」という成句ができたが、それはどういう意味を表すと考えられるか。最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。

① 似た者同士は集まりやすいという意味。
② 実際は下手なのに、上手なふりをするという意味。
③ 立派な人物は危険なものに近寄らないという意味。
④ 良いことが続くと悪いことも起こりやすいという意味。
⑤ ただうわべを飾っているだけで、実質が伴わないという意味。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　次の文章を読んで、後の問い（**問１～６**）に答えよ。（設問の都合で返り点と送り仮名を省いたところがある。）

楊光遠（注1）之（の）叛（はん）スル二青州ニ一也（や）、有リテ二孫中舎（注2）一居ル二囲城ノ中ニ一。族人（注3）在リ二州ノ西ノ別墅（べっしょ）（注4）ニ一。城閉ヂテ既ニ久シク、内外隔絶シ、（ア）食且ニレ尽キント、挙ⓐゲテレ族ヲ愁嘆ス。有リテ二畜犬一傍徨（はうくわう）（注5）シ二其ノ側ニ一、若シレ有ルガ二憂思一。A中舎因リテ嘱（たの）ミテ曰ハク、「爾（なんぢ）能ク為ニレ我ガ至リレ荘（注6）ニ取ランレ米ヲ邪（かと）。」犬揺ラシテレ尾ヲ応ズレ之ニ。至リレ夜ニ、為キ二置ニ一布嚢（ふなう）（注7）ヲ一、并（あは）セテⓑレ簡ヲ繋（つな）グ二犬ノ背ノ上ニ一。（イ）犬即チ由リ二水竇（すいとう）一出デ、至リレ荘ニ、鳴吠（きほ）ユ。居ル者開ケレ門ヲ、識リ二其ノ犬ヲ一、取リテレ簡ヲ視レ之ヲ、B令負米還投暁入城。如キレ此（こ）クノ数月、比（ころほひ）至ルニ二城開クニ一、C孫氏ノ闔門（かふもん）（注8）数十口独リ得タリレ不ルヲレ餒（う）ヱ。

（王闢之（おうへきし）『澠水燕談録（じょうすいえんだんろく）』による）

（注）
1　楊光遠――人名。このとき、五代の後晋王朝にそむき、青州のまちを占拠していた。
2　孫中舎――人名。後晋王朝に仕える青州の役人。
3　族人――親戚（しんせき）。
4　別墅――別荘。荘園。
5　傍徨――歩き回る。
6　荘――別墅に同じ。
7　布嚢――布の袋。
8　闔門――一家全員。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問１　二重傍線部ⓐ「挙」・ⓑ「簡」と同じ意味の「挙」「簡」を含む熟語として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

ⓐ　「挙」

①　挙動　②　挙国　③　挙手
④　選挙　⑤　快挙

ⓑ　「簡」

①　簡略　②　簡潔　③　簡便
④　繁簡　⑤　書簡

問２　波線部⑺「食且ニレ尽キント」・⑷「即チ由リ二水（すい）竇（とう）一出デ」の解釈として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

⑺　「食且レ尽」

①　食糧の補給がしばらく途絶えたために
②　食糧はまだまだ十分あるはずだと思い
③　食糧でさえ極めてとぼしい事態なので
④　食糧がいよいよ無くなりそうになって
⑤　食糧がもしも絶たれてしまったならば

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(イ)「即由㆓水竇㆒出」
① ようやく水路をくぐり抜け
② 一目散に水路へと駆け出し
③ からくも水路にたどり着き
④ 何度も水路伝いに逃げ切り
⑤ すぐさま水路から抜け出し

問３　傍線部Ａ「中舎因(リテ)嘱(たのミテ)曰(ハク)」とあるが、孫中舎は飼い犬に何をさせようとしたのか。その内容として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 城外との連絡を絶たれた孫中舎たちを救うため、別荘から食糧を運んで来ること。
② 城外との連絡を絶たれた孫中舎たちを逃がすため、別荘から武器を盗み出すこと。
③ 青州のまちを占拠した楊光遠と和睦(わぼく)するため、別荘から金品を運び込ませること。
④ 青州のまちを占拠した楊光遠を苦しめるため、敵陣にある食糧を盗み出すこと。
⑤ 青州のまちを占拠した楊光遠に抵抗するため、敵陣から武器を盗んで来ること。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問4　傍線部Ｂ「令負米還投暁入城」は、「米を負ひて還(かへ)り暁に投(いた)りて城に入らしむ」と読む。どのように返り点をつけるのがよいか。最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。

①　令二負レ米　還　投一レ暁　入レ城
②　令二負レ米　還　投レ暁　入一レ城
③　令三負レ米　還二投レ暁　入一レ城
④　令レ負レ米　還レ投レ暁　入レ城
⑤　令レ負レ米　還　投レ暁　入レ城

問5　傍線部Ｃ「孫氏ノ闔(かふ)門(もん)数十口独リ得レ不レ餒(う)ルヲエ」の解釈として最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。

①　孫中舎の一家数十人のうち、誰(だれ)ひとり最後まで生き残った者は無かった。
②　孫中舎の一家数十人のうち、結局ひとりだけが飢え死にせずに済んだ。
③　孫中舎の一家数十人だけは、城内でかろうじて飢えに苦しまずに済んだ。
④　孫中舎の一家のみならず、城内では誰ひとり飢えに苦しむ者は無かった。
⑤　孫中舎の一家のほか、わずか数十家族だけが、飢え死にせずに済んだ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問６　本文の内容に合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 州の西郊外の別荘に住み着いていた犬が、孫中舎一家を助けるため、何か月もかかって主人のもとに走った。
② 孫中舎の飼っていた犬は、主人を励まそうと、けなげに尾を振り、夜には忍び込んできた敵に吠えかかった。
③ 飼い犬を見知っていた者は、ただちに孫中舎の窮状を理解したが、結局は犬を敵陣へと追い返してしまった。
④ 反乱が終息して城門が開くまでの間、飼い犬は、青州のまちと州の西郊外の別荘との間を何度も行き来した。
⑤ 一晩中走り続けた飼い犬の美談は、孫中舎の親戚たちにもいち早く伝えられ、彼らをしみじみと感動させた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十一講

① 「好㆓夫似㆑士而非㆑士者㆒也。」を返り点に従って読み下すとどうなるか。最も適当なものを次の中から選べ。

ア　夫(か)の士は士に非(あら)ざる者を好むに似たり。
イ　夫の士に似たる者を好むは士に非ざるなり。
ウ　夫の士に似て士に非ざる者を好むなり。
エ　夫の士に非ざる者を好むは士に似たればなり。

② 「吾将㆑迎㆑之」の書き下し文と解釈の組合せとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　吾、之を将迎せんと
　　私が彼を送迎するつもりだ、と。
イ　吾、将(ひき)ゐて之を迎へんと
　　私が彼を連れて出迎えよう、と。
ウ　吾、将に之を迎へんとすと
　　私が彼を迎えるつもりだ、と。
エ　吾、之を迎へて将ゐると
　　私が彼を迎えて引き連れるつもりだ、と。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③ 「自リレ外視レバレ之ヲ、六箇悉ク見ユ。」の傍線部と同じ読みのものはどれか。最も適当なものを次の中から選べ。

ア 故　イ 由　ウ 能　エ 乃

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十二講　実践演習⑷

一　次の文章を読んで、後の問い（**問1～6**）に答えよ。設問の都合で返り点、送り仮名を省いたところがある。

新安(注1)人閻居敬(えんきよけい)(注2)、A所居為山水所浸。恐屋壊、B移榻(注3)於戸外而寝。夢一烏衣(注4)人。曰、「君避水在此、我亦避水至此。於君何害而迫迮(注5)我如是。C不快甚矣。」居敬寤、不(ア)測其故。爾夕三夢。居敬曰、「D豈吾不当止此耶。」因命移牀(注6)、乃牀脚斜圧一亀於戸限(注7)外。(イ)放之乃去。

（徐鉉(じよげん)『稽神録(けいしんろく)』による）

（注）
1　新安――地名。現在の河南省洛陽市の西。
2　閻居敬――人名。
3　榻――長いす兼用の細長い寝台。
4　一烏衣人――ひとりの黒い服を着た人。
5　迫迮――虐げる。おびやかす。
6　牀――ここでは「榻」と同じ。
7　戸限――敷居。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問１　傍線部(ア)「測」・(イ)「放」のそれぞれの本文中の意味を二字の熟語で言い表すとすれば、どれが最も適当か。次の各群の①〜⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

(ア)　測

①　実測　　②　測定　　③　推測

④　目測　　⑤　計測

(イ)　放

①　追放　　②　解放　　③　放棄

④　放置　　⑤　放任

問２　傍線部Ａ「所レ居ル為ル二山水ノ所トレ浸ス」の解釈として最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。

①　住んでいるところが山から湧(わ)き出てくる水の流れのほとりにあった。

②　住んでいるところが山から流れてきた水によって水浸しにされてしまった。

③　住んでいるところが山から流れてきた大水で水没してしまった場所であった。

④　住んでいるところは山の中で、湧き水のあふれ出てくる場所が近くにあった。

⑤　住んでいるところは山の中で、湧き出した水によって水浸しになっていた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３　傍線部B「移二榻(たふ)於戸外一而寝」を返り点に従って読み下すとどうなるか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　榻を戸外より移して寝(い)ねたり。
②　戸外より榻を移して寝ねたり。
③　榻を戸外に移して寝ねたり。
④　戸外に寝ねて榻を移したり。
⑤　榻を移して戸外に於いて寝ねたり。

問４　傍線部C「不快ナルコト甚シ矣」とあるが、その理由を具体的に述べたのは本文中のどの部分か。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　所レ居ル為ル二山水ノ所一レ浸ス。
②　我モ亦タ避ケテレ水ヲ至ルレ此ニ。
③　居敬寤(さ)メ、不レ測ラ二其ノ故ヲ一。
④　爾(このゆふべ)三タビ夢ミル。
⑤　牀脚斜メニ圧ス二一亀ヲ於戸限ノ外ニ一。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問５　傍線部Ｄ「豈吾(われ)不当止此耶」は「豈に吾当に此に止(とど)まるべからざるか（私はここに止(とど)まっていてはいけないのではなかろうか）」と読む。どのように返り点をつけるのがよいか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　豈 吾 不レ 当レ 止レ 此 耶
②　豈 吾 不レ 当二 止 此一 耶
③　豈三 吾 不二 当 止レ 此 耶
④　豈 吾 不二 当レ 止 此一 耶
⑤　豈二 吾 不レ 当 止レ 此 耶

問６　本文の内容に合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　閻居敬の家が水害で壊れて、飼っていた亀が家具と敷居の間に挟まれて身動きがとれなくなったため、神が亀を助けに現れた。
②　閻居敬の夢の中に黒い服を着た人が現れて、飼っていた大事な亀が閻居敬のもとに逃げて行ったので返してほしいと訴えた。
③　閻居敬が水害で寝台と敷居の間に挟まれて身動きがとれなくなったため、かつて閻居敬に恩を受けた亀が姿を変えて助けに現れた。
④　一匹の亀が閻居敬の寝台と敷居の間に挟まれて身動きがとれなくなったため、閻居敬の夢の中に姿を変えて現れ窮状を訴えた。
⑤　一匹の亀がかつて住処(すみか)が水浸しになって苦しんでいた時に閻居敬に助けられたため、その恩返しをしようと閻居敬の夢に現れた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　次の文章を読んで、後の問い（**問１～６**）に答えよ。設問の都合で返り点と送り仮名を省いたところがある。

張鄧公(注1)（ちやうとう）嘗（かつテ）謂（いヒテ）レ予（われニ）曰（ハク）、「某（注2）（それがし）挙（注3）（ゲラレシ）二進士一（ニ）時、寇萊公（注4）（こうらい）同（ともニ）遊二相国寺（注5）（しやうこくじ）一（ニ）、前（すすミテ）詣（いたル）二卜肆（注6）（ぼくし）一（ニ）。

A卜者曰（ハク）、『二人皆宰相也（ト）。』既（ニ）出（デ）、逢二張相斉賢（注7）（ちやうしやうせいけん）・王相随（わうしやうずい）一（ニ）、復（まタ）往（キテ）詣（ル）レ之（ニ）。B卜者大（イニ）驚（キテ）曰（ハク）、『一日之内、而有（リ）二四人（ノ）宰相一（ト）。』C相顧（あひかへりミテ）大（イニ）笑（ヒテ）而退（ク）。因（リテ）レ是（ニ）卜者（ハ）声望日（ニ）消（エ）、D亦不復有人問之、卒（つひニ）窮餓（シテ）以（テ）死（スト）。」四人（ハ）其（ノ）後皆為（リ）二宰相一（ト）、E共欲二為（ニ）レ之作（注8）レ伝、未（ダ）レ能也。

F其（ノ）人亦可（キ）レ哀（レムかな）哉。

（范鎮（はんちん）『東斎記事』による）

（注）
1　張鄧公――宋代の宰相、張士遜（しそん）のこと。
2　某――自分を指す言い方。
3　挙二進士一――官吏登用試験の受験資格者に選抜される。
4　寇萊公――宋代の宰相、寇準のこと。
5　相国寺――宋の都にあった寺。
6　卜肆――占いの店。
7　張相斉賢・王相随――それぞれ宋代の宰相、張斉賢・王随のこと。「相」は宰相の意味。
8　作レ伝――伝記を書く。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問１　傍線部Ａ「卜者曰、『二人皆宰相也。』」とあるが、「卜者（占い師）」はどのようなことを告げたのか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 張鄧公と寇萊公の二人は宰相の経験者であるということ。
② 張鄧公と寇萊公の二人は宰相の地位まで至るということ。
③ 張鄧公と寇萊公の二人は宰相の役職についているということ。
④ 張鄧公と寇萊公の二人は宰相に劣らない人望があるということ。
⑤ 張鄧公と寇萊公の二人は宰相としての見識を備えているということ。

問２　傍線部Ｂ「卜者大驚」とあるが、「卜者」はなぜ驚いたのか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① この一日で、思いがけなく四人の優れた才能の持ち主と知り合えたから。
② わずか一日のうちに、まれに見る運勢の人物ばかりを四人も占ったから。
③ 普段はあまり当たらない占いが、この日に限って、四人とも当たったから。
④ 帰ったはずの二人が、その日のうちに、別の二人を連れて戻って来たから。
⑤ たった一日で、大した評判もない店に四人の立派な客が次々に現れたから。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３　傍線部Ｃ「相(あひ)顧(ミテ)大(イニ)笑(ヒテ)而退(ク)」は、「卜者」の占いに対する張鄧公たちのどのような反応を述べたものか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 占いの内容があまりにもめでたいので、お世辞にしてもとても気が利いていると思い、幸先(さいさき)がよいと笑って大喜びした。

② 占いの内容があまりにも似通っているので、不思議なことだと思いながらも、とても縁起がよいとうれしそうに笑いあった。

③ 占いの内容があまりにも当たっているので、わざと身分を隠して占わせたことをきまり悪く思い、笑ってその場を取り繕った。

④ 占いの内容があまりにもよすぎるので、かえってあり得ないと思い、へつらいしか言わない占い師だと笑って取り合わなかった。

⑤ 占いの内容があまりにも期待はずれなので、受け入れる気持ちにはなれず、当てにならない占い師だとあざ笑って問題にしなかった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問４　傍線部Ｄ「亦不復有人問之」は、「亦た復(ま)た人の之に問ふこと有らず」と読む。どのように返り点をつけるのがよいか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 亦不レ復有二人問一レ之
② 亦不二復有レ人問一レ之
③ 亦不二復有一レ人レ問レ之
④ 亦不二復有一レ人問レ之
⑤ 亦不三復有二人問一レ之

問５　傍線部Ｅ「共欲二為レ之作一レ伝、未レ能也」を、返り点に従って書き下すとどうなるか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 共に之が為(ため)に伝を作らんと欲すれども、未だ能(あた)はざるなり。
② 共に之が為に伝を作らんと欲すれども、未だ能ふべけんや。
③ 共に之を為(な)して伝を作らんと欲するは、未だ能はざらんや。
④ 共に之を為して伝を作らんと欲するは、未だ能(よ)くするなり。
⑤ 共に之を為して伝を作らんと欲すれども、未だ能くせざるなり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問６　傍線部Ｆ「其ノ人亦タ可レキ哀レムかな哉」とあるが、筆者がそのように述べた理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　相国寺の占い師は予知能力があまり高くなかったために、時の宰相たちに笑われて世間からも認められず、ついには餓死して今ではすっかり忘れられているから。

②　相国寺の占い師はたまたま当たらなかった占いを張鄧公たちから批判され、世間にそのうわさが広まって評判を落とし、ついには餓死して伝記も書かれなかったから。

③　相国寺の占い師は高い能力を持っていたが、張鄧公たちがその占いを信じなかったために世間の評判を落とし、ついには餓死して伝記も書かれていないから。

④　相国寺の占い師は高い予知能力を持っていたために、時の宰相たちに危険人物と見なされて世間からも恐れられ、ついには餓死して名前も伝わらなかったから。

⑤　相国寺の占い師は高い能力を持っていたが、張鄧公たち以外は誰（だれ）もそれを知らなかったために占いを頼む人がなく、ついには餓死して占い方も伝わっていないから。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十二講

① 「為ル二官家ノ所レ疾(にくム)ト。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

注　官家…朝廷。

ア　朝廷に憎まれる。
イ　朝廷が憎い場所となる。
ウ　朝廷で憎む寸前だ。
エ　朝廷の憎みあいとなった。

② 「未レ能也」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　未だ能(よ)くするなり。
イ　能に未だにや。
ウ　未だ能(あた)ふべけんや。
エ　未だ能はざるなり。
オ　能は未だなり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十三講　実践演習(5)

一　次の文章を読んで、後の問い（問１～６）に答えよ。（設問の都合で送り仮名を省いたところがある。）

東坡(注1)先生初メテ官タルノ二鳳翔(注2)ニ一日、遇フ二一老僧ニ一。謂ヒテⓐレ之ニ曰ハク、「我有リテ二煅法(注3)一、欲ス二以テ相ヒ授ケント一。幸ハクハ少シク憩ヘト二我ガ盧ニ一也。」坡(注4)語リテレ僧ニ曰ハク、「聞ケリレ之ヲ、太守(注5)ノ陳公(注6)嘗テ求ムルモ而不ト一レ与ヘ。A我固ヨリ無キニレ欲スル、乃チ以テ見ラルルハレ授ケ、何ゾヤ也。」僧曰ハク、「我自ラ度ル二老死ノ無キヲ一レ日。而ルニ法ハ(ア)当ニシレ伝フ二人ニ一。然レドモ為スレ之ヲ者ハ、多ク因リテ致スレ禍ヲ。B非ズレ公ニ(注7)無シ二可キレ授ク者一。但ダ勿カレ三妄リニ伝フル二貪人(注8)ニ一耳。」後ニ陳公知リテ二坡ノ得ルヲⓑ一レ之ヲ、懇求スルコト甚ダ力ム。(イ)度ルレ不ルヲレ可カラレ不ルレ与ヘ。陳得テ而為シレ之ヲ、不シテレ久シカラC果シテ敗リテレ官ヲ而帰ル。

（何遠『春渚紀聞』より）

（注）
1　東坡――人名。北宋の文人蘇軾のこと。
2　鳳翔――地名。
3　煅法――不老長寿の薬を作る方法。
4　坡――東坡を指す。
5　太守――郡の長官。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

6　陳公――人名。
7　公――相手に対する敬称。
8　貪人――欲の深い人。

問1　傍線部ⓐ「之」・ⓑ「之」の指示内容の組合せとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

①　ⓐ…老僧　ⓑ…煅法
②　ⓐ…老僧　ⓑ…官
③　ⓐ…東坡　ⓑ…煅法
④　ⓐ…東坡　ⓑ…官
⑤　ⓐ…陳公　ⓑ…煅法
⑥　ⓐ…陳公　ⓑ…官

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問２　波線部(ア)「当ニシ㆑伝フ㆑人ニ」・(イ)「不ルヲ㆑可カラ㆑不ル㆑与ヘ」の解釈として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

(ア)「当㆑伝㆑人」

①　誰(だれ)かに伝えておくこともできる
②　誰かに伝えてくれないだろうか
③　誰かに伝えようとしたところだ
④　誰かに伝えておかねばならない
⑤　誰かに伝えておくかもしれない

(イ)「不㆑可㆑不㆑与」

①　与えないこともないというように
②　与えないわけにはいかないように
③　決して与えてはならないように
④　全く与えるつもりはないように
⑤　与えたくてしかたがないように

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３　傍線部Ａ「我固(もとヨリ)無(キニ)レ欲(スル)、乃(チ)以(テ)見(らルルハ)レ授(ケ)、何(ゾや)也(ト)」の解釈として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 私は煅法を伝えてほしいとはまったく思っていませんが、それなのにお教えいただけるのは、どうしてですか。
② 私の方は煅法を伝えようとはまったく思っていませんが、いまここで教えあおうというのは、どうしてですか。
③ 私はあなたに出会えるとも思っていませんでしたが、お住まいにまでお招きいただけるのは、どうしてですか。
④ 私はこれまで無欲を旨として暮らしてきましたが、それだけで煅法をお教えいただけるのは、どうしてですか。
⑤ 私は自分の煅法を伝えたいとは思ってもいませんが、あなたが教えてもらいたいと願うのは、どうしてですか。

問４　傍線部Ｂ「非レ公無二可レ授者一」を返り点に従って読み下すとどうなるか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 公を非として授くを可とする者無し
② 公の非は授くべき者無からんや
③ 公を可とすること無ければ授者に非ず
④ 公に非ざれば授くべき者無し
⑤ 公に非ざれば授者を可とする無かれ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問5　傍線部Ｃ「果シテ敗リテレ官ヲ而帰ル」の解釈として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　陳公が願ったとおり、陳公は官職から解放されて故郷に帰ることになった。
②　東坡が予言したとおり、陳公は官職から解放されて故郷に帰ることになった。
③　東坡が心配したとおり、陳公は官職を失って故郷に帰ることになった。
④　老僧が画策したとおり、陳公は官職を失って故郷に帰ることになった。
⑤　老僧が語っていたとおり、陳公は官職を失って故郷に帰ることになった。

問6　本文の内容に合致するものを、次の①～⑥のうちから二つ選べ。

①　東坡は煆法を習得する目的で、はるばる鳳翔にまでやってきた。
②　老僧は陳公に煆法を伝えなかったことを、ずっと後悔していた。
③　老僧は自分の死期が近づいたことを知り、東坡に煆法を伝えた。
④　老僧は欲の深い人に煆法を伝えないよう、東坡に注意を与えた。
⑤　陳公は様々な手段を用い、結局老僧から煆法を聞き出した。
⑥　東坡は老僧との約束を固く守り、誰にも煆法を伝えなかった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二

次の文章を読んで、後の問い（**問１～６**）に答えよ。（設問の都合で送り仮名を省いたところがある。）

哀王沖(注1)、字倉舒、少聡察岐嶷(注2)。

時ⓐ軍国(注3)多事、用刑厳重。太祖(注4)馬鞍在庫、而為鼠所齧。庫吏懼必死、ⓑ議欲面縛(注5)首(ア)罪、猶懼不免。沖謂曰、「ⓒ待三日中、然後自帰。」沖於是以ⓓ刀穿単衣、如鼠齧者、ⓔ謬為失意、貌有愁色。太祖問之、沖対曰、「ⓕ世俗以為鼠齧衣者、其主不吉。今単衣見齧、是以憂戚(注6)。」太祖曰、「A此妄言耳。無所苦也。」俄而庫吏以齧鞍聞(注7)。太祖笑曰、「B児衣在側、尚齧、況鞍懸柱乎。」C一無所問。D沖仁愛識達、皆此類也。

凡応罪戮、而為沖微所弁理(注8)、頼以済宥(注9)者、前後数十。太祖数対群臣(イ)称述、有欲伝(注10)後意。年十三疾病(注11)、太祖親為請命(注12)。及亡、哀甚。文帝(注13)寛喩(注14)太祖、太祖曰、「E此我之不幸、汝曹之幸也。」

（陳寿『三国志』による）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（注）

1　哀王沖――三国時代魏(ぎ)の曹操(そうそう)の子、曹沖(そうちゅう)。

2　岐嶷――才知に秀でていること。

3　軍国――軍事と国政。

4　太祖――魏の曹操。

5　面縛――自ら両手を後ろ手に縛ること。罪に服する気持ちをあらわす。

6　憂戚――恐れ心痛める。

7　聞――申し上げる。

8　弁理――処理する。

9　済宥――救済し、罪を赦(ゆる)すこと。

10　伝レ後――後継者にする。

11　疾病――病気が重く危篤におちいること。

12　請レ命――死なないように祈ること。

13　文帝――曹操には二十五人の息子がいたが、その嫡男、曹丕(そうひ)のこと。この時にはまだ帝位にはついていないが、後に即位したので、ここでは「文帝」と記されている。

14　寛喩――なだめる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問１　傍線部(ア)「首」・(イ)「称」と同じ意味で用いられている語として最も適当なものを、次の各群の①〜⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

(ア)「首」
①　部首　②　首位　③　斬首
④　首肯　⑤　自首

(イ)「称」
①　敬称　②　称賛　③　対称
④　称号　⑤　呼称

問２　傍線部Ａ「此妄言耳。」とあるが、太祖はどのようなことを「妄言」とみなしているのか。文中の語句（波線部ⓐ〜ⓕ）で答えるとすればどれか。最も適当なものを、次の①〜⑥のうちから一つ選べ。

①　ⓐ　軍国多事、用レ刑厳重。
②　ⓑ　議欲二面縛首レ罪、
③　ⓒ　待二三日中一、然後自帰。
④　ⓓ　以レ刀穿二単衣一、
⑤　ⓔ　謬為二失意一、貌有二愁色一。
⑥　ⓕ　鼠齧レ衣者、其主不吉。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３　傍線部Ｂ「児衣在ㇾ側、尚齧、況鞍懸ㇾ柱乎。」の解釈として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 身近にあった子供の衣でさえかじられるのだから、いっそ鞍を柱に懸けておいたらどうだろうか。
② 太祖の衣が子供の傍らにあってさえかじられるのだから、いっそ鞍を柱に懸けておいたらどうだろうか。
③ 身近にあった子供の衣でさえかじられるのだから、鞍を柱に懸けておくべきではなかった。
④ 太祖の衣が子供の傍らにあってさえかじられるのだから、柱に懸けてある鞍がかじられるのは当然だ。
⑤ 身近にあった子供の衣でさえかじられるのだから、柱に懸けてある鞍がかじられるのは当然だ。

問４　傍線部Ｃ「一　無ㇾ所ㇾ問。」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① いっさい責任を追及しなかった。
② すこしも疑いの余地がなかった。
③ すこしも聞きただすものがいなかった。
④ だれ一人として見舞うものがなかった。
⑤ だれ一人として怪しむものがなかった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問５　傍線部Ｄ「沖仁愛識達、皆此類也。」とあるが、「此」は哀王のどのような行動を指すのか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 自分の衣に刀で鼠がかじったような穴をあけてしまったが、鞍を鼠にかじられた倉庫番とともに進んで自分たちの罪を認めることで、かえって太祖を感嘆させたこと。

② 太祖の鞍を鼠にかじられたのみならず、太祖の衣にまで穴をあけてしまったが、忠義の心に厚い倉庫番の忠告を素直に聞き入れて謝罪し、太祖の我が子に対する期待に十分こたえたこと。

③ 太祖の鞍を鼠にかじられた倉庫番の身を思いやり、わざと自分の衣に穴をあけ鼠にかかわる俗信に対する太祖の反応を利用することによって、太祖の倉庫番に対する怒りをそらせ命を救ったこと。

④ 鼠が鞍までもかじらざるをえないことから倉庫の中の穀物が横領されている事実に気づき、わざと太祖の衣に穴をあけて太祖の関心を巧みに倉庫番に向けさせることによって、強欲な倉庫番をこらしめたこと。

⑤ 倉庫番の不注意から大切な鞍を鼠にかじられ、それを不吉の予兆だとする俗信にとらわれて失意にあった太祖の気持ちを察し、自分の衣にも穴をあけるという子供らしい機知によって太祖の笑いを誘って慰めたこと。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問６　傍線部Ｅ「此我之不幸、汝曹之幸也。」とあるが、ここで太祖が「不幸」・「幸」といったのはなぜか。最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。

①　哀王が死んだことは、太祖にとっては優れた後継者を失ったことを意味し、文帝らにとっては有力な競争相手がいなくなったことを意味しているから。

②　哀王が死んだことは、太祖にとっては賢明な臣下を失ったことを意味し、文帝らにとっては平素は近よりがたい父をこの機会を利用してなだめえたことを意味しているから。

③　哀王が死んだことは、太祖にとっては的確な助言をしてくれる人物を失ったことを意味し、群臣にとっては後継者が嫡男である文帝に決着し、争いに巻き込まれなくてすむようになったことを意味しているから。

④　哀王の死に対して太祖がひどく悲しんだことは、太祖にとっては愛情に溺（おぼ）れたさまを群臣の前にさらすことを意味し、文帝らにとってはふだんは冷徹な父のみせた情愛にふれることができたことを意味しているから。

⑤　哀王の死に対して太祖がひどく悲しんだことは、太祖にとっては一時的に後継者問題を的確に処理する能力を失ったことを意味し、群臣らにとっては文帝を後継者に推す絶好の機会が到来したことを意味しているから。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十三講

①　「不レ可レ不レ語つゲ。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　告げないわけにはいかない。
イ　告げたくてしかたがない。
ウ　決して告げてはいけない。
エ　告げないこともない。
オ　全く告げるつもりはない。

②　「夫レ以二無知之禽獣一、猶且変レ勇為レ怯、況人之霊」の趣旨として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　禽獣は無知なものだが、霊長類である人間ならば、なおさら勇敢さが変じて卑怯になるなどということはないと夫は言ったのである。
イ　そもそも、知恵のない禽獣でさえ、勇猛だったものが臆病になることがあるのだから、ましてや知恵をもつ人間ならなおさらである。
ウ　夫と知恵のない禽獣とを比べるということは、勇敢と卑怯とを比べるようなもので、霊妙な人間というものがわかっていないのである。
エ　あの無知の禽獣ですら、しばらくは臆病から勇猛へと性格が変わったのだから、人の霊魂も少しの間なら変化することができるのである。
オ　それゆえ、士人は無知の禽獣の性格が勇猛でなくなっても大切にしたのだから、優れた人間ならなおさら大切にするであろう。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

模範解答

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第十二講】

一

①〔**若し**然らば、…〕（もしそうならば、…）
〔水のごとし。〕（水のようだ。）

②〔**苟くも**其の時に遭はば、…〕（**かりにも**しかるべき時世にめぐり会うなら、…）

③〔**仮令ひ**我寿を保つこと百年なり**とも**、…〕（**たとえ**私が寿命を百年保つことができた**としても**、…）
〔**縦ひ**江東の父兄憐れみて我を王とす**とも**、…〕（**たとえ**江東の父兄が同情して、私を王とした**としても**、…）

④〔其れ或いは周を継ぐ者、百世**と雖も**知るべきなり。〕（もし仮に周を継ぐ王朝があるとしたら、**たとえ現在より後の百の王朝のことだとしても**知ることができるのである。）
〔**苟くも**私意蔽固なれば、則ち過ち有りと**雖も**、而も之を知ること**能はず**。〕（**もし**自分勝手な心で道理に暗く頑固であるならば、過ちを犯した**としても**、これを知ることが**できない**。）
〔鶴の脛は**長しと雖も**、之を断たば則ち悲しまん。〕（鶴のすねは**長いけれども**、これを～）

⑤（もし公が知ったならば、…）

⑥〔斯の人**微かりせば**、…〕（この人がいなかったならば、…）

二

①〔霜葉は二月の花**より**（**も**）紅なり。〕（霜にあたって紅葉した葉は二月の花**よりも赤い**。）
〔青は之を藍より取りて、**藍よりも青く**、…〕（青色は藍の草から取るが、**藍の草よりも青く**、…）

②〔百聞は一見に如かず。〕（百回聞くより一回見たほうがよい。）
〔臣を釈すに**如かず**。〕（私を許したほうがよい。）

③〔良医に如くは莫し。〕（良医が一番よい。）

④（人が身にもっているもので、**瞳より素直なものはない**。）

⑤〔天下**焉より強きは莫し**。〕（天下で**これより強いものはない**。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔模範解答〕

問一　a　もし

b　ぞうぶつといえどもあたわざるところあり。

問二　寒より（も）甚だし

問三　ひんいにしかず。

問四　ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第十三講】

一　①〔**惟だ士のみ**能くするを為す。〕（**ただ**学問を修め、道理を得た人**だけ**ができることである。）
〔**唯だ**人の唾を喜ばざるのみ。〕
②〔**今独り臣のみ**船有り。〕（今ただ私だけが船を持っている。）
〔妾**独り**衛を以て蘧伯玉有りと為すのみ。〕（私は衛の賢明な人物は**ただ**蘧伯玉**だけだ**と思っていた。）
③〔若は忠信ならざる**のみ**。〕（お前が忠信でない**だけだ**。）

二　①〔叔**惟だに**仲を薦むるのみならず、又〜〕（鮑叔は管仲を**ただ**推薦した**だけでなく、また**〜）
②〔**徒だに益無きのみに非ず**、而して又之を害す。〕（**ただ益がないだけでなく**、またかえって害がある。）

三　①〔どうかその説明を**聞かせてください**。〕
〔どうかこれを**察してください**。〕
②〔どうかこれを講義してください。〕
③〔どうかこれを改めてください。〕

四　①〔死馬すら且つ之を買ふ、況んや生ける者をや。〕
〔死んだ馬でさえ買う（なら）、まして生きている馬（を買うの）はなおさらだ。〕
〔私は**死でさえ避けない**。〕
②〔況んや衆人をや。〕（まして多くの人にあってはなおさらだ。）
③〔而るを況んや人に於いてをや。〕（まして人にあってはなおさらだ。）

〔模範解答〕
問一　ただ
問二　やすんずるあたはざらんのみ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　ただハマグリとアサリが船一そう分あるだけだ。

問四　ア

問五　豈に独り我が父のみならんや。

問六　どうか私に三言だけ言わせてください。

問七　いわんやそれようにてきするものをや。

問八　イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第十四講】

一

①　**【理由や手段を示す】**

(2)（時勢を見抜く**からである。**）

②　(2)〔以て神と為す。〕（不思議な力を持っている者**だと思う。**）

(3)〔趙王藺相如**を以て上卿と為す。**〕（趙王**は**藺相如**を最高の家来だと考える。**）

③　(1)（**もし**鋭い刃を踏み、〜）

(2)（木は**すぐに**声に反応して、…）

(5)（**人民**の租税に至っては、とかく**いつも**免除する。）

④　(2)〔渡らんと欲す。〕

二

①　(2)「受身」（NにVされる）

(3)「比較」（Nより（も）A）

②　(2)（どうしてわざわざ〜しようか、いや、決して〜しない）

(3)〔敢へて〜ず〕（決して〜ない）

(4)〔敢へて〜ざらんや〕（どうして〜しないことがあろうか、いや、〜する）

③　(1)「仮定」（もし〜ならば）

(3)〔〜に如〔若〕かず〕（〜の方がよい・〜に及ばない）

〔〜に如〔若〕くは莫〔無〕し〕（〜が一番よい・〜にしたことはない）

(4)〔如何《いかん》ぞ〜〕（どうして〜か）

〔**如何**《いかん》（せん）。〕（〜は**どうするか。**）【方法】

〔**何如**《いかん》。〕（〜は**どのようであるか。**）**【状態・結果】**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(5)　〔如何ぞ～ん〕（どうして～だろうか、いや、～ない）
〔～（は）如何せん。〕（～はどうしようもない。）

④
(1)　〔能く〕（～できる）
(2)　〔能はず〕（～できない）
(3)　（どうして～できるだろうか、いや、～できない）

〔模範解答〕

問一　すなわちひんいにしかず。

問二　(a)　イ　(b)　ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第十六講】

★【李白】…「**詩仙**」
【杜甫】…「**詩聖**」

〔模範解答〕

一

問一　五言絶句
問二　新・人
問三　有り　／　第３句と第４句

二

問一　七言絶句
問二　間・還・山
問三　ウ

三

問一　エ

四

問一　七言律詩
問二　茫・長・央・霜・涼
問三　イ
問四　ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

五

問一　a　わかき　b　べく　c　ゆえんは

問二　イ

★「漱石枕流」＝負け惜しみの強いこと。

〈現代語訳〉

一

『建徳江で舟に宿る』

舟を移動して、夕もやにつつまれた岸辺に泊まる。
日暮れに、旅の愁いが新たに湧いてくる。
野原は広々とし、天は木に垂れそうなほど低く、
川は澄んでいて、月は手に届きそうなほど近い。

二

『早朝に白帝城を出発する』

朝早く、白帝城に朝焼けの雲がたなびくころ、（白帝城に）別れを告げる。
千里も離れた江陵まで、一日で帰る。
両岸の猿の鳴き声が絶えることなく、
軽快な舟はすでに幾重にも重なっている山々を通り過ぎる。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三

私が揚子江のほとりに来て望見すれば、
ひとひらの白い雲と幾つかの山があるばかりである。
我が身を天柱の先端に置いて、
太陽や月が人間界を巡っていくのを上から逆に眺めてみることができようか、いやできない〔が、眺めてみたい〕。

四

『河のほとりの高殿で夜の景色を望み、客を招く』
海の水平線のかなたを東に見ると、薄暗い夜の景色が広々と果てしなく広がっている。
山の姿も川の形も、広くかつ長くつながっている。
灯が多くの家々に灯り、街の四辺にまでも広がり、
天の川が一筋に、河の真ん中にかかっている。
颪は枯れ木に吹きかかり、晴れているのに降っている雨の音のようである。
月は砂を照らし出し、夏の夜の霜のように白く光っている。
水辺の高殿で、暑さを忘れてみないか。
君の茅葺きの家に比べて、少しは涼しいであろう。

五

孫子荊は、若い時、隠遁しようと思い、王武士に語るときに、石を枕にして川の流れで口をすすごうと言うべきなのに、間違って言うことには、「石で口をすすぎ川の流れを枕にする」と。王武士が言うには、「川の流れを枕にできたり、石で口をそそぐことができたりするのか」と。孫子荊が言うには、「川の流れを枕にする理由は、耳を洗いたいと思うからである。石で口をそそぐ理由は、歯を磨こうと思うからである」と。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第十七講】

〔模範解答〕

一

問一　a　より　　b　ここにおいて

問二　ウ

問三　①　千金で君主の側で雑用をする人に、一日に千里を走ることができる名馬を買いに行かせた者がいた。

②　まして隗よりすぐれた者が、どうして千里の道を遠いと思うだろうか、いや、思わない。

★**「隗より始めよ」**＝賢者を招くなら、身近な者から優遇せよ。⬇言い出した者から実行せよ。

二

問一　a　とを　　b　より　　c　ことごとく

d　ごとし　　e　ついに　　f　あたわず

問二　つかいせしむ

問三　①　匈奴は不思議な力を持っている者と思って

②　どうして自分からこのように苦しんでいるのか

問四　武をして還らしむ。

★**「雁書」「雁信」「雁帛」**＝手紙。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔現代語訳〕

一

昭王がすぐれた人物を招こうとした。郭隗が言うには、「昔の君主に、千金で君主の側で雑用をする人に、一日に千里を走ることができる名馬を買いに行かせた者がいました。（その雑用係は）死んだ馬の骨を五百金で買って帰ってきました。君主は怒りました。雑用係が言うには、『死んだ馬（の骨で）さえ買うのです、まして生きている馬ならなおさら（高いお金で買うと思う）でしょう。名馬はまもなく来るでしょう』と。（そして）まる一年経たない間に、千里の名馬が三頭も来ました。今、王様が必ず賢者を招きたいと思うのならば、まず私から始めてください。まして隗〔＝私〕よりすぐれた者が、どうして千里の道を遠いと思うでしょうか、いや、思わないでしょう」と。

そこで昭王は隗のために新しく邸宅を築いて、隗を先生として隗に師事した。そこで賢者が（我先にと）争って燕の国にやって来た。

二

武帝の治世の天漢元年、護衛にあたる司令官である蘇武を、匈奴に使者として送った。匈奴の王が蘇武を降伏させようと思った。（蘇武は降伏しなかったので、匈奴の王は）蘇武を閉じ込めて大きな地中の穴ぐらの中に置いて、決して飲食をさせなかった。蘇武は雪と毛織物の毛とを噛んで、合わせてこれを飲んだ。数日経っても死ななかった。匈奴は不思議な力を持っている者と思って、蘇武を北海のほとりの人がいない所に移して、雄の羊を飼わせて言うには、「雄の羊が子羊を産んで乳を出すようになったら、そこで漢に帰ることができるだろう」と。

昭帝の治世の始元六年、蘇武は匈奴から帰還した。蘇武は初め北海のほとりに移されると、野鼠が取り込んだ草の実を掘って、これを食べた。寝るときも起きているときも、漢の天子から授けられた使者としての印を持っていたので、その旗印に付いていた旄牛の尾の毛がすべて抜け落ちた。（降伏した）李陵が蘇武に言うことには、「人生は朝露のようだ〔＝はかない〕、どうして自分からこのように苦しんでいるのか」と。李陵と衛律とは匈奴に降伏し、二人とも豊かで身分も高くなっていた。衛律もまた何度も蘇武に降伏することを勧めた。結局（蘇武は）承知しなかった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（蘇武とは違うまた別の）漢の使者が匈奴に来た。匈奴が偽って言うには、「蘇武はすでに死んだ」と。漢の使者はこれが嘘だと知っていて言った、「天子が漢の長安にある庭園の中で狩りをして、雁を得た。足に絹に書いた手紙があり書いていた、蘇武は北海のほとりで生きている」と。匈奴は隠すことができなかった。そこで蘇武を帰らせた。

蘇武が匈奴に留まること十九年間。始めは男盛りのときに（漢を）出たが、帰還するときには顎ひげと髪の毛がすべて真っ白であった。（昭帝は、匈奴に長く捕らえられて事情に詳しい蘇武を）少数民族対策にあたる官に任命した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第十八講】

〈模範解答〉

一

問一　a　ここにおいて　b　ついに　c　とに　d　のみ　e　ひそかに　f　すでに

問二　①　**〈読み〉**　いかん
〈訳〉　どうであるか（どんな様子か）
③　**〈読み〉**　なんするものぞ
〈訳〉　何者だ
⑦　**〈読み〉**　それ
〈訳〉　そもそも
⑩　**〈読み〉**　しゅゆにして
〈訳〉　まもなく

問三　④　之に卮酒を賜へ（と）。
⑤　其の盾を地に覆せ、

問四　⑪　項王都尉陳平をして沛公を召さしむ。
⑫　未だ辞せざるなり。

問五　ラシメ

問六　②　どうか私に、宴席に入り沛公と生死をともにさせてください。
⑥　私は死でさえ避けない。まして、大杯についだ酒などどうして辞退しようか、いや、しない。
⑧　決して自分のものにすることがなかった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑨　まだ諸侯に取り立てる恩賞もない。

⑬　どうして別れの挨拶をしようか、いや、しない。

〔現代語訳〕

一

そこで張良は陣営の門へ行き、樊噲を見た。樊噲が言うには、「今日の会見は、どのようだ」と。張良が言うには、「とても切迫している。今、項荘が剣を抜いて舞を舞っている。その狙いは常に沛公にあるのだ〔＝沛公を殺そうとしている〕」と。樊噲が言うには、「これは危ない。どうか私に、宴席に入り沛公と生死をともにさせてください」と。樊噲はすぐに剣を腰につけて盾をだき抱えて陣営の門から入ろうとした。戟を交差して守る番兵が、中に入れないように留めようとした。樊噲はその盾を傾けてそして（それで）突いた。番兵は地面に倒れた。樊噲はついに中に入り、張り巡らした幕を手でかき分けて西を向いて立ち、怒って目をむいて項王を見た。頭髪は逆立ち、めじりはすっかり裂けていた。項王は剣を手でおさえて立膝をついて身構えて言うには、「お前は何者だ」と。張良が言うには、「沛公の護衛のために同乗する者で樊噲という者です」と。項王が言うには、「勇壮な男である。このものに大杯についだ酒を差し上げよ」と。そこで一斗入りの大杯についだ酒を与えた。樊噲は拝礼して立ち、立ったままこれを飲んだ。項王が言うには、「このものに豚の肩の肉を差し上げよ」と。そこで一つの（塊の）生の豚の肩の肉を与えた。樊噲は持っていた盾を地面に伏せて、豚の肩の肉を上に載せて剣を抜いて切ってこれをむさぼり食べた。項王が言うには、「勇壮な男である。また飲むことができるか」と。樊噲が言うには、「私は死でさえ避けない。まして、大杯についだ酒などどうして辞退しようか、いや、しない。そもそも秦王には虎狼の心〔＝残忍な心〕がありました。人を殺すことが数えることができないほどで、人を罰することも数えられないほどで（処刑しきれないことを）恐れるほどでした。（だから）天下の人々はみんな秦王に背きました。懐王は諸将と約束をして言うには、『先に秦を破って咸陽に入った者は、その地の王としよう』と。今、沛公が、先に秦を破り咸陽に入りましたが、少しも決して

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

自分のものにすることがなかった。宮室を閉鎖し、軍を陣を引いた場所の覇上に返して、大王様〔＝項王〕がいらっしゃるのを待っていました。わざわざ将兵を派遣して函谷関を守らせたのは、他の盗賊が出入りするのと非常事態とに備えたのです。苦労がとてもひどく功績が高いことはこのようですが、まだ諸侯に取り立てる恩賞もありません。しかし（項王は）つまらない者の言うことを聴いて、功績がある人を殺そうとお考えです。これは滅亡した秦の二の舞なだけです。個人的に大王様には賛成はしません」と。項王はまだ何も答えない。「座れ」と言った。樊噲は張良に従って座った。座ってまもなく、沛公は立って厠に行った。ついでに樊噲を招いて出て行った。

　沛公はすでに（項王のもとを）出た。項王は軍の部隊長の陳平に沛公を呼ばせた。沛公が言うには、「今出てきたが、まだ別れの挨拶をしていない。（もう一度酒宴の席に戻って）これをするのは、どうだろうか」と。樊噲が言うには、「大きな行い（をするに）は小さな謹みなど気にとめず、大きな礼（を行うに）は小さな譲り合いなど問題にしない。今、人〔＝項王側〕は包丁とまな板で、私〔＝沛公側〕は魚と肉です。どうして別れの挨拶をしようか、いや、しない」と。そこで、そのまま立ち去った。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第十九講】

〈模範解答〉

一

問一　側近（近臣）

問二　これはなんと楚の国の人（＝兵）が多いことよ。

問三　**〈書き下し文〉**　なんぢをいかんせん（と）。

〈訳〉　お前をどうしようか、いや、どうにもできない。

★「**四面楚歌**」＝周りがすべて敵。孤立無援の状態であること。

★「**抜山蓋世**」＝気力が極めて充実していること。

二

〈例題一〉　ウ　　**〈例題二〉**　エ

三

問１　④　　**問２**　④　　**問３**　③

問４　①　　**問５**　⑤　　**問６**　②

〈現代語訳〉

一

項王の軍は垓下に砦を作って立てこもった。兵士も少なく食糧も尽きた。漢軍（＝沛公の率いる軍）及び諸侯の兵が、これを何重にも囲んだ。夜、漢軍が四方で皆、楚の歌を歌っているのを（項王が）聞き、項王はそこでとても驚いて言うには、「漢は皆すでに楚の地も取り込んだのか。これはなんと楚の国の兵が多いことよ」と。項王は夜起き出して本陣で飲んだ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

女官がいて、名前は虞（といった）。いつも寵愛されて一緒にいた。名馬もいて、名前は騅（といった）。（項王は）常にこれに乗った。そこで項王は悲しく歌い激しく心をたかぶらせ、自分で詩を作って言うには、

力は山を引き抜き、気力は天下を覆いつくす。
時勢は有利ではなく、騅も進まない。
騅が進まないのをどのようにしようか、どうにもできない。
虞よ、虞よ、お前をどうしようか、いや、どうにもできない。

歌うこと数回、女官もこの歌に合わせて歌う。項王は涙を幾筋か流した。側近は皆泣いて、（項王を）仰ぎ見ることができる者はいなかった。

三

古くからの友人が千里の彼方に旅立つ。
別れに際して、やはりぐずぐずしてしまう。
人が去って行ってもまた帰ってくることができる。
年が去ってゆくのを、どうして追いかけることができよう（いや、できない）。
歳に問う、「どこへ向かうのか」。
「遠く天の果てです。
ひとたび東へと流れる水を追いかけ（ても）、
海に向かって流れたら最後、帰ってくる時はない。」
東側の隣でやっと酒を醸し出したばかりで、
西側の小屋では子豚もまた太っている。
ひとまず今日を楽しんで、
この暮れゆく年の悲しみをいやそう。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第二十講】

〔模範解答〕

一

問１ ③　問２ ④　問３ ⑤

問４ ①　問５ ②　問６ ③

二

問１ (ア) ③　(イ) ②

問２ ①

問３ ④

問４ ②　問５ ⑤　問６ ③

〔現代語訳〕

一

役人（＝冥界の使者）が言うには、「あなたが遠くまで一緒に（船に）乗せてくれたので感謝はしているが、この書（＝死者の名を記してある帳簿）からあなたの名前を除くことはできない。今日はもう去って家に帰りなさい。（これから）三年間、門（＝家）から（外に）出ることがなければ、生きつづけることができるのだ。私の書を見たことを（他人に）言ってはいけない」と。周式は（家に）帰って（門から外に）出ないことが、もう二年あまりである。家族は皆、このこと（＝周式が二年あまりも家にこもりきりであること）を不思議がった。隣人が急死した。（周式の）父は怒って、（周式に）隣人の家に行かせて亡くなった隣人を弔わせた。周式はしかたなく、門を出たところ偶然に、すぐにこの役人に会った。役人が言うには、「私はあなたに三年間（家から）出ることがないようにさせた。しかし今、門から出たので、もうこれ以上守り通すことはできない。私は探し出すことができなければ、まきぞえを食って（冥界の王に）鞭や棒で打たれる罰を受ける。今もはやあなたを見つけたので、どうすることもできない。三日後、正午にどうしても（あなたを）つかまえなければなら

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ない」と。周式は（家に）帰って涙を流しさめざめと泣いて、このように〔＝二年前の旅の途中に、役人に出会って何があったのか〕詳細を話した。父はまったく信じない。母は昼も夜も一緒にいて（周式を）守った。三日後の正午になり、ついに本当に（役人は）やって来て（周式を）つかまえ、あっけなく死んだ。

二

田叔はその人々の指導者二十人を捕らえ、それぞれを笞で打つこと五十回、他はそれぞれ手で打つこと二十回、（そして）この人々を怒って言うことには、「王は君たちの主人ではないか。どうしてすすんで君たちの主人を（悪く）言うのか」と。魯王はこれ〔＝田叔が人々をとがめた言葉〕を聞いて（領主としての立場に対する自覚が足りなかった自分を）非常に恥じて、王の財物を保管する蔵を開いて、相〔＝田叔〕の手で銭を弁償させようとした。相〔＝田叔〕が言うには、「王様はご自身でこれを奪い取り、相〔＝私〕にこれを弁償させようとしていますが、これは王様が（人民に対して）悪いことをして、相〔＝私〕が（人民に対して）良いことをすることになります。（私が）これを弁償する（ような、王様の意志が伝わらないばかりか、王様の立場がさらに悪くなるような）ことに関与することはないでしょう」と。そこで魯王はようやくすっかりこれを弁償した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第二十一講】

〈模範解答〉

一

問１　④
問２　②
問３　①
問４　②
問５　③
問６　⑤

二

問１　ⓐ　②　ⓑ　⑤
問２　(ア)　④　(イ)　⑤
問３　①
問４　②
問５　③
問６　④

〈現代語訳〉

一

葉公子高が竜を好んで、帯どめには竜（の絵）を写して、彫物にも竜（の絵）を写して、屋根や室内の装飾にも竜（の絵）を写した。そこでこの（本物の）竜が（このことを）聞いて、ここ〔＝葉公子高のところ〕に（天から）下りてきて、頭を窓に覗かせて、尾を堂に引きずった。葉公子高はこれを見ると、竜に背を向け、慌てて堂から逃げ出し、魂を失い〔＝気が動転し〕、顔色を失った。これは葉公子高は竜を好んでいるのではなく、竜に似ているが（本物の）竜ではないものを好んでいたのである。今、私は殿様〔＝哀公〕が賢士を好むと聞きました。だから千里の道を遠いとも思わず、殿様に拝謁しようとしましたが、七日間経っても（殿様は私を）礼遇してくれません。殿様は賢士を好むのではなく、賢士に似ていて賢士ではないものを好んでいるのであります。」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二

楊光遠が（反乱を起こし）青州の町を占拠したとき、孫中舎は包囲された青州の町の中にいた。（孫中舎の）親戚が青州の西（郊外）の別荘にいた。町は閉鎖してすでに長い時間が経ち、町の外との連絡を完全に絶たれ、食糧がいよいよ無くなりそうになって、孫中舎の家の者は皆、嘆き悲しんだ。（孫中舎には）飼い犬がいて孫中舎の周囲を歩き回り、心配しているように見えた。そこで孫中舎は（犬に）頼んで言うことには、「おまえは私のために（親戚の）別荘に行き米を取ってきてくれるか」と。犬はしっぽをふってこれに答えた。夜になると、一枚の布の袋を用意し、手紙とともに犬の背中にしばりつけた。犬はすぐさま水路から抜けだし、別荘に行き、鳴いて吠えた。別荘にいた（親戚の）者が門を開け、その犬が孫中舎の犬だと気づき、手紙をとってこれを読むと、（親戚の者は）米を（犬に）背負わせて帰らせ夜明け前の時間に町の中に入らせた。このように［＝犬に青州の町と西郊外の別荘との間を何回も行き来させ食糧を運ばせたこと］数ヶ月間、（反乱が終わり）町の門が開くまでの間、孫中舎の一家数十人だけは、飢えずにすんだのであった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第二十二講】

〔模範解答〕

一

問１　(ア)　③　(イ)　②　問２　②　問３　③
問４　⑤　問５　①　問６　④

二

問１　②　問２　②　問３　④
問４　⑤　問５　①　問６　③

〔現代語訳〕

一

新安の人、閻居敬の、住んでいるところが山から流れてきた水によって水浸しにされてしまった。部屋が壊れることを恐れて、長いす兼用の寝台を外に移して寝た。ひとりの黒い服を着た人を夢に見た。（その人が）言うには、「あなたは水を避けてここにいて、私もまた水を避けてここにいる。あなたに何をしたからといって、私を虐げることがこのようなのか。不快なことこの上ない」と。閻居敬は（夢から）覚めて、（こんな夢を見る）その理由が推測できない。この夜三回（同じ）夢を見た。閻居敬が言うには、「私はここに止まっていてはいけないのではなかろうか」と。そこで命じて寝台を移させたところ、寝台の脚が傾いて一匹の亀を（寝台と）敷居との間に圧迫していた。この亀を放してやればやっと（そこから亀は）去る。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二

張鄧公が以前私に言うことには、「私が官吏登用試験の受験資格者に選抜されたとき、寇萊公と一緒に相国寺に遊びに行き、導かれるようにある占いの店に行った。占い師が言うには、『（張鄧公と寇萊公の）二人は宰相である〔＝二人とも宰相の地位まで至る〕』と。そのまま（店を）出て、張相斉賢・王相随に会い、ふたたび占いの店に行った。占い師が非常に驚いて言うことには、『一日のうちに、四人の宰相がいる〔＝占った四人ともが宰相の地位になる〕』と。お互いに結果を振り返りおもいっきり笑って店から出た。こういうわけで占い師は評判が日に日に落ちていき、また他にこの占い師に占ってもらう人がいなくなり、ついに（占い師は）困窮して飢えて死んでしまった」と。（その）四人はその後、全員（占い師の占った通りに）宰相となり、一緒に占い師のために伝記を書こうとしたが、まだできていないのである。その人〔＝占い師〕のことはまた憐れむべきだなあ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第二十三講】

〈模範解答〉

一

問１　③　問２　(ア)④　(イ)②　問３　①

問４　④　問５　⑤　問６　③・④

二

問１　(ア)⑤　(イ)②　問２　⑥　問３　⑤

問４　①　問５　③　問６　①

〈現代語訳〉

一

東坡先生が初めて鳳翔の官吏になって赴任した日、一人の老僧に会った。（老僧が）東坡に言うことには「私は不老長寿の薬を作る方法を知っていて、（あなたに）授けようと思っている。どうかしばらく私の草庵に来て休憩してください」と。東坡が僧に話して言うことには、「これを聞いたことがあります、郡の長官の陳公様が以前（不老長寿の薬の作り方を教えてほしいと）求めたのに教えなかったと。私は（煅法〔＝不老長寿の薬を作る方法〕を）もともと伝えてほしいとは（まったく）思っていませんが、それなのにお教えいただけるのは、どうしてですか」と。老僧が言うには、「私は自分で年老いて死期が迫っていることをわかっている。しかし道理として誰かに伝えておかねばならない。しかし、これを教えられた者は、多くそれによって不幸になる。あなたでなければ教えることのできる者はいない。ただむやみに欲の深い人に教えることはしないでおくれ」と。後に陳公が、東坡が煅法を得た〔＝教えられた〕ことを知って、熱心に教えてほしいと懇願するので、与えないわけにはいかないようになってしまった。陳公は（その作り方を）手に入れ実行したが、まもなく（老僧が

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

語っていたとおりに）官職を失って（故郷に）帰った。

二

哀王沖〔＝曹操の子である曹沖〕は、字は倉舒で、若くして才知に秀でていた。
時に、軍事と国政がいろいろ騒がしく、刑罰を行うことが厳重であった。太祖〔＝曹操。哀王沖の父〕の馬の鞍が倉庫にあって、鼠にかじられた。倉庫番が必ず死刑になることを恐れて、自ら両手を後ろ手に縛り（罪に服する気持ちを表して）罪を自首しようとしたが、やはり（それでも）死刑を免れないことを恐れた。哀王沖が言うことには、「三日間（どこかに行って）待って、その後で自分から帰ってきなさい」と。哀王沖はそこで刀で自分の衣に穴をあけ、鼠がかじったようにして、偽って落ち込んだふりをして、不安な表情でいた。太祖がこの理由を問うと、哀王沖が答えて言うには、「世間では鼠が衣をかじったら、その衣の主は不吉なことになると（言われているそうです）。今、衣が（鼠に）かじられました、そういうわけで恐れて心を痛めているのです」と。太祖が答えて言うには、「それはただの俗信である。苦しむことなどない」と。その後すぐに倉庫番が（太祖の馬の）鞍が（鼠に）かじられたことを申し上げた。太祖が笑って言うには、「身近にあった子供の衣でさえかじられるのだから、柱に懸けてある鞍がかじられるのは当然だ」と。（そうして太祖は）いっさい（倉庫番の）責任を追及しなかった。哀王沖が思いやりにあふれ才知に秀でているのは、すべてこのようであった。
そもそも刑罰で殺されるところを、哀王沖にこっそり処理されて、それに頼って救済され、罪を赦された者が、数十人前後いた。太祖はしばしば家来たちに対して、（哀王沖のことを）称賛して話していて、後継者にしようと考えていた。（哀王沖が）十三歳のときに病気が重く危篤におちいり、太祖は自分で哀王沖のために死なないように祈った。（祈りが届かず結局哀王沖は）亡くなり、（太祖が）悲しむことこの上ない。文帝〔＝太祖の長男の曹丕〕が太祖をなだめると、太祖が言うには、「これは私の不幸〔＝優れた後継者を失ったこと〕であるが、お前たちの幸い〔＝有力な競争相手がいなくなったこと〕である」と。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答解説

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十二講　解答解説

〔解説〕

①「苟」は「いやしクモ」と読み、「もし～ならば」の意味。よって、正解はイ。

②「雖」は「いへどモ」と読み、逆接を表す。古文とは違い、仮定・確定のどちらの意味もあるので、文脈判断が必要であるが、この場合は逆接の選択肢がイのみ。よって、正解はイ。

③「不若」は「しカず」と読んで比較の句法。よって、正解はエ。

〔解答〕

①　イ　②　イ　③　エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十三講　解答解説

〔解説〕

① 「唯」は「たダ」と読み、限定の句法。選択肢の中で、同じく「たダ」と読み、限定の句法はウ。よって、正解はウ。

② 「耳」は「のみ」と読み、「だけだ」の意味。選択肢の中で、同じく「のみ」と読み、「だけだ」の意味になるものはオ。よって、正解はオ。

③ 「〜スラ尚ホ〜、況ンヤ〜ヲや」は「抑揚」の句形。よって、正解はエ。

④ ⑴ 「いはんや」と読めるのはイ。

⑵ 「抑揚」は古文の「類推」と同じ。軽いものをあげて、重いものを推測させ、そうなるのが当然だというのを暗に示す表現意図がある。アは「困難な状況」にだけ限定しているので不適。正解はウ。

〔解答〕

① ウ　② オ　③ エ　④ ⑴ イ　⑵ ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十四講　解答解説

〔解説〕

①　「以A為B」は「Aを以てBと為す」と書き下し、「AをBにする／AをBと思う」の意味。よって、オが正解。

②　「使＝すなはチ」の意味は、「すぐに・たやすく・簡単に」である。よって、ウが正解。ア「いつも」の「すなはチ」は「輒」（「すぐに」の意味もある）。イ「そこで」、エ「やっと」、オ「なんと」の「すなはチ」は「乃」である。

③　動画講義中にも説明したが、「欲」の下が、使役の助動詞「使」（しム）なので、「Vんと欲す」という読み方になる。「ん」の上は未然形なので、「～しめんと欲す」。「使」の下に動詞を探すと「在」がある。したがって、「使」と「在」の間の「之」は使役の対象となり、「をして」という送り仮名をおくる。よって、正解はエ。

〔解答〕

①　オ　②　ウ　③　エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十五講　解答解説

〔解説〕

① （手紙文中で）「あなた」を表す言葉は「足下」。よって、「足下書」＝「きみからの手紙」である。正解はエ。

② 「遂」は「つひニ」と読んで、「その結果・結局」という意味。よって、正解はイ。

③ 「素」は「もとヨリ」と読んで、「日ごろから・以前から」の意味。よって、正解はウ。

④ 「未幾」は「いまダいくばくナラず」と読んで、「まもなく」の意味。よって、正解はオ。

⑤ 「一行七文字」＝「七言詩」。「四行」＝「絶句」。よって、「七言絶句」のウが正解。ちなみに、「律詩」は「八行」。

⑥ 押韻の問題。七言詩なので、初句と偶数句の最後の文字「遺」＝i、「斯」＝shiと共通する母音「i」となるものを選ぶ。
アはyu。イはgo。ウはsa。エはgi。オはkyo。よって、正解はエ。

〔解答〕

①エ　②イ　③ウ　④オ　⑤ウ　⑥エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十六講　解答解説

〔解説〕

①（1）七言詩なので、初句と偶数句の最後の文字が押韻する。よって、正解はエ。

（2）対句である第3句の読み「閣を閉ざして只だ聴く朝暮の鼓」と同じ構造にならなければいけない。第4句の最後の三文字「往来船」は「往来の船」になる。よって、ア、イ、ウに絞る。第3句の三・四字目の構造は、「只だ聴く」と三字目が四字目にかかっていき、終止している。同じように「空しく望む」と四字目にかかって終止しているアが正解。

②「所㆓以㆒」は「ゆゑん」と読み、「原因・理由・手段・方法」の意味を表す。よって、正解はウ。

③「当に～べし」と読むことから、「当」は再読文字だとわかる。したがって、返り点の付いていないイは不適。次に「怒りを極めて」と読むことから、「極怒」は下の一字から返って読んでいるので、「極」にはレ点を付ける。したがって、アとエも不適。次に「血を嘔く」と読むことから、「嘔血」の「嘔」にもレ点が付くのでウも不適。よって、正解はオ。ちなみに、「嘔」から再読文字「～べし」に二字以上戻るため、「嘔」には㆑点、「当」には二点が付く。

〔解答〕

①（1）エ　（2）ア　②ウ　③オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十七講　解答解説

〔解説〕

① 「与」の読みの問題で返り点が付いていれば、「と」の可能性が高い。文脈上も「と」で訳してみておかしくないのでエが正解。ちなみに、「与二～一倶ニ」は「～と倶（とも）に」と読む。

② 「如此」は「かクノごとシ」と読み、「このようだ」の意味。よって、正解はイ。

③ 「雁書」の意味は、「手紙・便り・書簡」。よって、正解はア。

〔解答〕

① エ　② イ　③ ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十八講　解答解説

〔解説〕

① ア「是以」は「ここをもって」、イ「以是」は「これをもって」、ウ「於是」は「ここにおいて」と読む。よって、正解はウ。エはひっかけの選択肢。ちなみに意味は、ア「だから・こういうわけで」、イ「これで」、ウ「そこで」。

② 副詞「窃」は「ひそかに」と読む。他に「ひそかに」と読む漢字は、「私」と「陰」。よって、正解はイ。

③ 「聞かしむる」という読み方から、「使」は使役の助動詞「しム」とわかる。「幸はくは王烈をして」と読むので、「幸」は返り点は不要。次に「王」を読むためには、「幸」の下の「無」と「使」には返り点が必要なので、アは不適。次に「王烈をして之を」と読むことから、「王」と「烈」には返り点が不要。したがって、イとエも不適。「之を聞かしむる」と読むので、「聞」は一字下の「之」から戻るため、「聞」にはレ点を付ける。「聞」から「使」に二字以上戻るため、「聞」には一レ点、「使」には二点を付ける。よって、正解はオ。意味は、「どうか王烈にこれを聞かせることはするな」。

〔解答〕

① ウ　② イ　③ オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十九講　解答解説

〔解説〕

① ア「井の中の蛙大海を知らず」は、知識・見聞が狭いこと。イ「疑心暗鬼」は、疑いだすと、ありもしないことをあれこれ考えるようになり苦しむこと。ウ「呉越同舟」は、仲が悪いものが同じ場所にいること、または、仲の悪いものが助けあうこと。エ「抜山蓋世」は、気力が極めて充実していること。オ「四面楚歌」は、周りがすべて敵、孤立無援の状態であること。よって、正解はオ。

② 「可けんや（べ）」は反語の句法で、「〜できるか、いや、できない」（＝〜できようか）の意味。よって、正解はエ。

〔解答〕

① オ　② エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十講　解答解説

〔解説〕

① 「令」と「犯」には返り点が付いているので、「子」を読んだ次には「罪」を読む。したがって、エは不適。残りの選択肢が、「犯さしめ」「犯さしむる」と読んでいることから、「令」は使役の助動詞「しム」。下を見て、「犯」が動詞。助動詞「令」と動詞「犯」の間にある名詞「子」が使役の対象で、「ヲシテ」の送り仮名をおくる。よって、正解はウ。

② 再読文字「当」は、「まさニ～べシ」と読む。ア「将」とエ「且」は「まさニ～ントす」、イ「応」は「まさニ～べシ」、ウ「須」は「すべかラク～べシ」、オ「宜」は「よろシク～べシ」。よって、正解はイ。

③ 「豈（あ）ニ～非（あら）ズや」は詠嘆の句法で、「なんと～ではないか」の意味。よって、正解はイ。

〔解答〕

①　ウ　　②　イ　　③　イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十一講　解答解説

〔解説〕

① 返り点が付いていない「夫」→「士」を読んだら、「士」の上の「似」にレ点が付いているので、「士」から戻って「似」を読む。したがって、アとエは不適。次の「而」は置き字。その次に、返り点が付いていない下の方の「士」を読み、「士」の上の「非」にレ点が付いているので、「士」から返って「非」を読む。よって、正解はウ。

② 返り点通りに読めていないアとイは不適。「将」は再読文字で「まさニ～ントす」と読み、「今にも～しそう・だろう」（これから～するつもりだ）の意味。ウもエも、どちらも「～つもりだ」という訳であることから、「将」は再読文字だと判断する。よって、正解はウ。「将」には再読文字以外の読み「はタ」や「もつテ」もあるが、問題になっていれば、まずは再読文字から考えること。

③ 設問文の「自」は返り点がついており、「～よリ」と読んで「～から」の意味。他に「よリ」と読む漢字は、「従」と「由」。よって、正解はイ。

〔解答〕

① ウ　② ウ　③ イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十二講　解答解説

〔解説〕

① 「為N所V」は「NのVする所と為る」と読み、「NにVされる」という受身の句法。よって、正解はア。

② 「未」は再読文字で「未だ〜ず」と書き下す。「能」は否定のときは「能はず」と読む。最後の「也」は、上に疑問や反語がないので断定「なり」。「能はず」の「ず」を連体形にして、「能はざるなり」となる。よって、正解はエ。

〔解答〕

①　ア　　②　エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十三講　解答解説

〔解説〕

① 「不可不～」は、「～しないわけにはいかない」という意味の二重否定。よって、正解はア。

② 「夫ㇾ」は「それ」と読み、「そもそも」の意味。「～猶且～、況～」から「抑揚」の句法だと判断できる。「A猶且B、況C（をや）」＝「AでさえB、ましてCはなおさらだ」なので、正解はイ。ちなみに「猶」までの部分が「無知の（＝知恵のない）禽獣」で、それさえも、ということ。次に「変ㇾ勇為ㇾ怯」の部分は、返り点に従って詠むと「勇→変→怯→為」の順番となる。選択肢も利用すると、「〔勇敢・勇猛〕が変わり、〔卑怯・臆病〕になる」という解釈になる。

〔解答〕

① ア　② イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⓒ RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。